

平成 27 年 度 当 初 予 算 資 料

1 会計別予算	P	1
2 一般会計歳入歳出予算（歳入）	P	2
3 歳入の主な増減	P	3
4 一般会計歳入歳出予算（歳出）	P	4
5 歳出の主な増減	P	5
6 歳出予算款別財源内訳表	P	6
7 歳出予算性質別目的別分類表	P	8
8 一般会計当初予算の推移	P	10
9 税等収入予算資料	P	12
10 市税等の推移（決算ベース）	P	14
11 地方債年度末現在高の推移	P	16
12 一般会計歳出予算（部局別）	P	18
13 各部局当初予算説明資料	P	19
危機管理監	P	19
政策推進部	P	25
総務部	P	31
財政経営部	P	36
市民文化部	P	43
健康福祉部	P	67
子ども未来部	P	87
商工農水部	P	97
環境部	P	116
都市整備部	P	126
会計管理室	P	142
議会事務局	P	143
監査事務局	P	145
教育委員会	P	146
消防本部	P	165
上下水道局	P	172
市立四日市病院	P	179
14 防災・減災事業について	P	182
15 子育て関係事業について	P	186
16 環境関連事業について	P	190
17 産業活性化関係事業について	P	191
18 文化・観光・スポーツ事業について	P	192

平成 27 年 度 会 計 別 予 算

(単位 千円)

区 分	平成27年度 予算額(A)	平成26年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100(%) (B)	
一 般 会 計	118,390,000	107,890,000	10,500,000	109.7	
特 別 会 計	競 輪 事 業	18,843,000	17,167,500	1,675,500	109.8
	国 民 健 康 保 険	34,878,000	32,482,000	2,396,000	107.4
	食 肉 セ ン タ ー 食 肉 市 場	680,000	636,800	43,200	106.8
	土 地 区 画 整 理 事 業	437,800	517,600	79,800	84.6
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	12,400	13,300	900	93.2
	公 共 用 地 取 得 事 業	481,464	721,263	239,799	66.8
	農 業 集 落 排 水 事 業	315,900	373,400	57,500	84.6
	介 護 保 険	21,090,000	20,477,100	612,900	103.0
	後 期 高 齢 者 医 療	5,400,000	5,366,000	34,000	100.6
	計	82,138,564	77,754,963	4,383,601	105.6
公 会 営 企 業 計	水 道 事 業	10,068,249	10,522,982	454,733	95.7
	市 立 四 日 市 病 院 事 業	22,081,140	25,362,774	3,281,634	87.1
	下 水 道 事 業	25,294,195	27,166,183	1,871,988	93.1
	計	57,443,584	63,051,939	5,608,355	91.1
桜 財 産 区	39,900	38,500	1,400	103.6	
合 計	258,012,048	248,735,402	9,276,646	103.7	

平成27年度一般会計歳入歳出予算（歳入）

(単位 千円)

区 分 款 別	平成27年度 予算額(A)	平成26年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100(%) (B)	構成比率 (%)	
					平成27年度	平成26年度
市 税	60,365,900	60,871,900	506,000	99.2	51.0	56.4
2. 地方譲与税	1,110,001	1,158,001	48,000	95.9	0.9	1.1
3. 利子割交付金	130,000	150,000	20,000	86.7	0.1	0.1
4. 配当割交付金	300,000	222,000	78,000	135.1	0.3	0.2
5. 株式等譲渡所得割交付金	300,000	50,000	250,000	600.0	0.3	0.0
6. 地方消費税交付金	5,231,000	3,491,000	1,740,000	149.8	4.4	3.2
7. ゴルフ場利用税交付金	90,000	90,000	0	100.0	0.1	0.1
8. 自動車取得税交付金	144,000	184,000	40,000	78.3	0.1	0.2
9. 地方特例交付金	180,000	180,000	0	100.0	0.2	0.2
10. 地方交付税	2,170,000	1,860,000	310,000	116.7	1.8	1.7
うち普通交付税	1,370,000	1,160,000	210,000	118.1	1.2	1.1
11. 交通安全対策特別交付金	68,000	68,000	0	100.0	0.1	0.1
分担金及び負担金	1,295,310	1,252,768	42,542	103.4	1.1	1.2
使用料及び手数料	2,202,592	2,203,786	1,194	99.9	1.9	2.0
14. 国庫支出金	19,488,261	14,451,963	5,036,298	134.8	16.5	13.4
15. 県支出金	6,354,416	6,336,664	17,752	100.3	5.4	5.9
財産収入	137,790	156,678	18,888	87.9	0.1	0.1
寄附金	21,101	8,101	13,000	260.5	0.0	0.0
繰入金	1,792,606	518,709	1,273,897	345.6	1.5	0.5
繰越金	600,089	600,089	0	100.0	0.5	0.6
諸収入	5,518,834	4,803,241	715,593	114.9	4.7	4.5
21. 市債	10,890,100	9,233,100	1,657,000	117.9	9.2	8.6
うち臨時財政対策債	2,339,000	2,860,000	521,000	81.8	2.0	2.7
歳入合計	118,390,000	107,890,000	10,500,000	109.7	100.0	100.0

付数字は自主財源

構成比は四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

【款別の主な増減(歳入)】	(単位:千円)		
	平成26年度予算額	平成27年度予算額	増減
市税			
市民税	23,853,600	23,717,800 (135,800)
固定資産税	28,753,900	28,496,500 (257,400)
軽自動車税	563,300	611,700 (48,400)
都市計画税	2,511,700	2,380,200 (131,500)
株式等譲渡所得割交付金			
株式等譲渡所得割交付金	50,000	300,000 (250,000)
地方消費税交付金			
地方消費税交付金	3,491,000	5,231,000 (1,740,000)
使用料及び手数料			
たんぼば使用料	105,906	127,774 (21,868)
霊園使用料	106,612	36,066 (70,546)
博物館使用料	7,018	25,621 (18,603)
ごみ処理手数料	490,385	511,869 (21,484)
国庫支出金			
保育所事務費事業費負担金	665,587	800,635 (135,048)
個人番号カード交付事業費補助金	0	108,074 (108,074)
臨時福祉給付金給付事業費・事務費補助金	0	342,500 (342,500)
地域介護・福祉空間等整備交付金	30,000	304,465 (274,465)
子育て世帯臨時特例給付金給付事業費・事務費補助金	0	141,511 (141,511)
循環型社会形成推進交付金	1,057,057	4,518,630 (3,461,573)
防災・安全社会資本整備交付金(橋梁長寿命化関係)	57,200	197,010 (139,810)
防災・安全社会資本整備交付金(交安)	111,375	37,125 (74,250)
鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金	0	189,719 (189,719)
県支出金			
国民健康保険保険基盤安定負担金	613,562	696,531 (82,969)
介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金	393,000	0 (393,000)
延長保育促進事業費補助金	86,358	10,361 (75,997)
安心子ども基金保育基盤整備事業補助金	91,668	4,034 (87,634)
海岸保全事業費補助金	0	144,500 (144,500)
三重県鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金	0	94,859 (94,859)
農業土木災害復旧費補助金	0	186,065 (186,065)
基幹統計調査費委託金	32,732	146,311 (113,579)
繰入金			
廃棄物処理施設整備基金繰入金	291,268	1,113,103 (821,835)
内部八王子線基金繰入金	0	265,000 (265,000)
市営住宅整備基金繰入金	76,819	233,870 (157,051)
諸収入			
中小企業振興資金融資預託金元利収入	2,441,000	2,110,000 (331,000)
朝日、川越二町環境事務受託費	176,787	517,927 (341,140)
消防指令センター共同運用準備負担金	1,115	668,187 (667,072)
市債			
まちづくり事業資金	313,500	0 (313,500)
(仮称)四日市公害と環境未来館整備事業資金	439,400	0 (439,400)
ごみ処理施設整備事業資金	1,977,800	5,566,000 (3,588,200)
消防施設設備整備事業資金	0	654,600 (654,600)
義務教育施設整備事業資金	876,800	364,200 (512,600)
社会教育施設整備事業資金	1,076,400	36,400 (1,040,000)
臨時財政対策資金	2,860,000	2,339,000 (521,000)

平成27年度一般会計歳入歳出予算（歳出）

(単位 千円)

区分 款別	平成27年度 予算額(A)	平成26年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100(%) (B)	構成比率 (%)	
					平成27年度	平成26年度
1. 議会費	752,023	717,974	34,049	104.7	0.6	0.7
2. 総務費	12,088,894	11,525,838	563,056	104.9	10.2	10.7
3. 民生費	37,688,067	36,487,029	1,201,038	103.3	31.8	33.8
4. 衛生費	21,412,215	13,547,696	7,864,519	158.1	18.1	12.5
5. 労働費	59,507	83,391	23,884	71.4	0.1	0.1
6. 農林水産業費	1,667,377	1,398,063	269,314	119.3	1.4	1.3
7. 商工費	3,718,416	3,627,300	91,116	102.5	3.1	3.4
8. 土木費	16,963,317	15,749,513	1,213,804	107.7	14.3	14.6
9. 消防費	5,026,048	3,497,664	1,528,384	143.7	4.3	3.2
10. 教育費	8,880,849	10,457,540	1,576,691	84.9	7.5	9.7
11. 災害復旧費	187,000	0	187,000	皆増	0.2	0.0
12. 公債費	9,846,287	10,684,521	838,234	92.2	8.3	9.9
13. 予備費	100,000	113,471	13,471	88.1	0.1	0.1
歳出合計	118,390,000	107,890,000	10,500,000	109.7	100.0	100.0

構成比は四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

【款別の主な増減(歳出)】	(単位:千円)		
	平成26年度予算額	平成27年度予算額	増減
総務費			
楠福祉会館整備事業費(アセットマネジメント)	0	46,200 (46,200)
非常用電源等対策事業費	60,300	244,130 (183,830)
鈴鹿山麓研究学園都市建設事業費負担金	119,021	0 (119,021)
番号制度関連事業費	0	206,531 (206,531)
システム保守運用経費	524,681	705,424 (180,743)
防災倉庫整備事業費	1,300	51,300 (50,000)
防災システム整備事業費	345,900	231,753 (114,147)
文化会館等施設整備事業費(アセットマネジメント)	10,500	77,300 (66,800)
まちづくり事業基金積立金	332,314	2,413 (329,901)
戸籍住民基本台帳事務費	99,951	222,055 (122,104)
市議会議員選挙費	19,771	146,593 (126,822)
基幹統計調査員報酬	28,399	114,815 (86,416)
民生費			
サテライト型特別養護老人ホーム建設費補助金	0	119,480 (119,480)
臨時福祉給付金給付事業費・事務費	0	342,500 (342,500)
後期高齢者医療特別会計繰出金	2,810,188	2,950,493 (140,305)
障害者介護給付費・訓練等給付費	3,704,900	3,615,100 (89,800)
臨時職員賃金(保育園)	655,505	713,094 (57,589)
障害児通所事業費	212,585	388,813 (176,228)
子育て世帯臨時特例給付金給付事業費・事務費	0	140,000 (140,000)
施設型給付費負担金事業費(民間保育所)	2,564,790	2,790,385 (225,595)
延長保育事業費補助金	143,047	36,278 (106,769)
民間保育所整備事業費	136,797	5,346 (131,451)
国民健康保険特別会計繰出金	1,445,504	1,568,612 (123,108)
介護保険特別会計繰出金	2,920,202	3,076,072 (155,870)
衛生費			
(仮称)四日市公害と環境未来館整備事業費	609,788	0 (609,788)
ごみ収集車両整備事業費	28,326	76,777 (48,451)
新総合ごみ処理施設整備事業費	3,451,250	11,665,123 (8,213,873)
農林水産業費			
肉牛肥育預託事業費	0	80,000 (80,000)
多面的機能支払交付金事業費	4,835	65,854 (61,019)
三重用水事業償還金	74,355	13,243 (61,112)
海岸保全事業費	3,300	170,000 (166,700)
商工費			
企業立地奨励金交付事業費	392,000	794,000 (402,000)
中小企業振興資金融資預託金	2,441,000	2,110,000 (331,000)
土木費			
防災・安全社会資本整備交付金事業費(道路ストック関連)	125,000	44,100 (80,900)
防災・安全社会資本整備交付金事業費(橋梁長寿命化)	104,000	358,200 (254,200)
排水路整備促進事業費	0	40,000 (40,000)
四日市港管理組合負担金	1,520,055	1,430,289 (89,766)
内部・八王子線運行事業費	0	720,630 (720,630)
土地区画整理事業特別会計繰出金	442,621	387,544 (55,077)
近鉄四日市駅等耐震化促進事業費	119,166	181,366 (62,200)
連続立体交差事業負担金	250,000	139,000 (111,000)
垂坂公園・羽津山緑地整備事業費	30,000	90,000 (60,000)
下水道企業会計負担金・補助金	6,838,700	6,884,400 (45,700)
曙町市営住宅建設事業費	106,700	612,705 (506,005)
消防費			
新消防分署整備事業費	2,000	142,554 (140,554)
庁舎整備事業費(アセットマネジメント)	23,400	112,100 (88,700)
消防救急無線デジタル化及び新消防指令センター整備事業費	2,200	1,286,642 (1,284,442)
教育費			
大規模改修事業費(小学校)	350,500	135,900 (214,600)
給食室改修事業費	5,900	54,500 (48,600)
富田中学校改築事業費	521,500	0 (521,500)
笹川中学校改築整備事業費	47,700	203,200 (155,500)
大規模改修事業費(中学校)	10,600	183,400 (172,800)
幼稚園整備事業費(アセットマネジメント)	18,700	99,400 (80,700)
少年自然の家施設整備事業費(アセットマネジメント)	86,400	0 (86,400)
博物館リニューアル事業費	1,197,900	0 (1,197,900)
中央緑地運動施設整備事業費(アセットマネジメント)	156,700	0 (156,700)
災害復旧費			
平成26年発生農業土木災害復旧補助事業費	0	187,000 (187,000)
公債費			
地方債償還金	9,601,440	8,931,502 (669,938)
地方債利子	1,073,081	904,785 (168,296)

歳 出 予 算 款 別

款 別	本 年 度 予 算 額	左 の 財		
		国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債
1. 議 会 費	752,023			
2. 総 務 費	12,088,894	174,745	833,555	401,200
3. 民 生 費	37,688,067	13,366,483	4,716,011	
4. 衛 生 費	21,412,215	4,608,706	63,062	5,960,400
5. 労 働 費	59,507			
6. 農林水産業費	1,667,377		249,803	22,900
7. 商 工 費	3,718,416		22,942	
8. 土 木 費	16,963,317	1,123,144	108,155	1,110,800
9. 消 防 費	5,026,048		97,200	654,600
10. 教 育 費	8,880,849	215,183	54,118	400,600
11. 災 害 復 旧 費	187,000		186,065	600
12. 公 債 費	9,846,287		23,505	
13. 予 備 費	100,000			
計	118,390,000	19,488,261	6,354,416	8,551,100
歳入振替項目	/			2,339,000
総 計	118,390,000	19,488,261	6,354,416	10,890,100

構成比については端数処理のため合計が合わない場合があります。

財 源 内 訳 表

(単位 千円)

源 内 訳			前 年 度 一 般 財 源	一般財源投入率 (%)	
使用料及び 手数料	そ の 他	一 般 財 源		本年度	前年度
	326	751,697	717,647	1.0	1.0
189,242	210,369	10,279,783	9,523,587	14.0	13.2
179,971	1,419,123	18,006,479	17,421,387	24.6	24.2
890,495	2,634,695	7,254,857	7,303,278	9.9	10.1
337		59,170	83,091	0.1	0.1
325	179,311	1,215,038	1,211,466	1.7	1.7
208	2,237,016	1,458,250	1,064,407	2.0	1.5
648,348	620,166	13,352,704	13,203,806	18.2	18.3
79,996	1,016,746	3,177,506	2,989,879	4.3	4.2
110,935	190,385	7,909,628	7,833,450	10.8	10.9
	103	232	0	0.0	0.0
84,726	20,438	9,717,618	10,545,242	13.3	14.6
		100,000	113,471	0.1	0.2
2,184,583	8,528,678	73,282,962	72,010,711	100.0	100.0
18,009	837,052	3,194,061	3,685,810		
2,202,592	9,365,730	70,088,901	68,324,901		

歳 出 予 算 性 質 別

区 分	本 年 度		前 年 度	
	予 算 額 (A)	一 般 財 源 (B)	予 算 額 (C)	一 般 財 源 (D)
1. 人 件 費	16,940,299	15,161,255	16,711,588	15,077,271
(1) 報 酬	697,293	694,398	595,510	593,286
(2) 基 本 給	7,906,990	6,281,621	7,873,083	6,401,742
(3) そ の 他 の 手 当	4,405,875	4,316,500	4,186,286	4,098,503
(4) 退 職 手 当	1,315,351	1,310,523	1,479,319	1,462,093
(5) 恩 給 退 職 年 金	3,158	3,158	3,159	3,159
(6) そ の 他	2,611,632	2,555,055	2,574,231	2,518,488
2. 物 件 費	15,890,622	13,314,250	14,228,526	11,952,042
3. 維 持 補 修 費	1,863,489	1,063,265	2,086,636	1,299,826
4. 扶 助 費	23,049,344	6,763,423	22,666,062	6,585,343
5. 補 助 費 等	15,818,927	13,743,845	15,299,592	13,917,215
6. 投 資 ・ 出 資 金 ・ 貸 付 金	2,225,270	20,000	2,481,820	0
7. 積 立 金	135,545	100,000	659,300	116,500
8. 繰 出 金	8,593,504	7,386,575	8,208,646	7,140,650
9. 公 債 費	9,846,287	9,717,618	10,684,521	10,545,242
10. 投 資 的 経 費	23,926,626	5,912,731	14,749,747	5,263,151
(1) 普 通 建 設 事 業	23,570,626	5,895,599	14,486,347	5,249,251
イ、補 助	14,031,382	642,411	6,737,842	498,159
ロ、単 独	9,539,244	5,253,188	7,748,505	4,751,092
(2) 災 害 復 旧 事 業	187,000	232		
イ、補 助	187,000	232		
ロ、単 独				
(3) 失 業 対 策 事 業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(4) 県 営 事 業 負 担 金	169,000	16,900	263,400	13,900
11. 予 備 費	100,087	100,000	113,562	113,471
合 計	118,390,000	73,282,962	107,890,000	72,010,711

目的別分類表

(単位 千円)

比較				構成比率 (%)			
予算額		一般財源		本年度		前年度	
(A) - (C)	(A)/(C) × 100 (%)	(B) - (D)	(B)/(D) × 100 (%)	予算額	一般財源	予算額	一般財源
228,711	101.4	83,984	100.6	14.3	20.7	15.5	20.9
101,783	117.1	101,112	117.0	0.6	0.9	0.6	0.8
33,907	100.4	120,121	98.1	6.7	8.6	7.3	8.9
219,589	105.2	217,997	105.3	3.7	5.9	3.9	5.7
163,968	88.9	151,570	89.6	1.1	1.8	1.4	2.0
1	100.0	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
37,401	101.5	36,567	101.5	2.2	3.5	2.4	3.5
1,662,096	111.7	1,362,208	111.4	13.4	18.2	13.2	16.6
223,147	89.3	236,561	81.8	1.6	1.4	1.9	1.8
383,282	101.7	178,080	102.7	19.5	9.2	21.0	9.2
519,335	103.4	173,370	98.8	13.4	18.8	14.2	19.3
256,550	89.7	20,000	皆増	1.9	0.0	2.3	0.0
523,755	20.6	16,500	85.8	0.1	0.1	0.6	0.2
384,858	104.7	245,925	103.4	7.2	10.1	7.6	9.9
838,234	92.2	827,624	92.2	8.3	13.3	9.9	14.6
9,176,879	162.2	649,580	112.3	20.2	8.1	13.7	7.3
9,084,279	162.7	646,348	112.3	19.9	8.0	13.4	7.3
7,293,540	208.2	144,252	129.0	11.9	0.9	6.2	0.7
1,790,739	123.1	502,096	110.6	8.1	7.2	7.2	6.6
187,000	皆増	232	皆増	0.2	0.0		
187,000	皆増	232	皆増	0.2	0.0		
94,400	64.2	3,000	121.6	0.1	0.0	0.2	0.0
13,475	88.1	13,471	88.1	0.1	0.1	0.1	0.2
10,500,000	109.7	1,272,251	101.8	100.0	100.0	100.0	100.0

構成比については、四捨五入しておりますので合計が合わない場合があります。

一 般 会 計 当 初

年度	一 般 会 計		歳 入						
	伸 び 率	市 税	地 方 交 付 税		市 債 発行額	市 債 依存度	繰 入 金 3基金		
			税 収 比 率	普 通				特 別	
平成	%		%	実績	実績		%		
11	90,900,000	0.1	52,202,800	57.4	2,348,319	1,215,065	5,299,300	5.8	1,692,000
12	93,280,000	2.6	50,140,900	53.8	3,042,159	1,288,142	5,868,500	6.3	2,908,000
13	95,760,000	2.7	51,120,000	53.4	2,988,761	1,236,052	8,382,800	8.7	2,840,000
14	94,580,000	1.2	49,616,000	52.4	4,100,304	1,183,361	8,394,200	8.9	3,175,000
15	90,990,000	3.8	47,339,000	52.0	3,974,549	1,105,390	9,451,300	10.4	2,600,000
16	95,980,000	5.5	48,305,000	50.3	2,039,446	1,105,338	13,373,200	13.9	1,445,000
17	93,290,000	2.8	50,395,300	54.0	2,769,273	1,162,118	8,782,500	9.4	180,000
18	95,400,000	2.3	53,605,700	56.2	786,908	1,045,152	8,468,700	8.9	1,130,000
19	98,138,000	2.9	58,053,600	59.2	807,954	799,504	7,947,500	8.1	300,000
20	99,848,000	1.7	63,244,700	63.3	385,604	783,864	6,004,900	6.0	0
21	97,382,000	2.5	61,144,400	62.8	825,917	784,864	5,105,300	5.2	0
22	99,141,000	1.8	57,959,600	58.5	1,651,021	842,323	5,817,500	5.9	849,041
23	104,560,000	5.5	59,886,600	57.3	1,944,240	874,184	6,705,400	6.4	14,253
24	102,774,000	1.7	60,879,200	59.2	1,856,109	896,497	6,187,800	6.0	15,169
25	102,697,438	0.1	60,739,300	59.1	2,088,363	808,494	6,176,900	6.0	70,887
26	107,890,000	5.1	60,871,900	56.4	(11月補正後) 1,710,897	(11月補正後) 700,000	9,233,100	8.6	18,000
27	118,390,000	9.7	60,365,900	51.0	1,370,000	800,000	10,890,100	9.2	47,892

予 算 の 推 移

(単位 :千円)

繰入金	歳 出							繰出金
	競 輪	公債費	構成比	地方債年 度未残高	投 資 的 経 費			
					うち普通建設事業費			
					補 助	単 独		
実績		%	実績					
50,000	10,322,312	11.4	106,062,498	13,739,059	5,857,512	7,827,935	10,218,412	
50,000	11,402,980	12.2	105,427,282	13,757,572	4,660,986	8,470,905	11,993,916	
50,000	11,635,219	12.2	105,328,737	15,957,660	5,532,111	9,865,564	12,115,049	
10,000	12,484,540	13.2	104,684,936	13,142,840	1,999,812	10,322,178	5,068,066	
50,000	12,343,622	13.6	104,476,960	10,305,917	1,359,639	8,529,628	5,439,030	
100,000	18,557,091	19.3	105,425,611	9,605,201	2,007,201	7,521,250	5,762,733	
0	12,733,510	13.6	102,599,283	11,515,480	3,504,972	7,853,883	6,397,305	
0	12,836,604	13.5	100,338,490	12,976,803	2,792,118	10,084,376	6,621,011	
0	12,620,315	12.9	98,296,307	12,525,578	2,371,154	9,819,624	6,710,597	
0	12,959,925	13.0	98,828,006	11,519,976	1,733,390	9,430,111	7,932,841	
100,000	12,659,464	13.0	96,414,973	9,026,030	1,285,914	7,687,241	8,216,381	
500,000	11,614,100	11.7	92,581,596	8,259,618	1,861,904	5,993,839	7,900,832	
100,000	11,406,188	10.9	87,503,991	10,059,127	3,217,941	6,437,746	8,088,790	
100,000	11,719,608	11.4	80,643,109	10,121,445	2,364,877	7,382,216	8,068,206	
100,000	11,623,543	11.3	75,627,184	10,191,981	3,554,440	6,366,623	8,064,360	
100,000	10,684,521	9.9	74,183,905	14,749,747	6,737,842	7,748,505	8,208,646	
150,000	9,846,287	8.3	76,142,503	23,926,626	14,031,382	9,539,244	8,593,504	

平成27年度税等収入予算資料

(単位 千円)

科目	税率等	調定見込額	収納率見込%	本年度当初予算計上額(A)	前年度当初予算計上額(B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
市税		62,792,400	96.1	60,365,900	60,871,900	99.2
1. 市民税		25,092,600	94.5	23,717,800	23,853,600	99.4
一個人		19,866,400	93.3	18,525,500	18,433,500	100.5
イ、現年課税分	151,699(人)	18,633,600	97.7	18,205,000	18,096,100	100.6
所得割	6%	18,102,700	97.7	17,686,300	17,575,700	100.6
均等割	3,500(円)	530,900	97.7	518,700	520,400	99.7
ロ、滞納繰越分		1,232,800	26.0	320,500	337,400	95.0
二法人	8,389(社)	5,226,200	99.4	5,192,300	5,420,100	95.8
イ、現年課税分		5,200,800	99.7	5,185,200	5,413,100	95.8
法人税割	13.5% (10.9% ¹⁾)	4,200,800	99.7	4,188,200	4,416,100	94.8
均等割	5、12、13、15、16、40、41、175、300(万円)	1,000,000	99.7	997,000	997,000	100.0
ロ、滞納繰越分		25,400	28.0	7,100	7,000	101.4
2. 固定資産税		29,421,100	96.9	28,496,500	28,753,900	99.1
一固定資産税		29,394,400	96.9	28,469,800	28,726,900	99.1
イ、現年課税分		28,537,900	98.9	28,230,000	28,489,400	99.1
土地	1.4%	8,251,600	98.2	8,103,100	8,223,800	98.5
家屋	1.4%	8,185,900	98.2	8,038,600	8,858,700	90.7
償却資産	1.4%	12,100,400	99.9	12,088,300	11,406,900	106.0
ロ、滞納繰越分		856,500	28.0	239,800	237,500	101.0
二国有資産等所在市町村交付金		26,700	100.0	26,700	27,000	98.9
イ、交付金	1.4%	26,700	100.0	26,700	27,000	98.9
3. 軽自動車税		649,200	94.2	611,700	563,300	108.6
イ、現年課税分	116,042(台) 1,000(円) ~ 7,200(円) ²⁾	619,100	97.5	603,600	555,000	108.8
ロ、滞納繰越分		30,100	26.9	8,100	8,300	97.6
4. 市たばこ税	5,262円/千本 (旧3級品) 2,495円/千本	2,301,100	100.0	2,301,100	2,359,000	97.5
5. 入湯税	日帰り 1人 80円 宿泊 1人1泊 150円	2,200	100.0	2,200	1,900	115.8
6. 事業所税		2,867,400	99.6	2,856,400	2,828,500	101.0
イ、現年課税分		2,859,400	99.7	2,850,800	2,822,500	101.0
資産割	600円/m ²	2,422,600	99.7	2,415,300	2,392,500	101.0
従業者割	0.25%	436,800	99.7	435,500	430,000	101.3
ロ、滞納繰越分		8,000	70.0	5,600	6,000	93.3
7. 都市計画税		2,458,800	96.8	2,380,200	2,511,700	94.8
イ、現年課税分		2,386,100	98.9	2,359,800	2,491,900	94.7
土地	0.2%	1,334,500	98.9	1,319,800	1,345,000	98.1
家屋	0.2%	1,051,600	98.9	1,040,000	1,146,900	90.7
ロ、滞納繰越分		72,700	28.1	20,400	19,800	103.0

1 平成26年10月1日以後に開始する事業年度に適用される税率

2 平成27年4月1日に新規登録された四輪等については新税率を適用

(単位 千円)

科目	税率等	調定見込額	収納率見込%	本年度当初予算計上額(A)	前年度当初予算計上額(B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
地方譲与税		1,110,001	100.0	1,110,001	1,158,001	95.9
1.地方揮発油譲与税		240,000	100.0	240,000	240,000	100.0
2.自動車重量譲与税		520,000	100.0	520,000	578,000	90.0
3.地方道路譲与税		1	100.0	1	1	100.0
4.特別とん譲与税		350,000	100.0	350,000	340,000	102.9
利子割交付金		130,000	100.0	130,000	150,000	86.7
利子割交付金		130,000	100.0	130,000	150,000	86.7
配当割交付金		300,000	100.0	300,000	222,000	135.1
配当割交付金		300,000	100.0	300,000	222,000	135.1
株式等譲渡所得割交付金		300,000	100.0	300,000	50,000	600.0
株式等譲渡所得割交付金		300,000	100.0	300,000	50,000	600.0
地方消費税交付金		5,231,000	100.0	5,231,000	3,491,000	149.8
地方消費税交付金		5,231,000	100.0	5,231,000	3,491,000	149.8
ゴルフ場利用税交付金		90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
ゴルフ場利用税交付金		90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
自動車取得税交付金		144,000	100.0	144,000	184,000	78.3
自動車取得税交付金		144,000	100.0	144,000	184,000	78.3
地方特例交付金		180,000	100.0	180,000	180,000	100.0
地方特例交付金		180,000	100.0	180,000	180,000	100.0

基金の状況

(単位:千円)

基金名	平成27年度末 残高見込	基金名	平成27年度末 残高見込
土地開発公社経営健全化基金	3,684,603	中小企業振興基金	7,653
国際交流基金	75,985	広域基幹道路整備基金	998,322
文化振興基金	185,357	緑化基金	121,734
財政調整基金	10,075,616	内部・八王子線基金	536,152
都市基盤・公共施設等整備基金	3,147,549	市営住宅整備基金	21,818
減債基金	332,040	学校施設整備基金	1,487,203
まちづくり事業基金	2,867,136	小菅科学教育振興基金	28,424
社会福祉事業振興基金	445,282	土地開発基金	1,151,154
災害救助基金	104,392	競輪事業財政調整基金	2,358,441
廃棄物処理施設整備基金	284,694	国民健康保険支払準備基金	2,393,382
市立四日市病院整備基金	15,953	東橋北住環境整備基金	12,773
ふるさと・水と土保全基金	10,098	介護保険給付費支払準備基金	281,909

市税等の推移

年 度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
市 税	104.8%	102.5%	111.7%	105.1%	96.5%
	52,724,859	54,045,765	60,367,262	63,419,685	61,227,427
	106.1%	109.5%	122.9%	103.2%	100.5%
	13,696,359	14,990,751	18,430,529	19,024,242	19,111,411
	126.8%	99.6%	114.3%	88.1%	51.2%
うち法人市民税	7,568,809	7,537,684	8,613,826	7,587,180	3,887,930
100.1%	100.3%	107.0%	112.4%	105.0%	
うち固定資産税	26,253,016	26,337,518	28,169,483	31,667,015	33,246,556
うち事業所税					
地 方 譲 与 税	126.5%	145.2%	40.0%	98.4%	89.2%
	2,506,349	3,640,316	1,457,335	1,433,430	1,278,194
利 子 割 交 付 金	58.5%	71.9%	129.2%	107.5%	81.9%
	249,861	179,703	232,175	249,672	204,414
配 当 割 交 付 金	151.5%	148.9%	115.5%	44.3%	76.2%
	134,296	200,027	231,081	102,432	78,091
株式等譲渡所得割交付金	227.1%	93.0%	89.4%	19.9%	113.7%
	212,386	197,566	176,545	35,051	39,854
地 方 消 費 税 交 付 金	92.4%	104.0%	98.3%	94.2%	108.2%
	2,922,551	3,040,440	2,989,911	2,815,636	3,046,168
ゴルフ場利用税交付金	98.8%	96.0%	102.2%	97.1%	97.8%
	101,969	97,842	99,947	97,054	94,953
自動車取得税交付金	100.3%	99.0%	94.0%	90.4%	53.6%
	770,963	762,890	717,325	648,213	347,336
地 方 特 例 交 付 金	101.8%	90.9%	25.3%	170.1%	102.2%
	1,736,681	1,578,349	399,135	679,061	694,124
地 方 交 付 税	98.9%	46.6%	87.7%	72.8%	137.7%
	3,931,391	1,832,060	1,607,458	1,169,468	1,610,781
うち普通交付税	100.6%	28.4%	102.7%	47.7%	214.2%
	2,769,273	786,908	807,954	385,604	825,917
うち特別交付税	95.1%	89.9%	76.5%	98.4%	100.1%
	1,162,118	1,045,152	799,504	783,864	784,864

平成17年度については、平成16年度の旧四日市市と旧楠町の決算額の合計から対前年度比を算出

(決算ベース)

(単位 千円)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (11月補正後)	平成27年度 (当初予算)
97.0%	104.2%	100.4%	98.3%	99.7%	99.2%
59,387,874	61,867,325	62,144,224	61,059,837	60,871,900	60,365,900
90.8%	99.8%	105.3%	101.0%	100.2%	100.5%
17,343,888	17,311,030	18,220,809	18,400,686	18,433,500	18,525,500
134.7%	106.9%	98.7%	96.8%	101.3%	95.8%
5,238,580	5,598,472	5,527,455	5,350,164	5,420,100	5,192,300
94.5%	98.6%	97.7%	95.8%	99.2%	99.1%
31,411,633	30,979,306	30,280,005	28,996,817	28,753,900	28,496,500
皆増	1055.0%	111.7%	98.5%	103.2%	101.0%
236,093	2,490,765	2,782,646	2,740,777	2,828,500	2,856,400
100.5%	101.4%	93.5%	97.6%	97.5%	95.9%
1,284,144	1,302,055	1,217,171	1,187,749	1,158,001	1,110,001
94.5%	94.2%	78.1%	104.0%	101.5%	86.7%
193,213	182,091	142,180	147,849	150,000	130,000
119.8%	108.5%	110.9%	197.3%	99.9%	135.1%
93,534	101,475	112,584	222,135	222,000	300,000
76.4%	82.1%	112.1%	1327.8%	13.4%	600.0%
30,453	25,009	28,029	372,161	50,000	300,000
99.8%	101.8%	101.1%	99.1%	112.6%	149.8%
3,040,936	3,095,228	3,128,067	3,101,408	3,491,000	5,231,000
101.0%	101.9%	98.2%	100.9%	92.8%	100.0%
95,913	97,777	96,037	96,943	90,000	90,000
91.5%	84.0%	117.1%	109.6%	53.7%	78.3%
317,718	266,774	312,434	342,552	184,000	144,000
74.4%	127.5%	29.2%	98.5%	96.4%	98.4%
516,518	658,532	192,593	189,717	182,913	180,000
154.8%	113.0%	97.7%	105.2%	83.2%	90.0%
2,493,344	2,818,424	2,752,606	2,896,857	2,410,897	2,170,000
199.9%	117.8%	95.5%	112.5%	81.9%	80.1%
1,651,021	1,944,240	1,856,109	2,088,363	1,710,897	1,370,000
107.3%	103.8%	102.6%	90.2%	86.6%	114.3%
842,323	874,184	896,497	808,494	700,000	800,000

上段は対前年度比

地 方 債 年 度 末

年 度		21決算	22決算	23決算	24決算	25決算	
区 分							
普 通 会 計	一 般 会 計	96,585,032	92,581,596	87,503,991	80,643,109	75,627,184	
	うち減税補てん債 (借換債含む)	8,172,276	7,117,782	6,050,036	4,967,441	3,871,182	
	うち臨時財政対策債	22,924,184	25,703,058	26,668,728	26,901,310	27,803,701	
	特 別 会 計	土地区画整理事業	2,882,654	2,500,023	2,150,188	1,796,251	1,448,777
		住宅新築資金等 貸 付 事 業	39,073	33,789	28,631	21,359	18,690
		公共用地取得事業 (都市下水路分)	5,629,090	4,403,590	3,178,090	2,013,580	1,177,800
	計	105,675,037	100,023,924	93,331,157	84,909,472	78,672,119	
	うち合併特例債 (基金造成含む)	11,366,435	11,726,407	12,056,877	11,632,675	11,899,043	
	準 公 営 企 業 公 司	食 肉 セ ン タ ー 食 肉 市 場 事 業	1,632,459	1,527,106	1,416,915	1,291,685	1,179,031
		農 業 集 落 排 水 事 業	1,927,891	1,936,138	1,898,403	1,909,402	2,021,365
計		3,560,350	3,463,244	3,315,318	3,201,087	3,200,396	
公 営 企 業	水 道 事 業	17,051,448	17,364,861	17,084,036	16,656,588	16,154,032	
	市立四日市病院事業	3,053,377	2,983,779	6,179,349	8,637,759	10,206,767	
	下 水 道 事 業	95,201,618	93,003,999	90,350,269	87,549,187	86,723,487	
	計	115,306,443	113,352,639	113,613,654	112,843,534	113,084,286	
重複分		539,188	504,926	470,257	435,173	399,668	
合 計		224,002,642	216,334,881	209,789,872	200,518,920	194,557,133	

現在高の推移

(単位 千円)

26見込	27 当初予算				
	償還元金	償還利子	元利合計	発行額	残高
74,183,905	8,931,502	904,785	9,836,287	10,890,100	76,142,503
3,091,470	415,148	39,486	454,634		2,676,322
28,095,525	1,927,105	266,242	2,193,347	2,339,000	28,507,420
1,116,413	256,351	17,940	274,291		860,062
15,910	2,894	601	3,495		13,016
474,720	474,720	6,744	481,464		
363,738	36,363	4,674	41,037		327,375
76,154,686	9,701,830	934,744	10,636,574	10,890,100	77,342,956
13,231,358	1,944,004	103,181	2,047,185		11,287,354
1,082,282	131,592	18,744	150,336	73,900	1,024,590
2,128,437	84,635	42,182	126,817	19,000	2,062,802
3,210,719	216,227	60,926	277,153	92,900	3,087,392
15,790,935	868,793	366,754	1,235,547	523,000	15,445,142
11,315,017	600,907	134,657	735,564	900,000	11,614,110
87,449,746	5,379,507	1,954,047	7,333,554	3,445,000	85,515,239
114,555,698	6,849,207	2,455,458	9,304,665	4,868,000	112,574,491
363,738	36,363	4,674	41,037		327,375
193,557,365	16,730,901	3,446,454	20,177,355	15,851,000	192,677,464

一般会計歳出予算【部局別】

(単位：千円、%)

部 局	区 分	平成27年度当初	平成26年度当初	増減額		伸率
		A	B	A - B	C	C / B × 100
危機管理監		558,369	599,648	41,279		6.9
政策推進部		3,101,294	3,315,441	214,147		6.5
総務部		5,264,468	4,911,766	352,702		7.2
財政経営部		20,651,201	21,322,522	671,321		3.1
市民文化部		2,136,794	1,744,438	392,356		22.5
健康福祉部		16,264,352	15,851,967	412,385		2.6
子ども未来部		17,228,820	16,808,452	420,368		2.5
商工農水部		4,986,517	4,518,623	467,894		10.4
環境部		17,320,156	9,566,719	7,753,437		81.0
都市整備部		8,285,727	6,938,397	1,347,330		19.4
会計管理室		27,741	26,812	929		3.5
議会事務局		752,023	717,974	34,049		4.7
選挙管理委員会		234,954	85,891	149,063		173.5
監査事務局		92,650	89,232	3,418		3.8
教育委員会		8,340,952	9,823,047	1,482,095		15.1
消防本部		5,024,516	3,496,538	1,527,978		43.7
企業補助 費等 に対する	上下水道局	7,131,988	7,086,138	45,850		0.6
	市立四日市病院	987,478	986,395	1,083		0.1
合 計		118,390,000	107,890,000	10,500,000		9.7

部局別予算説明資料

危機管理監

新年度予算における基本的な方針

東日本大震災から約4年が経過する中、三重県の新たな被害想定を受け、本市においても地域防災計画を見直した。これに基づき、近い将来に発生が危惧される南海トラフ巨大地震等の災害から市民の生命と財産を守るため、防災・減災対策を最重点課題とし、個別具体の取組の推進が急務である。

そこで、自主防災活動の推進・人材育成のほか、防災施設の整備に着手する。また、防災情報伝達手段の確保及び木造住宅の耐震化を推進する。

防災対策の推進及び危機管理体制の整備について

住民の自助・共助の取り組みを促進するため、地域の防災組織への支援や人材育成・活用を継続する。また地域防災計画に基づき、総合防災拠点及び市域の拠点となる防災倉庫の整備を推進するほか、周辺に津波避難施設がない地域において既存施設に対する整備を実施し、減災に取り組む。また、迅速な情報伝達や適切な避難行動が行えるよう、防災行政無線（固定系）の整備を行う。さらに、木造住宅の無料耐震診断や耐震補強計画策定・工事費等への補助を実施し、耐震化を推進する。さらに、危機が発生した場合、市民生活への被害や影響を最小限に留めることができるよう、全庁的な危機管理体制の強化を図る。

【主な事業】	地域防災力向上支援事業	40,007千円
	総合防災拠点整備事業	12,700千円
	防災倉庫整備事業	51,300千円
	避難施設等整備事業	
	津波避難施設整備	25,600千円
	防災井戸等整備	9,200千円
	マンホールトイレ配備	2,000千円
	防災システム整備事業	
	防災行政無線(固定系)整備	230,753千円
	住宅等耐震化促進事業	127,996千円

(決算議会等の指摘に対する主な見直し事業)

・地域防災力向上支援事業

家庭や地域等での自助・共助の取組を支援・強化するため、新たに家族防災手帳を作成・配布する。

地域防災力向上支援事業

1. 目的

東日本大震災や平成23年台風12号災害（紀伊半島豪雨）、また平成26年台風11号（県内で初めての大雨特別警報）を受け、また、今後発生が危惧されている南海トラフ地震等の大規模災害発生に備え、被害の軽減や防止を図るため、地区防災組織の活動や資機材導入を支援するとともに、女性や家族層を含む防災・減災にかかる知識の向上や人材育成を推進する。

2. 内容

- (1) 地区防災組織への支援 28,900千円
・地区防災組織が行う防災活動や資機材整備に対する支援（29団体）
・新たに設立される自主防災組織に対する助成（4団体分）
- (2) 防災・減災人材の育成 907千円
・防災大学（女性向け講座を含む）や防災大学修了者向けのステップアップ講座、家族向けのファミリー防災講座を開催
- (3) 【新規】家族防災手帳の作成・配布 10,200千円
・家庭や地域・学校を中心とした自助や共助の取組支援・強化を目的に、家族防災手帳（大人版・小人版）を作成・配布
大人版：全戸配布及び市内公私立中学生全員に配布（A5版 165,000部）
小人版：市内公私立小学校4～6年生に配布（A5版 15,000部）



家族防災手帳イメージ

(参考:宮城県多賀城市 みんなの防災手帳)

3. 予算額 40,007千円 (財源内訳) 一般財源40,007千円
(前年度 30,208千円)

担当 危機管理監 危機管理室
田中・渡邊
354-8119

(新)総合防災拠点整備事業

1. 目的

大規模災害時に、災害対策本部との連携や全国からの救援物資の受入、消防・自衛隊等の受援拠点となるほか、応急仮設住宅用地への活用可能な総合防災拠点の整備を図る。

2. 内容

(1) 整備箇所

寺方町及び曾井町地内 約 25,000 m²

(2) 主な役割・活用概要

災害対策本部との連携拠点

・災害対策本部一時退避時の公用車及び非常参集職員の駐車スペース 約 5,000 m²

救援物資の受入れ拠点

・全国からの救援物資の第1次受入れ拠点、市内3カ所の拠点防災倉庫へ輸送する物資の荷捌き場所等 約 10,000 m²

消防・自衛隊等の受援拠点

・支援部隊のオープンスペース、災害対応車両の集結・野営場所、提携都市や災害ボランティア等の集結場所 約 10,000 m²

応急仮設住宅用地

・県地震被害想定結果による応急仮設住宅建設予定地 約 20,000 m²

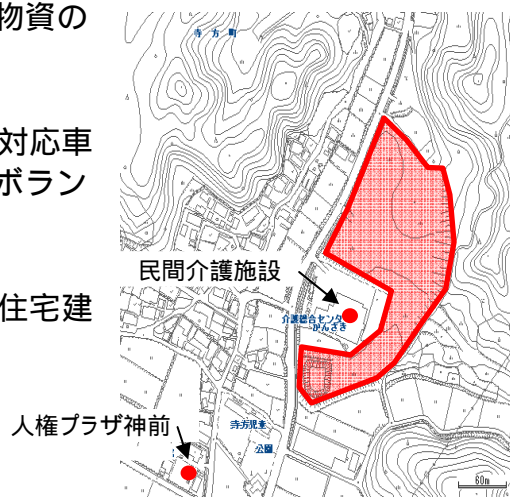


(3) 事業内容

用地測量、不動産鑑定評価

(4) 整備スケジュール

平成 27 年度	平成 28 年度以降		
用地測量 不動産鑑定評価	用地取得	実施設計	造成工事



3. 予算額 12,700千円 (財源内訳) 一般財源 12,700千円
(前年度 0千円)

担当 危機管理監 危機管理室
石川
354-8119

防 災 倉 庫 整 備 事 業

1. 目的

災害時に、各地区の指定避難所へ迅速に救援物資を配送するため、荷捌き機能を有する拠点防災倉庫（第2次拠点・市内3カ所）の整備に向け、実施設計・造成工事（〈仮称〉南部拠点防災倉庫）及び基本調査（〈仮称〉北部拠点防災倉庫）を実施する。また、安島防災倉庫を中央部の拠点防災倉庫としての機能強化を図る。

2. 内容

（1）事業概要

（仮称）南部拠点防災倉庫

- ・整備場所 波木町 2080 番地内
- ・事業費 実施設計、造成工事

22,400千円



(仮称)南部拠点防災倉庫の概要

- ・用地面積:約 3,446 m²
- ・施設概要:鉄骨造平屋建約 600m²
- ・用途:支援物資の保管・荷捌きスペース、事務室等
- ・役割:災害時、主に南消防署管内の指定避難所に全国からの救援物資の荷捌き、配送を実施。

（仮称）北部拠点防災倉庫

- ・候補地選定及び基本調査

1,300千円

安島防災倉庫

- ・備蓄品の配備（食料、毛布等）

27,600千円

（2）整備スケジュール

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
（仮称）南部 拠点防災倉庫	基本調査 候補地選定	造成工事 実施設計	建築工事	運用開始	
（仮称）北部 拠点防災倉庫		基本調査 候補地選定	用地取得 造成工事 実施設計	建築工事	運用開始
安島防災倉庫		備蓄品の 配備			

3. 予算額

51,300千円 （財源内訳） 県支出金 1,300千円
 （前年度 1,300千円） 市 債 14,700千円
 一般財源 35,300千円

担当 危機管理監 危機管理室
 石川・柴田
 354-8119

避難施設等整備事業

1. 目的

東日本大震災の津波被害等の教訓を踏まえ、今後の発生が危惧されている南海トラフ巨大地震等に備えるため、周辺に津波避難施設がない塩浜地区磯津町地内において、地区所有の公会所を津波避難施設として活用できるよう外付け階段や手すり等を整備する。また、指定避難所の防災井戸や不用となる浄化槽を活用したトイレの整備を計画的に実施する。

2. 内容

- (1) 【新規】津波避難施設整備 25,600千円
・磯津公会所附带施設等整備（屋外階段・屋上手すり等）



- (2) 防災井戸等整備 9,200千円
・防災井戸 港中学校、旧東橋北小学校跡地、塩浜中学校、内部小学校、八郷小学校、内部中学校 計6カ所
・指定避難所案内板 1カ所



- (3) マンホールトイレ配備 2,000千円
・桜小学校（洋式便器10個 水洗式簡易トイレ1基）

3. 予算額 36,800千円 (財源内訳) 県支出金 1,000千円
(前年度 9,800千円) 一般財源 35,800千円

担当 危機管理監 危機管理室
石川・柴田
354-8119

防災システム整備事業

(防災行政無線(固定系)整備)

1. 目的

地震や津波・風水害等の自然災害から地域住民の生命や財産を守るため、避難情報・災害情報等の伝達手段として、60MHz帯デジタル防災行政無線(固定系)のデジタル化に伴う整備等を実施する。(平成26・27年度継続事業)

2. 内容

大規模災害時に避難・災害情報を音声、サイレンにより発信するため、市役所に操作卓(親局)を設置し、地域に屋外拡声子局を設置する。平成27年度は、平成26年度の既設更新(59カ所)に続き、屋外拡声子局の増設(58カ所 2カ年計117カ所)を行う。

3. 予算額

230,753千円 (財源内訳)市 債 173,000千円
一般財源 57,753千円

債務負担行為 期間：平成26～27年度
限度額：259,100千円

全体事業費539,557千円

(平成26年度308,804千円、平成27年度230,753千円)



操作卓(親局)



屋外拡声子局

担当 危機管理監 危機管理室
松田・渡邊
354-8119

政策推進部

新年度予算における基本的な方針

2020年度までの総合計画に掲げられた目指すべき都市像の実現に向けて、重点的な施策の全庁的な展開を図る。

また、都市の規模・能力に見合った権限及び財源を有した基礎自治体として、市民に身近な行政サービスをより一層効率的に提供し、都市機能の充実も図るべく、中核市移行に向けて取り組みを進める。

広報に関し、既存の各種情報発信手法のさらなる充実・強化とともに、新たな手法の導入も検討する。広聴に関しては、市政アンケートをはじめ、多様な手段で市民ニーズを的確に把握するとともに、具体的な施策への反映に努める。

また、首都圏を中心に、本市の魅力発信や地元製品の広報宣伝など、シティプロモーションのより一層の強化を図るとともに、経済界や中央省庁との連絡調整を緊密に行い、効果的な取り組みを行う。

さらに、平成27年度から施行される地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に基づき、教育条件の整備等重点的に講ずべき施策や、緊急の場合に講ずべき措置について協議・調整を行う場となる「総合教育会議」を設置するとともに、教育行政の大綱を策定する。

1. 総合計画の推進について

「四日市市総合計画(2011年度～2020年度)」に基づく第2次推進計画(平成26～28年度)の2年目として、着実な推進を図り、必要に応じてローリングを行うとともに、第2次推進計画の平成26年度事業実施分について外部の視点からの評価・検証を行う。

また、意欲ある職員からの政策提案など、柔軟な発想から生まれる斬新なアイデアを具体的施策につなげていく。

【主な事業】	総合計画推進事業	4,190千円
	政策評価検証事業	442千円

2. 中核市移行の推進について

産業廃棄物不適正処理事案については、国の「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法」(産廃特措法)に基づく支援を受け、三重県が対策工事を実施しているが、本市が中核市に移行した場合の、県の財政負担の担保や人的・技術的支援の具体的手法に関して、対策工事の進捗を見極めつつ、県との協議を進めていく。

【主な事業】	中核市移行推進事業	800千円
--------	-----------	-------

3. 市制施行120周年の啓発推進について

本市は、平成29年8月1日に市制施行120周年を迎える。120周年の節目を全市的に記念するとともに、市民の連帯感を高め、本市への愛着や誇りをさらに深めていただく取り組みを進めるべく、その啓発に向けたシンボルマークやキャッチコピーを制作・制定する。

【主な事業】 市制施行120周年啓発推進事業 700千円

4. 国際交流の推進について

中国天津市とは、平成27年10月に友好都市提携35周年を迎えることから、両市代表団の相互訪問や青少年によるスポーツ交流、市民による文化交流、経済交流訪問団の受け入れ等の記念事業を行う。また、姉妹都市米国ロングビーチ市からの交換学生・教師受け入れ等の対応を行う。

さらに、グローバル化の中で、本市の更なる経済活力向上に向けて、四日市・天津経済交流センターが取り組む各種事業の支援を始め、戦略的な姉妹都市提携に向けた調査研究なども行い、企業や経済団体等の経済交流を促進していく。

【主な事業】 姉妹友好都市交流事業 22,471千円
国際経済交流等調査事業 2,600千円

5. 四日市港の整備促進について

本市の産業を物流面から支えるため、エネルギー、バルク、コンテナのすべてを扱う総合港湾としての機能充実をより一層図るとともに、「国際産業ハブ港」の実現に向け、臨港道路霞4号幹線の整備促進による名古屋港との一体的な物流軸の強化や、積極的なポートセールスによる航路誘致・集荷促進対策など、国際物流機能の強化に向けた取り組みを推進する。

また、海岸保全施設の耐震・老朽化対策など、安全・安心な市民生活の確保に向けた港湾整備の促進を図るとともに、臨港道路霞4号幹線の整備促進によるリダンダンシーの確保も図る。

さらに、本市のまちづくりと一体となった港づくりに向けて、「末広橋梁」や「潮吹き防波堤」などの産業観光資源を活かした取り組みを始め、四日市港を訪れる人々がくつろぐことのできる空間の提供や港とふれあう機会の創出に努める。

【主な事業】 四日市港管理組合負担金 1,430,289千円

6．広報施策の推進について

広報紙や市ホームページ、市政情報等提供番組などの各種広報媒体のさらなる充実を図り、市の施策などの情報を市民に迅速にわかりやすく伝える。また、市の魅力発信情報誌「市勢要覧」を発行するとともに、魅力発信ポスターを作成するなど、市の魅力を市内外に効果的に情報発信する取り組みを行う。

【主な事業】 広報刊行物発行費 78,426千円

7．広聴施策の推進について

20歳以上の市民5,000人を対象に毎年1回実施している「市政アンケート」や、インターネットを利用した市民アンケートである「市政ごいけんばん」を有効活用し、行政上の課題や市民生活上の問題点などについて、市民の意識や要望などをより幅広く的確に把握するよう取り組む。

【主な事業】 広聴活動事業 1,808千円

8．シティプロモーションの推進について

四日市市の認知度向上に向けて、首都圏における注目度の高い地区での魅力発信イベント等を開催するとともに、地場産品の販売を通じて、首都圏の消費者ニーズの把握を行う。

また、首都圏において活躍されており、本市にもゆかりのある地域活性化アドバイザーを活用して、産業の高度化や活性化、文化・芸術のまちづくり、さらには都市イメージの向上に資する各種施策の具体化を図っていく。

【主な事業】 シティプロモーション推進事業 4,000千円

(新)市制施行120周年啓発推進事業

1. 目的

本市は、平成29年8月1日に市制施行120周年を迎える。120周年の節目を全市的に記念するとともに、市民の連帯感を高め、本市への愛着や誇りをさらに深めていただく取り組みを進めるべく、その啓発に向けたシンボルマークやキャッチコピーを制作・制定する。

2. 内容

(1)市制施行120周年シンボルマークの制作

・制作委託

(2)市制施行120周年を契機としたキャッチコピーの制定

・市民からキャッチコピーを募集

3. 予算額 700千円 (財源内訳)一般財源 700千円
(前年度 0千円)

参考：市制施行111周年のシンボルマークとキャッチコピー



担当 政策推進部 政策推進課
杉村
354 - 8112

姉妹友好都市交流事業

1. 目的

米国ロングビーチ市、中国天津市との交流事業を通じ、市民の国際理解を深めるとともに両市との友好親善を図る。

2. 内容

(1) 四日市・天津友好都市提携35周年記念事業 19,471千円

四日市市と天津市とは、昭和55年(1980年)10月28日に友好都市提携を締結し、平成27年(2015年)に35周年の節目の年を迎える。この35周年の年に、両市民の友好交流や相互理解をさらに深めるため下記の記念事業を実施する。

- ・両市代表団の相互訪問
- ・青少年によるスポーツ交流事業
- ・音楽グループを招いての文化交流事業
- ・経済交流訪問団の受け入れ

(2) ロングビーチ市等との交流事業 3,000千円

昭和40年(1965年)から、夏休みを利用した交換学生(高校生)2名、教師1名(通称トリオ)の相互派遣を行っている。平成27年度はロングビーチ市からトリオを受け入れ、市内の家庭に滞在しながら、日本の生活を体験するとともに、市内施設の見学や学校訪問等により市民交流を深める。また、ロングビーチ市等からの訪問団の受け入れや本市からの訪問団派遣等を行う。

3. 予算額 22,471千円 (財源内訳) その他特財 9,225千円
(前年度 6,391千円) 一般財源 13,246千円

担当 政策推進部 秘書課
大野

354-8097

シティプロモーション推進事業

1. 目的

首都圏における四日市の魅力発信や地元産品の宣伝を行うため、継続的な情報発信に努めるとともに、四日市市ゆかりの人材を活かして地域活性化アドバイザーを委嘱するほか、本市出身の方々などと協働して本市の地域活性化や都市のイメージ向上に取り組んでいく。

2. 内容

(1) シティプロモーション事業 2,200千円

四日市市の認知度向上に向けての具体的な取り組みとして、首都圏における注目度の高いエリアで、本市が持つ多くの魅力ある資源や財産を活用するイベントを開催するとともに、本市の地場産品の販売を通じて、販路開拓や商品開発につなげるための首都圏における消費者のニーズ把握を行う。

また、従来にない新たな手法を検討し、本市の魅力発信や地元産品の販路開拓に努め、本市のイメージアップを図っていく。

(2) 地域活性化アドバイザー事業 1,800千円

首都圏において活躍されており、本市にもゆかりのある方の中から委嘱している地域活性化アドバイザーの増強も図りながら、産業の高度化や活性化、文化・芸術のまちづくり、都市イメージの向上などに資する各種施策の展開へつなげていく。

3. 予算額 4,000千円 (財源内訳) 一般財源 4,000千円 (前年度 4,000千円)

担当 政策推進部 東京事務所
清水、児玉
03-3263-3038

総 務 部

新年度予算における基本的な方針

一人ひとりの人権が尊重されるまちを目指し、人権・同和行政についての各種の答申を踏まえた施策の推進を図る。

また、公正かつ効率的な行政運営を推進するため、法務管理、文書管理や入札契約制度、工事検査などの各種の内部管理業務を適切に執行する。

職員の育成については、市民から信頼される市政の実現を図るため、市民の視点に立ち、自主・自立の精神で積極果敢に行動できるよう、時代の変化に適応した職員の意識改革と職務遂行能力の向上に資する研修を実施する。

情報化推進では、システム安定運用の維持に努めるとともに、社会保障・税番号制度の導入に向けたシステム改修等を実施する。

1. 人権施策の推進について

平成16年3月の四日市市同和対策委員会からの答申「今後の同和行政のあり方について」や平成19年8月の四日市市同和行政推進審議会からの答申「今後の同和行政のあり方について(答申)の具体化を図るための仕組みについて」及び人権施策推進プランなどを踏まえ、すべての人が自分らしい生き方のできる社会となるよう施策の推進を図る。

さらに、地域における人権教育・啓発・学習の拠点である人権プラザの利便性、安全性の向上を図るため、施設の改修を行い、市民利用を促進する。

【主な事業】	人権教育・啓発推進事業	14,140千円
	人権相談体制強化事業	1,040千円
	人権啓発リーダー養成事業	1,728千円
	人権プラザ就業支援事業	4,156千円
	人権活動拠点施設整備事業	72,845千円

2. 職員研修の充実について

階層別研修では、市民に信頼される行政運営の実現を図るため、接遇・マナー研修や市民協働等の行政課題に対応した研修を実施するとともに、法令遵守及び公務員倫理研修を継続して実施することにより内部統制機能を保持する。また、階層・年代に応じた能力の習得を図るため、きめ細かな研修を実施する。

建設技術系職員研修では、高い専門性が求められる建設技術系職員の知識、技術力等の向上を図るため、主に若手職員を対象とした研修を実施していく。

特別研修では、組織として効率的な行財政運営を進め、市民とのパートナーシップを形成するため、専門性にも配慮した研修を実施する。また、メンタルヘルス研修を引き続き実施し、併せて円滑な職務遂行を支援する。

さらに、派遣研修では、自治大学校、市町村アカデミー、技術系職員研修機関等の外部研修機関へ積極的に職員を派遣する。

【主な事業】	階層別研修費	8,570千円
	建設技術系職員研修費	928千円
	特別研修費	2,503千円
	派遣研修費	7,577千円

3. 情報化の推進について

住民情報システムを始めとする窓口業務を支援するシステム及び行政内部事務の効率化を図る行政内部システムの安定運用に努める。

社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入に向け、平成26年7月から改修に着手した住民基本台帳システムに引き続き、税関連システム等の改修を進めるとともに、平成29年度に開始予定の他自治体との情報連携の構築準備等を行う。

【主な事業】	窓口支援システム保守運用	215,699千円
	行政内部のIT化事業	174,641千円
	行政内部のIT基盤整備	315,084千円
	行政サービスのIT化事業	17,928千円
	番号制度関連システム改修	206,531千円

4. 国勢調査の実施

国勢調査は、日本国内の人口、世帯、就業者からみた産業構造などの状況を地域別に明らかにするために実施される国の最も基本的な統計調査で、5年周期で実施されており、平成27年度に実施する。

【主な事業】	国勢調査費	144,746千円
--------	-------	-----------

5 . 入札契約制度について

入札契約の透明性、公正性及び競争性を高めることを基本理念として、実情に応じた課題の改善を図り、適正な入札契約制度による執行を行う。

また、契約にあたって、総合評価方式等も含めた適正な契約方法の採用、適正な仕様及び納期等の契約条件の設定、過度な競争への対応等により、健全な競争環境の確保に努める。

6 . 工事検査について

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が平成 17 年 4 月 1 日に施行され 9 年が経過するが、発注者の責務として工事中及び完成時の履行状況の確認及び評価を適切に実施することがより一層求められている。このため、施工途中における監督職員の段階確認を確実に実施するよう指導に努め、適正な履行を確認するための工事検査を行うとともに、受注者の技術能力を測る指標のひとつとして、適切な評価を与える。

なお、完成検査時に検測や確認のできない不可視部分の出来形や品質については、随時検査を実施し、品質確保の観点から指導を行う等、より充実した内容とする。

7 . 統一地方選挙の執行について

平成 27 年 4 月 12 日執行予定の県知事選挙、県議会議員選挙及び 4 月 26 日執行予定の市議会議員選挙を適切に執行する。

【主な事業】	県知事選挙費	41,463千円
	県議会議員選挙費	18,747千円
	市議会議員選挙費	146,593千円

(決算議会等の指摘に対する主な見直し事業)

・公契約条例の取り組み

契約の適正な履行体制及び従事する労働者の適正な労働条件について、発注者として確認と必要に応じた指導を行うことをはじめ、公契約の適正化を進め、公契約条例の着実な運用により事業の質の向上を図る。

人権教育・啓発推進事業

1. 目的

市内各地域における住民の人権啓発活動に対する支援や、全市的な人権啓発活動である「じんけんフェスタ」の充実を図る。また、地域の人権啓発活動を効果的に進めるため、人権教育・啓発推進プログラム事業を実施し、住民主体の人権啓発活動の推進を図り、本市における人権意識の向上を図る。

2. 内容

(1) 市民人権活動支援事業 9,800 千円
積極的に人権啓発活動を展開している各地区人権・同和教育推進協議会等への活動を支援するとともに、人権に関する全国規模の研究会、研修大会への市民の参加を支援する。

各地区人権・同和教育推進事業

各地区人権・同和教育推進協議会や各ブロック協議会がそれぞれの地域、及び複数の地域を対象として実施する教育・啓発・広報活動・交流活動等の委託

市民人権学習支援事業

全国規模の研究会、研修大会（現在 16 種類）への参加経費（参加費、交通費、宿泊費）の一部補助（一般：1/2、学生：4/5）

(2) 人権教育・啓発推進プログラム事業 1,200 千円
人権教育・啓発活動における指導的役割を担える人材育成や各種の人権啓発活動に寄与するため、人権に関する教材等の作成を行う。

(3) 人権フェスタ事業 3,140 千円
12 月の人権週間に合わせて、広く市民に対して人権を考える機会として、人権講演会や、市内人権啓発活動団体の取り組み等を紹介する「じんけんフェスタ」を文化会館において開催する。

3. 予算額 14,140 千円 (財源内訳) 県支出金 116 千円
(前年度 17,140 千円) その他特財 3,140 千円
一般財源 10,884 千円

担当 総務部 人権センター
森
: 354 - 8157

番号制度関連システム改修経費

1. 目的

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」（マイナンバー法）の公布に伴い、社会保障（国民年金、国民健康保険、福祉関係など）・税制度の効率性と透明性を高め、国民にとって公平で公正な社会を実現するため、平成26年度に引き続き、番号制度に関係するシステムの改修を行う。

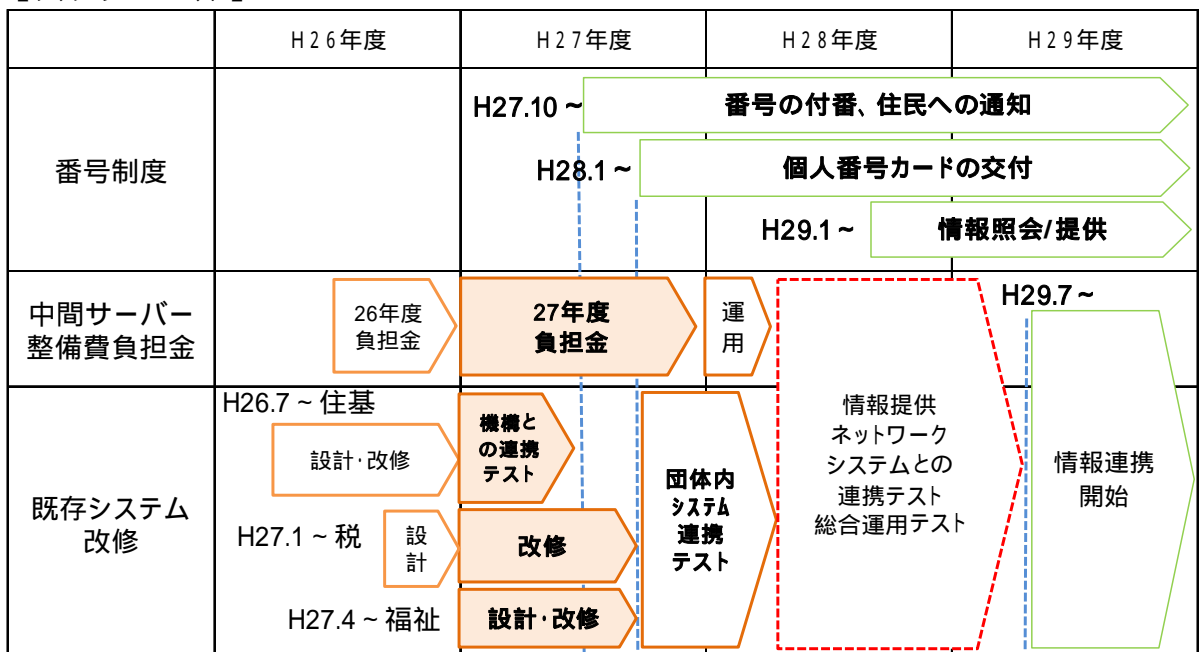
2. 内容

番号制度関連システムの改修については、平成26年度に住基システム、税関連システムの改修等に着手しているが、平成27年度においても改修及び連携テストを行うとともに、新たに福祉関連システムの設計・改修に着手する。

また、平成29年7月から国や他の自治体との情報連携を行うために地方公共団体情報システム機構が管理する中間サーバーに係る整備費負担金を支払う。（単位：千円）

改修内容	担当課	予算額	補助金額
住基・統合宛名・税関連システム・中間サーバー等	IT推進課	206,531	62,641
保健福祉総合システム	健康福祉課	113,944	24,453
介護保険システム	介護・高齢福祉課	39,100	7,976
後期高齢者医療システム	保険年金課	11,800	3,142
合計		371,375	98,212

【スケジュール】



3. 予算額 206,531千円 (前年度 0千円) (財源内訳) 国庫支出金 62,641千円 一般財源 143,890千円

担当 総務部 IT推進課
長谷川
:354-8106

財 政 経 営 部

新年度予算における基本的な方針

四日市市総合計画の「第2次推進計画(平成26~28年度)」の計画期間に合わせて、「四日市市行財政改革プラン2014(平成26~28年度)」に掲げる改革事項の達成に向けて着実に取り組みを進め、中期的な視野のもと、健全で持続可能な財政運営に努める。

歳入の根幹をなす市税については、必要な財源を確保するため、引き続き課税対象の的確な把握に努め、市民負担の公平性の観点から適正な課税を行うとともに、収納率の向上を図る。さらに、税制度への納税者の十分な理解が得られるよう周知・広報を徹底しながら、自主納付の推進と効果的かつ効率的な滞納整理に取り組むことにより、累積滞納額の削減に努める。

また、本市が保有するすべての公債権及び私債権についても、債権管理基本方針に基づき、債権管理推進本部を中心にして、適正な債権管理に取り組み、各債権の組織的かつ効果的な回収に努める。

市が保有する財産については、適正な管理を実施するとともに、不要な資産の売却や有効活用を図る。また、四日市市アセットマネジメント基本方針に基づき、公共施設の計画的な予防保全や適正な維持管理に努め、施設の長寿命化や維持管理コストの削減を図る。

1. 健全な財政運営の推進について

総合計画の推進計画を着実に推進していくため、「四日市市行財政改革プラン2014」に掲げる財政運営の指針に基づき、健全な財政運営に努める。

また、市民ニーズや社会構造の変化に的確かつ機動的に対応し、最小の経費で最大の効果が得られるよう、事業の見直しや経常的経費の削減に取り組み、持続可能な財政運営を押し進める。

【主な事業】 財政管理経費 6,253千円

2. 行財政改革等の推進について

限りある資源を最大限有効に活用し、多様化する市民ニーズに対応するとともに、市民によりよい行政サービスを提供し、持続可能な行財政運営を図るため、「四日市市行財政改革プラン2014」を着実に推進するなど、行財政改革に取り組む。

指定管理者制度の運用については、適正な指定管理者の公募・選定を実施するとともに、引き続き指定管理者モニタリングを適正に実施する。

【主な事業】 行財政改革推進費 2,575千円

3. 市税の賦課徴収について

(1) 土地評価業務

平成 27 年度から平成 29 年度までの土地の用途性やライフラインの整備状況、状況類似等を調査し、平成 30 年度評価替え時における標準宅地の選定のほか、路線価への影響の算出を行い適正な評価による課税を図る。

【主な事業】土地評価関係経費 41,632 千円

(2) 市税自主納付の推進と滞納額の削減

市税収納については、個人住民税特別徴収や口座振替制度への加入を促進し、引き続き自主納付、納期内納付の推進を図る。

滞納額の削減のため、市税滞納については、滞納初期の段階で納付交渉を行い、納付困難な場合には生活状況に応じたきめ細かい納付相談を行うとともに、所管課から移管を受けた税外債権とあわせ引き続き効果的な滞納整理を実施する。

【主な事業】自主納税推進経費 14,685 千円
税外債権滞納整理事業 5,335 千円

4. 適正な債権管理について

全庁的に適正な債権管理を推進するため、関係部局で組織する債権管理推進本部を中心にして、毎年度の目標設定及び進捗管理を行いながら、関係課に配置する債権管理推進員とともに、各債権の組織的かつ効果的な回収に取り組む。

5. 市庁舎等の適正な管理運営と災害対策の強化

市庁舎等の施設について適正に管理運営するとともに、光熱水費等の維持管理経費の節減に努める。

また、引き続き市庁舎及び総合会館について、津波対策として非常用電源の確保及び吊天井崩落対策など災害対策の強化に努めるとともに、市庁舎(1～5階)について照明のLED化を図る。

【主な事業】非常用電源等対策事業 244,130 千円
公共施設LED化推進事業 36,200 千円
市庁舎等管理運営費 380,860 千円

6．公共施設アセットマネジメントの推進

市アセットマネジメント基本方針等に基づき、公共施設について計画的な予防保全工事により、施設の長寿命化と維持管理経費の低減を図る。

市庁舎及び総合会館においては、中央監視装置更新工事及び吊天井崩落対策工事等を実施する。

【主な事業】市庁舎等整備事業（アセットマネジメント） 95,300千円

7．ふるさと応援寄附金について

国の「ふるさと納税の拡充」の方針に基づき、寄附者の利便性の向上を図るとともに、「感謝の気持ち」（お礼の品）のバリエーションを検討し、寄附金の増加に努める。

【主な事業】「感謝の気持ち」贈呈経費 7,000千円

（決算議会等の指摘に対する主な見直し事業）

・補助金の適正化について

議会からの政策提言を受けて、新たな補助金交付基準を策定し、新交付基準に基づいて当初予算編成を行った。また、補助金の執行に際しても、新交付基準によるチェック・見直しを行い、補助金の適正化に努める。

・適正な債権管理の推進について

債権管理基本方針に基づき、各債権の所管課に債権管理推進員を配置し、債権管理の適正化に向けた全庁的な取り組みを進めている。自主納付の推進に向けては、コンビニ収納の対象拡大を図り、期限内納付率の向上に努める。

土地評価関係経費（土地評価業務）

1. 目的

次期評価替え年度における評価額を算定するため、必要な基礎資料を作成し、評価額に反映させる。

2. 内容

平成 30 年度評価替え時における評価額を算定するため、平成 27 年度から 3 年間の市内における土地の利用状況の変化や状況類似地域を調査し、標準宅地や路線価の見直しを行う。

また、毎年追加される路線価格の算定や土地の分合筆や地目変更等に伴う画地の計測を行い、適正な評価額を算出する。

3. 予算額 29,100 千円（財源内訳）一般財源 29,100 千円
（前年度 18,956 千円）

4. 債務負担行為

限度額 64,400 千円（総事業費 93,500 千円）
期間 平成 27 年度から平成 29 年度

担当 財政経営部 資産税課
坂倉
TEL 354 - 8134

非常用電源等対策事業

1. 目的

市庁舎及び総合会館は、南海トラフ地震等の大震災に伴う津波が発生した場合に、浸水により電源が消失する可能性が高いことから、津波時においても行政機能を維持できるよう、引き続き津波対策工事を実施する。

2. 内容

- 市庁舎及び総合会館津波対策工事（平成 26～27 年度継続事業）
市庁舎東側の発電機の嵩上げ及び総合会館地下 1 階のキュービクル（受変電設備）の市庁舎 3 階部分屋上設置等を実施

全体事業費	292,680 千円	平成 26 年度	55,350 千円
		平成 27 年度	237,330 千円

債務負担行為 期間：平成 26 年度～27 年度
限度額：269,400 千円

- 市庁舎及び総合会館津波対策工事監理業務委託等 平成 27 年度 6,800 千円

3. 予算額	244,130 千円	(財源内訳) 市債	213,500 千円
(前年度	60,300 千円)	一般財源	30,630 千円



市庁舎東側発電機



総合会館地下 1 階キュービクル（受変電設備）

担当 財政経営部 管財課
森
354 - 8288

公共施設 L E D 化推進事業

1 . 目的

公共施設において L E D 化工事を実施し、維持管理経費（消費電力量）の抑制及び地球温暖化の防止を図る。

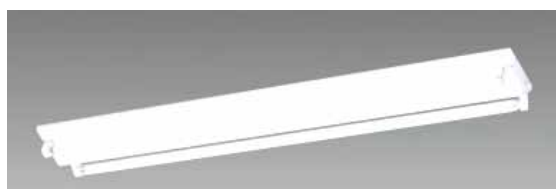
2 . 内容

新築や改築等の工事を実施する際に L E D 照明器具を設置するほか、既存施設で「点灯時間が長い」または「照明器具が多い」など消費電力量が多く、L E D 化効率が高い施設から順次、照明器具の L E D 化を推進していく。平成 27 年度は市庁舎の事務室及び廊下等について L E D 化工事を実施する。

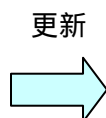
市庁舎照明器具 L E D 化工事

1 ~ 5 階の事務室及び廊下等に設置している蛍光灯（約 1 , 5 0 0 灯）について、L E D 照明に交換する。

3 . 予算額 3 6 , 2 0 0 千円 （財源内訳）一般財源 3 6 , 2 0 0 千円
（前年度 2 , 2 0 0 千円 ）



既設照明器具（蛍光灯）



L E D 照明器具

担当 財政経営部 管財課
森

3 5 4 - 8 2 8 8

市庁舎等整備事業（アセットマネジメント）

1. 目的

四日市市アセットマネジメント基本方針に基づき、第2次推進計画に位置づけた公共施設について、計画的な予防保全工事により、施設・設備の長寿命化を図り、施設の維持管理経費の低減と財政負担の平準化を図る。

2. 内容

予防保全工事

市庁舎消火ポンプ更新工事	6,700千円
市庁舎中央監視装置更新工事	50,100千円
総合会館外壁改修工事設計業務委託	3,300千円

天井崩落対策

建築基準法の改正に基づき、特定天井（天井高6m超の部分が面積200㎡超の吊天井）について崩落対策を実施する。

総合会館ピロティ天井崩落対策工事	31,400千円
市庁舎天井崩落対策工事設計業務委託	3,800千円

3. 予算額 95,300千円 （財源内訳）一般財源 95,300千円
（前年度 89,900千円）



総合会館ピロティ天井崩落対策工事



市庁舎消火ポンプ更新工事

担当 財政経営部 管財課
森

354 - 8288

市民文化部

新年度予算における基本的な方針

急速な少子高齢化や生活様式の多様化など、本市を取り巻く状況が大きく変化する中で、地域社会を支える地域コミュニティを維持・向上させていくため、地区市民センターを核として各種事業に取り組み、地域活動を活発化し、地域の絆づくりを進める。

また、本市の文化力を全国に発信するとともに、地域で大切に受け継いできた伝統芸能を始めとする市民の文化活動や文化交流の支援及び芸術文化活動の場の整備などに取り組み、文化の振興を図る。

窓口サービスについては、新たな社会保障・税番号制度導入に伴い、個人番号の付番や市民への通知及び個人番号カード等の交付を進める。

あさけプラザについては、引き続き計画的に改修工事を行い、安全で快適な利用者に親しまれる場としていく。

さらに、市民一人ひとりが地域社会の構成員として互いの個性を認め合い、共に支えあって暮らすことができるよう、男女共同参画社会および多文化共生社会の実現を目指す。

1. 地域社会づくりについて

(1) 継続的で公益性のある市民活動に対する補助などの支援により、自治会、NPO、ボランティアをはじめとする市民活動団体の育成や活性化を図り、多様化する地域課題の解決につなげていく。

平成27年4月1日施行の市民協働促進条例に基づき、市民協働促進委員会を設置するとともに市民協働促進計画を策定する。また、全市的な観点から、地域の魅力や、犯罪及び消費者被害等から市民を守るなどの情報発信について、市民活動団体と市との協働により、事業を実施する。

一方、福祉や防災、防犯などさまざまな分野における地域の特色ある活動に対しては、迅速に事業を執行するため、地区市民センター館長の権限で使える予算を全地区市民センターへ配分することで、地域コミュニティの維持・拡充への支援をしていく。

(2) 住民による自主防犯活動について、地域防犯活動推進事業により支援を行うとともに、自治会の防犯外灯の設置等、及び自治会等の地域団体や商店街振興組合等による通学路や広場など公共的な場所に向けた防犯カメラの設置に対して補助を行うことにより、安全・安心なまちづくりを推進する。

なお、防犯外灯については、維持管理費の負担軽減や温室効果ガス排出の

削減を一層進めるため、引き続き、新設・取替時の補助対象を LED 灯に限定し、LED 化を促進する。

(3) 市民が地域活動に積極的に参加できるよう地域づくりマイスター養成講座による地域づくりを担う人材の発掘・育成を進めるとともに、地域の課題解決に向けたニーズと地域で暮らす多様な技能を持つ人材とのマッチングの充実を図る。

【主な事業】	旧東橋北小学校整備事業（市民交流施設）	15,700千円
	地区市民センター・なやプラザ整備事業	75,800千円
	地区市民センター・楠福祉会館・なやプラザ整備事業 （アセットマネジメント）	76,800千円
	地域活動費（館長権限予算分）	36,000千円
	防犯外灯新設維持費補助金（防犯外灯 LED 化推進事業）	131,812千円
	地域社会づくり総合事業費補助金	81,120千円
	地区市民センター住民運営推進事業	69,155千円
	集会所建設費補助金	32,000千円
	まちづくり人材マッチング事業	1,500千円
	地域づくりマイスター養成事業	470千円
	市民活動推進事業	5,118千円
	地域防犯活動推進事業	3,300千円
	地域の魅力等の情報発信に関する協働事業	3,000千円
	安全なまちづくり推進事業（防犯カメラ設置費分）	15,024千円

2. 市民相談・消費生活相談事業について

安全・安心な市民生活が送れるよう、日常生活上の家事等の問題、多重債務問題、また消費生活のトラブル等に関する相談に応じ、市民が自主的に解決できるよう支援する。そのため、相談員の資質向上に努めるとともに、弁護士など専門家による特別市民相談の実施や、消費生活出前講座などを開催するほか、県や警察など関係機関と連携し、消費者被害の未然防止に取り組む。特に高齢者の集会等へ積極的に出向き啓発活動に努める。

【主な事業】	市民相談室運営費	2,238千円
	消費生活相談事業	7,171千円

3. 多文化共生推進事業について

国籍や文化が異なる市民がお互いの個性を認め合い、共に支えあって暮らす「多文化共生社会」を目指す。そのため、外国人市民の集住地区である笹川地区においては、多文化共生サロンを中心に住民同士の交流促進、社会に適応するための日本語学習支援や日本文化・社会の理解促進等、外国人市民が地域の対等な構成員となるよう多文化共生の事業を推進していく。

また、外国人市民の日本語習得レベルに応じた学習支援のしくみづくりに取り組む。

【主な事業】	多文化共生推進事業	9,170千円
	モデル地区共生推進事業	7,172千円
	多文化共生サロン管理運営費	5,655千円

4. 文化振興について

四日市の文化力を全国へ発信し、都市イメージの向上を図ることを目的として開催する全国ファミリー音楽コンクールについて、プレイベントを開催するなど、より積極的なPRを行う。

地域に伝わる文化行事や民俗芸能の保存・継承のため、新たに担い手育成、用具類等の更新等及び保管施設の改修等について支援するとともに、富田地区の「鳥出神社の鯨船行事」を含む全32件の国指定重要無形民俗文化財で構成される「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産への登録審査が平成28年中に行われるにあたり、登録推進の取り組みを行う。

あわせて、市民の文化活動によって収集された有形資料について、市の魅力発信に活用でき、市民文化の向上及び発展に資すると認められるものについて、市が保存・継承するための調査検討に係る仕組みづくりをする。

芸術文化活動の場づくりについては、遊休化している旧三浜小学校を有効活用した芸術文化活動の場を整備するため、基本設計及び実施設計を行う。

市民の文化活動の拠点である文化会館については、安全で快適に利用できるよう計画的に更新を進めるとともに、より多くの市民が多様な芸術文化に触れられるよう、指定管理者である(公財)四日市市文化まちづくり財団と密接な連携を図りながら事業を推進する。

【主な事業】	市美術展覧会開催費	4,101千円
	市民文化祭等開催費	6,570千円
	文化の駅推進事業	6,300千円
	四日市音楽コンクール開催事業	6,500千円
	文化振興事業支援補助金	3,446千円
	芸術文化活動の場づくり事業（旧三浜小学校整備事業）	49,600千円
	地域の文化遺産の保存・継承支援事業	2,900千円
	市民文化遺産保存検討費	1,300千円
	文化会館等管理運営費	251,846千円
	文化会館等施設整備事業	24,600千円
	文化会館等施設整備事業（アセットマネジメント）	77,300千円

5. 生涯学習活動支援について

市民大学一般クラスについては、さまざまなテーマの講座を市民団体や大学機関による企画運営で開催するとともに、熟年クラスについては、熟年大学と名称変更し、高齢者が学びながら仲間づくりをし、社会参加への意欲を高め、地域づくりへと活動を発展させられるよう内容の充実を図る。

また、市民との協働で生涯学習情報の提供や講座を企画するなど、市民の生涯学習活動の支援を行う。

【主な事業】	市民大学一般クラス経費	2,217千円
	熟年大学経費	2,520千円
	地区市民センター生涯学習事業	5,282千円

6. 男女共同参画の推進について

男女共同参画審議会、男女共同参画推進庁内調整会議等との調整を図りながら、「男女共同参画プランよっかいち 2015～2020」（平成 26 年度末策定）に基づき施策を推進する。

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）については、少子化対策という視点も含め、企業関係者のほか、広く市民の参加も得た講演会を開催する。あわせて、企業向けの出前講座を実施し、各企業、団体でのワーク・ライフ・バランスの取り組みの推進につなげる。

また、女性相談やDV相談については、多様化・専門化する相談に対応するため、女性弁護士による法律相談、女性臨床心理士による臨床心理相談を

引き続き実施する。さらに、配偶者暴力防止対策として、デートDV予防教育出前講座の学校開催を拡充し、DV防止セミナーを開催するなど、DVについてより認識を広め、DVを許さない意識づくりを進めていく。

【主な事業】	男女共同参画推進事業	64千円
	ワークライフバランス推進事業	1,590千円
	学習機会提供事業	2,234千円
	女性相談事業	3,541千円
	配偶者暴力防止対策事業	2,670千円

7. 窓口サービスの充実について

戸籍や住所異動の届出受付、戸籍謄抄本や住民票の証明発行などの窓口業務について、個人情報をも正確かつ安全に管理し、市民の視点に立ったサービスを提供する。

また、社会保障・税番号制度導入に伴い、個人番号の付番や市民への通知及び個人番号カード等の交付を進める。

【主な事業】	戸籍住民基本台帳事務費	222,055千円
	(うち番号制度関連経費分)	120,203千円)
	市民窓口サービスセンター運営費	4,944千円

8. あさけプラザ事業について

年間来館者約43万人のあさけプラザは、開館から30年が経過し、施設と設備の長寿命化と維持管理の軽減を図るため、計画的な改修工事を進めており、平成27年度は、浴室改修工事、高圧受変電設備の更新工事及び揚水ポンプ等の更新工事を実施する。

また、幅広い年代の人びとが交流する広域対象複合施設として、引き続き、安全で快適な施設維持と各種講座やコンサートなど自主事業を行い、利用者に親しまれる場にしていく。

【主な事業】	施設管理運営費	73,673千円
	施設整備事業(アセットマネジメント)	53,800千円
	施設整備事業	41,500千円
	図書資料整備費	1,850千円
	あさけプラザ運営協議会負担金	1,300千円

(決算議会等の指摘に対する主な見直し事業)

・安全なまちづくり推進事業 (市民生活課)

プライバシー保護のため設置届出などの義務を定めた防犯カメラの設置・運用にかかる条例を整備し、防犯カメラ設置補助制度を設ける。

・施設整備事業 (あさけプラザ)

施設と設備の長寿命化と維持管理経費の軽減を図り、浴室については、バリアフリー化工事を併せて行う。

（新）旧東橋北小学校整備事業（市民交流施設）

1. 目的

学校統合により遊休化している旧東橋北小学校について、早期に有効活用を図るため、子育て支援の機能を中心に、市民活動の場などの貸館・貸しスペース、地元の地域活動施設、企業ＯＢによる中小企業等への相談支援の場といった複合施設としての改修を行う。

2. 内容

3階の一部を貸館・貸しスペースとして、1階の一部を地元の地域活動施設として整備するため、基本設計及び実施設計を行う。

3. 予算額 15,700千円 (財源内訳) 一般財源 15,700千円
(前年度 0千円)

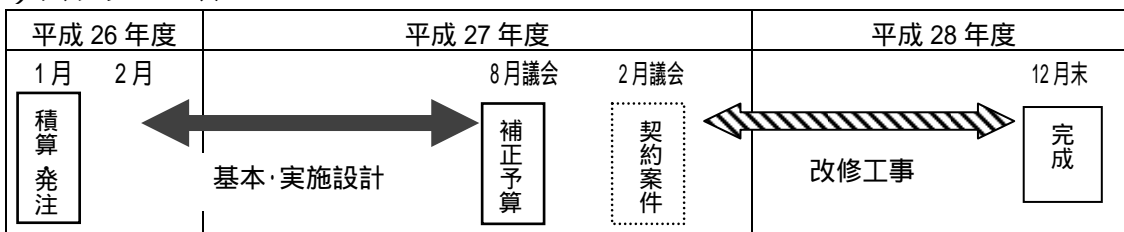
参考：施設全体の整備計画

(1) 利活用内容

校舎：延床面積5,707㎡(平成4年竣工、RC造4階)

- 1階 幼稚園および保育園、地元の地域活動施設
- 2階 幼稚園および保育園
- 3階 貸館・貸しスペース
企業ＯＢによる中小企業・ベンチャー企業への相談支援の場
- 4階 児童館、子育て世代等交流の場

(2) スケジュール



(3) 基本・実施設計に関する予算額

整備する施設	担当課	予算額
幼稚園および保育園	保育幼稚園課	29,800千円
地元の地域活動施設、貸館・貸しスペース	市民生活課	15,700千円
企業ＯＢによる相談支援の場	工業振興課	1,400千円
児童館、子育て世代等交流の場	こども未来課	15,300千円
合 計		62,200千円

担当 市民文化部市民生活課
岡本
354 - 8146

地区市民センター・なやプラザ整備事業

1. 目的

地域社会づくりの拠点施設である地区市民センターにおいて、高齢者をはじめとする地域住民の安全かつ快適な利用を促進するため、1階和室部分のバリアフリー化やトイレの洋式化等の施設改修を行う。

また、楠総合支所の地区市民センター化に伴う1階フロアの改修工事を行うとともに、津波対策としてなやプラザ屋上への外付け階段を設置する。

2. 内容

- (1) 1階和室バリアフリー化工事等 23,500 千円
地区市民センター1階和室のバリアフリー化のための設計及び改修工事
平成27年度対象：八郷、神前、常磐、塩浜地区市民センター
- (2) トイレ洋式化工事 3,500 千円
中部地区市民センター3・4階トイレ洋式化のための改修工事
- (3) 楠総合支所の地区市民センター化に伴う1階フロアの改修工事等 22,900 千円
楠総合支所の地区市民センター化に伴う1階フロアのレイアウト変更や間仕切り壁設置等のための設計及び改修工事
- (4) なやプラザ外付け階段設置工事等 25,900 千円
津波対策として、なやプラザ(3階建て)屋上に上れるよう外付け階段及び屋上フェンスを設置するための設計及び設置工事

3. 予算額 75,800千円 (財源内訳) 一般財源 75,800千円
(前年度 32,700千円)

担当 市民文化部市民生活課
岡本・堤
354-8146

**地区市民センター・楠福社会館・なやプラザ整備事業
(アセットマネジメント)**

1. 目的

四日市市アセットマネジメント基本方針に基づき、第2次推進計画に位置付けた公共施設について、維持管理費の軽減や省エネルギー化を図りつつ、計画的な予防保全による長寿命化を進めることにより、長期的な経費の削減及び財政負担の平準化を図る。

2. 内容

長寿命化工事

(1) 四郷地区市民センター空調機更新工事	12,100 千円
(2) 塩浜地区市民センター空調機更新工事設計業務委託	500 千円
(3) 小山田地区市民センター空調機更新工事設計業務委託	500 千円
(4) 三重地区市民センター(本館)空調機更新工事	8,100 千円
(5) 河原田地区市民センター空調機更新工事	6,500 千円
(6) 楠福社会館空調機更新工事	46,200 千円
(7) なやプラザ外壁改修工事	2,900 千円

3. 予算額 76,800千円 (財源内訳) 一般財源 76,800千円
(前年度 118,400千円)

担当 市民文化部市民生活課
岡本・堤
354 - 8146

地域活動費 (館長権限予算分)

1. 目的

地域の特色ある活動に対して、地区市民センター館長の権限で使える財源を配分することで、迅速に事業を執行し、地域活動の活性化を促進する。

2. 内容

(1) 対象事業

地域おこし・地域の特色を高めるものや、福祉、環境、子育てなどの地域課題に即応して効果的に対応する地域公益性に資するもので、地域のまちづくり委員会等で協議がなされ、地域合意が得られているソフト事業。

(2) 配分額

1 地区市民センターあたり 1,500 千円以内

(3) 実施方法

平成 27 年度は全地区市民センターに拡充して予算を配分する。(平成 26 年度は、8 地区市民センターにおいて、試行的に実施)

3. 予算額 36,000 千円 (財源内訳) 一般財源 36,000 千円
(前年度 9,000 千円)

担当 市民文化部市民生活課
田村・岡本
354 - 8146

防犯外灯新設維持費補助金
(防犯外灯 LED 化推進事業)

1. 目的

安全安心なまちづくりを進めるため、自治会が管理する防犯外灯の LED 化を促進し、維持管理費の負担軽減や地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出低減を図る。

2. 内容

地域が管理する防犯外灯の設置費（新設・取替時の補助対象は LED 灯限定）及び維持管理費を補助する。

【LED 化補助の拡充】

防犯外灯の LED 灯への新設・交換に対する補助について、消費電力量が 100W を超える水銀灯から 20W を超える LED 灯に交換する場合の上限額を 30,000 円に引き上げることにより、さらなる LED 化の推進を見込む。

< 従来 >

対象内容	補助率	補助上限
LED 灯新設、 LED 灯への交換	60%	20,000 円



< 拡充後 >

対象内容	補助率	補助上限
20W 超型 LED 灯新設、 100W 超型水銀灯から 20W 超型 LED 灯への交換	60%	30,000 円
上記以外の新設、交換	60%	20,000 円

3. 予算額 1 3 1 , 8 1 2 千円 (財源内訳) 一般財源 1 3 1 , 8 1 2 千円
(前年度 1 2 2 , 0 9 6 千円)

うち防犯外灯 LED 化推進事業分
4 9 , 7 3 6 千円
(前年度 4 0 , 0 0 0 千円)

担当 市民文化部市民生活課
堤・伊藤
3 5 4 - 8 1 7 9

市民活動支援事業

1. 目的

「市民協働のまちづくり」を推進するため、市民が継続的に取り組む公益活動を支援し、地域コミュニティの充実を目指す。

2. 内容

- (1) 地域社会づくり総合事業費補助金 81,120 千円
地域が自主的に取り組む様々な事業と各地区の地域社会づくりの推進母体となる団体事務局の運営に対し、総合的な支援を行う。
- (2) 地区市民センター住民運営推進事業 69,155 千円
地域社会づくりの活動経験や柔軟な発想を有する地域マネージャーを活用し、地域の特色や資源を活かしつつ市民主体の魅力あるまちづくりを推進する。
- (3) まちづくり人材マッチング事業 1,500 千円
退職後の団塊の世代など、地域で暮らす多様な技能を持つ人材を有効活用するため、それら人材と地域ニーズとのマッチングを行う。
- (4) 地域づくりマイスター養成事業 470 千円
地域において市民活動・市民協働を理解し携わる人材の育成とネットワークの構築を目的として講座を実施する。四日市市自治会連合会が主体となって実施した海外研修を踏まえ、地域づくりに有意義でさらなるレベルアップにつながる内容について米国ロングビーチ市の地域リーダーシッププログラムの手法を取り入れた養成講座を開催する。
- (5) 市民活動推進事業 5,118 千円
平成 27 年 4 月 1 日施行の市民協働促進条例に基づき、市民協働促進委員会を設置し、市民協働促進計画の策定を行う。
- (6) 地域防犯活動推進事業 3,300 千円
安全なまちづくりに向けた住民による自主防犯活動を推進するため、防犯用具の購入や研修を支援するとともに、これから防犯活動を始めようとする地域での講座の開催など、防犯活動の普及啓発を行う。

3. 予算額 160,663 千円 (財源内訳) 一般財源 160,663 千円
(前年度 151,993 千円)

担当 市民文化部市民生活課
堤・吉田
354 - 8179

(新)地域の魅力等の情報発信に関する協働事業

1. 目的

全市的な観点から、地域の魅力や、犯罪及び消費者被害等から市民を守るなどの情報発信について、市民活動団体と市との協働により、事業を実施する。

2. 内容

市民活動団体より、全市的な観点から、地域の魅力や、犯罪及び消費者被害等から市民を守るなどの情報発信について、事業の提案を受ける。

提案のあったものについて審査選考のうえ、市民活動団体と市双方の役割分担を明確にし、市から委託する。

対象団体：市民活動団体（地縁団体、NPO、ボランティア団体など）

委託金額：1事業あたり50万円以内

3. 予算額 3,000千円 (財源内訳) 一般財源 3,000千円
(前年度 0千円)

担当 市民文化部市民生活課
堤・吉田
354-8179

安全なまちづくり推進事業 (防犯カメラ設置費分)

1. 目的

市民による防犯活動等を補完するものとして、犯罪が発生しにくい環境にする有効な手段の一つである防犯カメラの設置を支援することなどにより、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。

2. 内容

- (1) 防犯カメラ設置費補助金 14,160 千円
自治会等の地域団体や商店街振興組合等による通学路や広場など公共的な場所に向けた防犯カメラの設置に対して補助を行う。

補助の主な要件

- ・ 犯罪の防止又は抑止を目的
- ・ 道路や公園等の公共の場所に向けて設置
- ・ 四日市市防犯カメラの設置及び運用に関する条例の遵守
- ・ 設置予定場所所有者の許可及び地域の合意があるもの
- ・ 一定期間以上継続して設置

(購入により設置5年以上、賃貸借契約により設置6ヶ月以上)

補助割合

設置の状態	通学路に向けて設置	通学路以外の公共の場所に向けて設置
機器購入	3分の2 (上限40万円)	2分の1 (上限30万円)
賃貸借契約	3分の2 (上限8万円)	2分の1 (上限6万円)

- (2) 防犯カメラ設置事業 864 千円
市が人通りの多い公共的な場所に防犯カメラを設置する。

3. 予算額 15,024千円 (財源内訳) 一般財源 15,024千円
(前年度 0千円)

防犯カメラの設置例



担当 市民文化部市民生活課
堤・伊藤
354 - 8179

市民相談・消費生活相談事業

1. 目的

安全・安心な市民生活が送れるよう、日常生活上の様々な問題や、消費生活上のトラブルに関する相談事業や消費者啓発活動を通じて、市民が自主的に解決できるよう支援を行うとともに、消費者被害の未然防止を図る。

2. 内容

(1) 市民相談室運営費 2,238 千円

市民相談では、行政に対する相談のほか、金銭貸借等の民事相談、相続、離婚等の家事問題など市民が生活の中で抱える様々な問題に対処する際の支援を行うため、相談員が十分な聞き取りをしたうえで適切な助言を行う。また、専門的な助言を必要とする市民に対しては、弁護士・司法書士・行政書士・社会保険労務士・公証人・行政相談員による特別相談を定期的実施する。

(参考) 平成 25 年度相談実績 3,773 件

(2) 消費生活相談事業 7,171 千円

消費生活相談では、消費生活のトラブル等に関する相談に対して、専門の消費生活相談員が問題解決のため適切に対応するほか、専門的な助言を必要とする市民に対しては、弁護士相談を実施する。また、専門相談員を派遣する出前講座や職員によるワンポイント講座を各地区で開催し、積極的に啓発活動を行い消費者被害の発生及び拡大の防止に取り組む。特に高齢者の集会等へ積極的に出向き啓発活動に努める。

(参考) 平成 25 年度相談実績 1,571 件

3. 予算額 9,409 千円 (財源内訳) 県支出金 2,797 千円
(前年度 9,169 千円) 一般財源 6,612 千円

担当 市民文化部市民生活課
市民・消費生活相談室
萩・松永・服部
354 - 8147

多文化共生推進事業

1. 目的

日系南米人が多く居住する外国人集住都市として、国籍や文化が異なる市民が互いの個性を認め合い、共に支えあって暮らす「多文化共生社会」を目指す。

2. 内容

(1) 多文化共生推進事業

9,170 千円

外国人市民に行政やその他生活上必要なサービスの情報を提供するため、窓口でのポルトガル語・スペイン語による通訳対応や、行政からの通知・案内文書の多言語による翻訳、生活に必要な情報についてポルトガル語で説明する生活オリエンテーション等を実施する。

また、各日本語教室において、学習者の日本語習得レベルを把握し、外国人市民の日本語習得レベルに応じた学習支援のしくみづくりに取り組む。

さらに、外国人市民の核となるグループ(外国人市民コミュニティ)との連携により、情報提供などネットワークづくりに取り組むとともに、災害時に情報弱者となる可能性の高い外国人市民に対する多言語等情報支援体制について、具体的な課題や今後の方向性を検討していく。

(2) モデル地区共生推進事業

7,172 千円

笹川地区において、外国人市民の定住化が進む中、外国人市民と日本人市民がともに防災、防犯、環境などの地域活動を担えるよう、外国人市民の人材育成や、大規模災害発生時に地域住民同士の「共助」の必要性を学ぶ防災セミナー等を実施するとともに、日常的なふれあいの場として、定期的に文化講座等を開催する。

(3) 多文化共生サロン管理運営費

5,655 千円

多文化共生サロンを中心にして、モデル地区共生推進事業をより効果的に実施するとともに、サロンに配置した多文化共生モデル地区担当コーディネーター等が、地元自治会や関係団体等と調整を図りながら、外国人市民の実態やニーズを把握し、外国人市民の地域活動への参画の促進を図る。

3. 予算額	21,997千円	(財源内訳)	県支出金	52千円
(前年度)	20,465千円)		その他特財	16,342千円
			一般財源	5,603千円

担当 市民文化部市民生活課
多文化共生推進室
廣田・浅野
354-8114

芸術文化活動の場づくり事業 (旧三浜小学校整備事業)

1. 目的

遊休化している旧三浜小学校を活用し、文化会館などの既存施設を補完する、芸術文化活動における練習・発表の場や、生涯学習の場および地元の地域活動施設をあわせ持った施設の整備を行う。

2. 内容

遊休化している旧三浜小学校を有効活用した芸術文化活動の場を整備するため、基本設計及び実施設計を行う。

(1) 施設の概要

建物敷地：12,945㎡

運動場：9,445㎡

校舎：延床面積5,654㎡(RC造3階)

(特別教室棟：昭和56年竣工 管理・教室棟：平成2年竣工)

体育館：延床面積748㎡(昭和63年竣工、RC造1階)

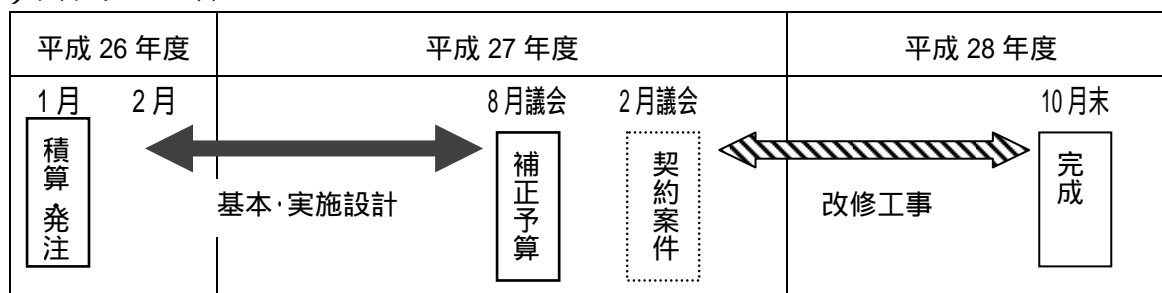
(2) 施設の利活用内容

校舎1～3階 芸術文化活動施設

生涯学習の場

1階 地元の地域活動施設

(3) スケジュール



3. 予算額 49,600千円
(前年度 5,000千円)

(財源内訳) 一般財源 49,600千円

担当 市民文化部文化振興課
中島
354-8239

(新)地域の文化遺産の保存・継承支援事業

1. 目的

本市には、文化財指定の有無に関わらず、獅子舞や鯨船といった伝統的な文化行事や民俗芸能(以下、「文化行事等」という)が数多く大切に継承されており、これらは、本市の文化力を支える大きな魅力となっている。

地域の文化行事等の保存・継承のため、新たに担い手育成や、用具類等の更新等及び保管施設の改修等について支援を行い、文化行事等の継続を図ることで、市民の郷土に対する理解と愛着を深めるとともに市民文化の向上及び発展に資する。

また、富田地区の「鳥出神社の鯨船行事」を含む全32件の国指定重要無形民俗文化財で構成される「山・鉦・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産への登録審査が平成28年中に行われるにあたり、登録推進を図る取り組みを行う。

2. 内容

- (1) 伝統的な文化行事等の担い手育成等に関する事業支援補助金 400千円
笛の吹き方や踊りなどの実技習得教室等の担い手育成、及び担い手育成につながる発表会等の普及啓発活動などに必要となる経費の一部を補助
・補助金額：補助対象経費の1/2、上限200千円
- (2) 伝統的な文化行事等の保存継承に関する事業支援補助金 1,000千円
地域の文化行事等に係る用具類等の新調や更新、修繕、及び有形の文化遺産を保管する倉庫や資料庫などの収蔵施設の改修や修理等にかかる費用の一部を補助
・補助金額：補助対象経費の1/4、上限250千円
- (3) ユネスコ無形文化遺産登録推進に向けた取り組み 1,500千円
・パンフレット、のぼりなどの製作及びセミナー等の開催等

3. 予算額 2,900千円 (財源内訳) その他特財 1,400千円
(前年度 0千円) 一般財源 1,500千円

担当 市民文化部文化振興課
中野
354-8239

(新) 市民文化遺産保存検討費

1. 目的

市民の文化活動によって収集された有形資料について、市の魅力発信に活用でき、市民文化の向上及び発展に資すると認められるものについて、市が保存・継承を行うための調査検討に係る仕組みづくりをする。

2. 内容

市民等から文化活動によって収集された有形資料を市へ譲渡等の申し入れがあった場合、博物館での収集が困難なものについて、市の魅力発信となる文化的価値や意義が認められると考えられる場合は、市民の文化遺産として保存・継承することを検討する委員会を設け、調査検討する新たな仕組みづくりをする。

3. 予算額 1,300千円 (財源内訳) 一般財源 1,300千円
(前年度 0千円)

担当 市民文化部文化振興課
中野
354 - 8239

文化会館等施設整備事業 (アセットマネジメント)

1. 目的

四日市市アセットマネジメント基本方針に基づき、第2次推進計画に位置付けた文化会館について、維持管理費の軽減や省エネルギー化を図りつつ、計画的な予防保全による長寿命化を進めることにより、長期的な経費の削減及び財政負担の平準化を図る。

2. 内容

(1) 天井崩落・音響設備工事基本設計 17,600 千円

複雑な吊り天井である第1ホール及び第2ホール等について、建築基準法改正に伴う天井崩落対策工事及びそれに伴う音響設備改修工事を実施するための調査及び基本設計を実施する。

(2) 管理棟・展示棟昇降機更新工事 59,700 千円

文化会館管理棟と展示棟(搬入口)に設置してある計2機の昇降機更新工事を実施する。

3. 予算額 77,300 千円
(前年度 10,500 千円)

(財源内訳) 一般財源 77,300 千円



第1ホール客席天井裏状況



管理棟昇降機1階外観

担当 市民文化部文化振興課
中島
354 - 8239

男女共同参画にかかると相谈・配偶者暴力防止対策事业

1. 目的

男女がお互いを尊重しつつ責任も分かち合い、一人ひとりが、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざす。また、配偶者等からの暴力の防止や被害者の保護及び自立支援を図る。

2. 内容

(1) 相谈事业

3,541 千円

女性が抱える悩みや問題を解決するため、女性の相谈员による女性相谈や多様化・専門化する相谈に対応する女性弁護士による法律相谈、女性臨床心理士による臨床心理相谈を実施する。加えて、男性の相谈员による男性向けの电话相谈を実施する。

また、DV防止セミナーを開催するなど、DVについてより认识を広め、DVを許さない意识づくりを進める。

(2) 配偶者暴力防止対策事业

2,670 千円

相谈员の资质向上とメンタルケアのため、「相谈员のための相谈・指遵(スーパービジョン)」を行うとともに、DV相谈の充実を図るため、弁護士、臨床心理士による相谈支援を行う。

また、若年層を対象としたデートDV予防教育を教育委员会、人権擁護委员等と連携して学校での開催を拡充するとともに、デートDV予防教育を広く継続的に実施するため、指遵者を養成する。

3. 予算额

6,211 千円

(财源内訳) 国庫支出金

73 千円

(前年度 3,800 千円)

一般财源

6,138 千円



DV防止セミナー

担当 市民文化部男女共同参画课

岩波

354 - 8331

あさけプラザ施設整備事業 (アセットマネジメント)

1. 目的

四日市市アセットマネジメント基本方針に基づき、第2次推進計画に位置付けたあさけプラザについて、維持管理費の軽減や省エネルギー化を図りつつ、計画的な予防保全による長寿命化を進めることにより、長期的な経費の削減及び財政負担の平準化を図る。

2. 内容

長寿命化工事

- | | |
|-------------------------|-----------|
| (1) 電気設備更新工事(高圧受変電設備) | 36,600 千円 |
| (2) 受水槽、高架水槽及び揚水ポンプ更新工事 | 17,200 千円 |

3. 予算額 53,800 千円 (財源内訳) 一般財源 53,800 千円
(前年度 10,400 千円)



高圧受変電設備(キュービクル)



揚水ポンプ

担当 市民文化部 あさけプラザ
岡本

363-0123

あさけプラザ施設整備事業

1. 目的

あさけプラザの浴室は、老朽化による設備の故障や給水・給湯配管等の劣化が生じており、利用者への不便だけでなく修繕費、光熱水費の増加にもつながっている。

より多くの高齢者が利用しやすい浴室サービスの安定継続を維持するとともに、経費の軽減を図るため、浴室の改修工事を行う。

また、給排水設備について、平成 26 年度の基本調査に基づき、改修のための実施設計を行う。

2. 内容

- | | |
|-----------------------|-----------|
| (1) 浴室改修工事 | 36,700 千円 |
| (2) 給排水設備更新工事設計業務委託 | 4,800 千円 |

3. 予算額 41,500 千円 (財源内訳) 一般財源 41,500 千円
(前年度 0 千円)



浴室



給排水管

担当 市民文化部 あさけプラザ
岡本
363 - 0123

健康福祉部

新年度予算における基本的な方針

少子高齢化の進展による人口構造の変化や非正規労働者の増大など雇用基盤の変化、家族形態や地域基盤の大きな変化を背景に、国においては「社会保障と税の一体改革」による様々な制度変更が進められている。

こうした中、本市にあっては、ますます多様化する市民ニーズに対応するため、保健・福祉・医療にかかる施策を一体的に展開する。特に、様々な分野が一体となって支え合うしくみ（地域包括ケアシステム）の構築が急務となっており、医療と介護、福祉の連携強化による在宅医療の体制の充実を図るとともに、在宅及び施設サービスの整備並びに認知症高齢者の支援体制の充実や生活支援サービスの推進により、地域での高齢者の包括的な支援を行う。障害者福祉においては、障害のある人が、住み慣れた地域で生活するための環境づくりや支援体制の強化に取り組む。生活保護受給者や生活困窮者に対しては、ハローワークと連携しての就労支援など、自立に向けての支援を行う。

また、社会保障・税番号制度に対応するため、国の補助を受けて、既存の保健福祉関連各システム改修を行う。

一方、健康づくりにおいては、がん検診の受診率向上に向けて、胃がん検診・大腸がん検診・子宮頸がん検診・乳がん検診に加え、肺がん検診を医療機関で実施し、市民が検診を受けやすい体制づくりに努める。

さらに、保健所においては、総合的な保健衛生行政を効果的に推進し、市民へのきめ細かなサービスの提供に努める。

1. 地域福祉について

高齢者、障害者、児童等の各分野における施策を推進していく上での共通する考え方や基本的な方向を定めた「第3次四日市市地域福祉計画（平成26年度～30年度）」に基づき、相談体制の充実や福祉人材の育成に努め、地域福祉の推進を図っていく。

平成27年度において、高齢化が進む中、各分野の住民サービスが切れ目なく提供されるよう地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域団体を中心とした高齢者が住み慣れた地域で生活し続けることができるしくみづくりを行っていく。

2. 高齢者福祉について

本市の65歳以上人口は、平成26年10月1日現在、74,774人であり、高齢化率も23.91%となるなど、年々高齢化が進行している。加えて、一人暮らしや認知症の高齢者が増えており、核家族化、少子化の影響等もあって、地域の高齢者を巡る環境はますます厳しくなりつつある。

そのような状況を踏まえ、平成27年度からの3年間を計画期間とする「第6次介護保険事業計画・第7次高齢者福祉計画」に基づき、高齢者施策を推進する。

地域包括ケア推進体制の確立、在宅・施設サービスの充実と住まいの確保、介護予防・生活支援サービスの推進、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進に取り組むことにより、高齢者が住みなれた地域で暮らし続けられるよう、医療・介護・予防・生活支援などのサービスが切れ目なく一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進める。

また、要支援者に対する予防給付に代わり、介護予防・日常生活支援総合事業（市町村が取り組む地域支援事業）を平成29年度から実施するため、その基準づくり・体制整備に取り組む。

【主な事業】サテライト型特別養護老人ホーム建設費補助金

	119,480千円
訪問看護ステーション整備費補助金	4,000千円
小規模多機能型サービス事業所建設費補助金	30,900千円
認知症高齢者グループホーム建設費補助金	92,700千円
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所建設費等補助金	15,760千円
看護小規模多機能型居宅介護事業所建設費補助金	21,900千円
介護予防・生活支援体制づくり事業	6,000千円
在宅介護支援センター事業	190,359千円
保険給付費（介護保険サービス）	20,184,101千円
認知症総合支援事業	26,357千円
地域ケア会議推進事業	669千円
生活支援コーディネーター事業	14,144千円

3. 障害者福祉について

「第3次障害者計画」「第4期障害福祉計画」に基づき、障害のある人が地域で安心して自立生活・社会生活を営めるよう、障害者施策を推進する。

住み慣れた地域で生活していくため、必要な障害福祉サービスの利用に向けた計画相談支援の充実を図り、居宅介護事業、生活介護事業、就労継続支援事業や、保護者など介護者亡き後も、安心して生活する場としての共同生

活援助事業などの自立支援給付事業について、利用状況や施設整備の状況を把握し、安定した障害福祉サービス提供体制の整備に努める。

また、障害のある人に対して就労に向けた訓練を行い、就労意識の醸成と職業能力の開発を図っており、平成27年度より実習等職場での訓練体制をさらに強化し、就労支援を促進する。

移動支援事業を充実させ、障害のある人の社会参加促進と余暇支援の充実を図るとともに、家族の介護負担を軽減する。

平成28年4月から障害者差別解消法が施行されることに伴い、市民、事業者、行政職員への啓発、研修に取り組む。

【主な事業】障害者医療費助成事業	748,200千円
居宅介護等事業	242,800千円
生活介護事業	1,654,000千円
就労継続支援事業	819,100千円
共同生活援助事業	321,100千円
相談支援事業	48,783千円
移動支援事業	20,800千円
医療的ケア推進事業	2,520千円
障害者就労支援事業	10,678千円

4. 生活保護、生活困窮者自立支援について

保護の状況は、平成7年（保護率4.6%、受給世帯940世帯）から毎年増加傾向にあったが、平成20年のリーマンショック後急激に増加し、平成26年12月末現在で、保護率は12.9%、受給世帯は2,910世帯に達している。

最近の経済状況は緩やかな回復基調にあるものの、保護率は高い水準にあり今後もこの状況が続くものと見込まれる。引き続き、きめ細かい相談と保護の適正実施を行うとともに、就労支援等による自立を図っていく。

生活保護に至る前の段階にある生活困窮者については、「生活困窮者自立支援法」の平成27年4月施行に伴い、生活困窮者への自立相談支援事業、住居確保給付金事業を実施する。また、貧困の連鎖を断つため、生活保護世帯の中学生を対象とした子ども学習支援事業を実施する。

【主な事業】自立相談支援事業（嘱託職給含む）	15,068千円
住居確保給付金事業	5,000千円
子ども学習支援事業	1,940千円
セーフティネット支援対策等事業	8,036千円
扶助費	6,326,000千円

5. 国民健康保険について

国民健康保険事業については、被保険者が必要なときに必要な医療を安心して受け、健やかに暮らせる環境を維持していくため、安定的に収入を確保する財政基盤の確立を目指すとともに、医療費の適正化を図ることにより、国保財政の健全化を推進する。

平成27年度においては、特定健康診査・特定保健指導の実施に加え、ジェネリック医薬品利用促進通知回数増や糖尿病性腎症重症化予防事業をはじめとする新たな保健事業に取り組み、医療費の適正化を一層進める。

収納対策については、引き続ききめ細やかで丁寧な納付相談を粘り強く行う一方、支払い能力がありながら納付しない滞納世帯に対しては、財産調査を徹底し滞納処分を行う。また、口座振替の勧奨、保険料共同収納コールセンターによる電話催告を拡充し初期末納対策に取り組む。

平成30年度に予定される国保運営の都道府県単位化を前に、医療費に対する共同事業拠出金のうち、保険財政共同安定化事業が拡大される。

【主な事業】 賦課徴収経費	319千円
保険財政共同安定化事業	7,008,688千円
医療費通知事業	6,848千円
ヘルスアップ事業	12,533千円

6. 地域医療推進事業について

在宅医療の更なる推進に向けて、引き続き四日市看護医療大学の協力のもと、地域の訪問看護力アップに向けた取り組みを進めるとともに、市民が安心して療養生活を送ることができるよう、必要な時は病院での入院治療が受けられ、またスムーズに在宅に戻れる環境整備の推進に努めるなど、市民が希望する場所での療養や看取りが選択できるように在宅医療の体制の充実に努める。

また、平成25年度に市内基幹3病院に導入された医療情報ネットワーク「ID Link」を活用し、在宅患者を支える地域の医療関係者（医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・理学療法士等）と介護・福祉関係者（ケアマネジャー・ホームヘルパー等）が、その互いの専門性を活かしたスムーズな連携・役割分担を行うため、日常にかつ容易に情報を共有することが可能となる情報ネットワークを構築する。

【主な事業】 地域医療推進事業	25,759千円
（訪問看護支援事業	5,298千円）
（在宅医療支援病床確保事業	8,000千円）
（ICTを活用した情報共有システムの推進	10,689千円）

7. 成人保健事業について

本市における死亡原因の第1位は悪性新生物(がん)であり、がんを早期発見し治療に繋げるために、胃がん検診・大腸がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診・肺がん検診を実施する。また、受診率の向上に向け、新たに肺がん検診を医療機関で実施するとともに、一定の年齢の方に無料ク・ポン券を配布し、市民が検診を受けやすい体制づくりに努める。

インフルエンザや高齢者肺炎球菌の予防接種を実施し、病気の発症予防や重症化予防に努める。

健康づくり事業については、市民が自主的に健康づくりに取り組めるよう、健康ボランティアや地域包括支援センター等関係機関と協働し、認知症予防を含む介護予防や健康づくりの普及啓発、実践の場の拡大を行うとともに、地域での自主的な集まりの場へ、健康情報を発信し、継続的な活動を支援する。

また、ヘルスプラザにおいて、障害者や虚弱高齢者等の健康づくり教室を実施し、より多くの市民が健康づくりを実践するきっかけづくりを行う。

【主な事業】健康づくり啓発事業	7,898千円
検診事業・がん検診推進事業	458,422千円
予防接種事業(インフルエンザ・高齢者肺炎球菌)	229,763千円

8. 保健予防事業について

医務については、全ての医療機関に対し、計画的に立入検査等を実施し、適正な医療提供体制の維持に努めるとともに、医療機関の自律的な取り組みを支援する。また、四日市地域(三重郡を含む)における救急や災害時の医療体制の構築に向け、関係機関や三重県、三重郡三町と連携を強化する。

感染症対策については、インフルエンザや腸管出血性大腸菌感染症(O157等)をはじめとする感染症の予防に関し、特に集団感染リスクの高い福祉施設等に対して衛生教育等を重点的に実施するとともに、結核など感染症患者の療養を支援し、そのまん延防止に努める。また、平成25年度に策定した「四日市市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき、新型インフルエンザ等対策のため、関係機関と連携して体制整備を行う。

精神保健については、こころの病気や精神障害のある要支援者に対し、精神科医師や保健師、精神保健福祉士等によるこころの相談を実施するとともに、自傷他害のおそれがある精神障害者に対し、必要な医療受診を措置する。また、統合失調症やアルコール依存症等精神障害に関する正しい知識やこころの健康づくりの普及啓発などに取り組む。

【主な事業】感染症対策事業(防疫対策等)	1,007千円
こころの健康づくり支援事業	3,201千円

9. 衛生指導事業について

食の安全安心に関する事業については、「食品衛生法」の規定に基づき、計画的かつ効果的な食品関連施設等に対する監視指導及び市内で製造、販売等される食品の検査などを実施するとともに、食品事業者による自主衛生管理を促進し、市民の食の安全を確保する。

薬事関係については、関係法令の規定に基づく、医薬品・医薬部外品の有効性・安全性の確保と毒物劇物による事故等の防止のため薬局・医薬品販売業及び毒物劇物取扱業者への監視指導を行う。また、薬物乱用防止対策については、薬物乱用防止対策協議会や地域の自治会等と協働でキャンペーンを実施し、危険ドラッグなどの薬物乱用を許さないまちづくりを推進する。

動物愛護管理関係事業については、「狂犬病予防法」「動物の愛護及び管理に関する法律」等に基づき、係留されていない犬の捕獲・抑留、負傷犬猫の保護・治療、県や動物愛護団体との共同による犬・猫の譲渡事業等を実施するほか、飼い主に対して、「適正飼養」や最期まで飼う「終生飼養」についての助言・指導を行い、人と動物との共生について啓発を実施する。また、動物販売業などの動物取扱業者に対して、施設の監視指導を行う。

生活衛生関係については、理容所、美容所、公衆浴場、旅館等の施設について、関係法令に基づき監視指導を行い、生活衛生の安全を確保する。

【主な事業】食の安全安心対策事業（監視部門）	10,775千円
薬事関係対策事業	2,181千円
動物愛護関係事業	35,470千円
環境衛生対策事業	203千円

10. 食品衛生検査事業について

感染症対策については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により規定されている感染症に対し、感染疑いのある人の微生物検査や感染者の家族・接触者等の微生物検査を実施し、感染症発生の予防及びまん延防止に努める。また、HIVや肝炎などの検査を実施し、感染の早期発見に努める。

食の安全安心対策については、安全な食肉・食品を提供するため、「と畜場法」や「食品衛生法」に基づき、四日市市食肉センターに搬入された獣畜全頭に対し適切にと畜検査を行う。また、流通している食品の収去検査を行うとともに、食中毒発生時には正確で迅速な検査を実施し被害の拡大を防止する。

【主な事業】感染症対策事業（検査部門）	4,259千円
食の安全安心対策事業（検査部門）	19,655千円

（決算議会等の指摘に対する主な見直し事業）

・賦課徴収経費、滞納処分経費

口座振替については、保険料納付指導員による加入勧奨を推進し、初期末納者対策については、国民健康保険料共同収納コールセンターを活用した電話催告を拡充し、一層の強化を図る。支払い能力がありながら納付しない滞納世帯に対しては、財産調査を徹底し滞納処分を行う。

・地域医療推進事業

在宅患者を支える地域の医療関係者と介護・福祉関係者が、互いの専門性を活かしたスムーズな連携、役割分担を行えるよう、日常かつ容易に情報を共有することができる情報ネットワークを構築する。

・がん検診事業

肺がん検診を新たに医療機関でも実施する。

サテライト型特別養護老人ホーム建設費補助金

1. 目的

常時介護を必要とし、在宅での介護が困難な人を対象とする特別養護老人ホームの整備を推進する。

地域における介護拠点の充実を図るための地域密着型特養養護老人ホームの整備計画に対し、施設整備に要する経費の一部を補助する。

2. 内容

国の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金及び地域介護・福祉空間整備推進交付金を活用し、施設整備に要する経費の一部を補助する。

対象施設	1 施設
補助基準	4, 120 千円 / 床
補助額	119, 480 千円 (29 床 × 4, 120 千円)

3. 予算額 119, 480 千円 (財源内訳) 国庫支出金 119, 480 千円
(前年度 0 千円)

担当 健康福祉部 介護・高齢福祉課
寺村

354 - 8425

(新) 介護予防・生活支援体制づくり事業

1. 目的

地域包括ケアシステム構築の一環として、今後必要となる地域住民、ボランティア、NPO法人など多様な主体による支え合い活動の立ち上げを支援することで、地域における介護予防・生活支援体制の整備を推進する。

2. 内容

地域住民、ボランティア、NPO法人など多様な主体が地域での支え合い活動を実施するにあたり、これらの主体は財政基盤が弱く、事業開始時の初期費用の捻出が困難な場合も多いことから、立上げ時に必要な経費の一部を助成することで、事業開始を促進する。

補助対象団体	住民組織、ボランティア団体、NPO法人
補助対象経費	備品の購入、建物の改修にかかる経費等
補助基準額	1カ所につき1,200千円(上限)
補助率	9/10

3. 予算額 6,000千円 (財源内訳) 一般財源 6,000千円
(前年度 0千円)

担当 健康福祉部 介護・高齢福祉課
小西
TEL 354 - 8170

在宅介護支援センター事業

1. 目的

地域に身近な相談窓口として設置した在宅介護支援センターが、介護・福祉・医療等に関する総合相談支援を行うことで、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境をつくる。

2. 内容

市内26カ所に設置した在宅介護支援センターが、365日24時間体制で高齢者の介護・福祉・医療等に関する相談に応じるとともに、見守りや各種サービスの調整・利用支援を行い、地域における高齢者の生活を支える。

高齢化の進行とともに、医療を必要とする高齢者が増加することから、医療に関する相談機能を高めるとともに、医療・介護の連携強化を図るため、在宅介護支援センターへの医療（看護）職配置を更に推進する。

配置済 9カ所（富田、四郷、三重、常磐、共同・浜田、下野、桜、日永、内部）
新規配置 4カ所（大矢知、羽津、中央・同和・港、楠）

3. 予算額 190,359千円（財源内訳）一般財源 190,359千円
（前年度 170,819千円）

担当 健康福祉部 介護・高齢福祉課
小西
TEL 354 - 8170

(新) 認知症総合支援事業

1. 目的

高齢化の進行とともに認知症高齢者が増加する中、早期発見・早期対応体制の整備や、地域における見守り・支援体制の構築など総合的な支援を進めることで、認知症高齢者やその家族が、できるだけ住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりをめざす。

2. 内容

(1) 認知症初期集中支援チームの設置

福祉職(社会福祉士、介護福祉士等)、医療職(保健師、看護師、作業療法士等)及び医師(嘱託)からなる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、認知症の早期発見・早期対応を図る。平成27年度は、1カ所の地域包括支援センター(北地域包括支援センター)に設置する。

(2) 認知症地域支援推進員の配置

「認知症地域支援推進員(統括)」を介護・高齢福祉課に、「認知症地域支援推進員(圏域担当)」を3カ所の地域包括支援センターに配置し、これらが連携しながら、認知症高齢者や家族からの相談に応じるとともに、地域における見守り・支援体制づくりを推進する。

(3) 認知症ケアパスの作成

認知症高齢者が、安心して必要なサービスを利用できるよう、認知症の状態に応じた適切な医療・介護サービス提供の流れを示した「認知症ケアパス」を作成し、市民に情報提供する。

(4) 多職種研修の実施

認知症に関わる医療・介護職向けに、多職種協働の重要性を習得するための研修を実施する。

3. 予算額	26,357千円	(財源内訳)	国庫支出金	10,184千円
	(前年度 0千円)		県支出金	5,121千円
			その他特財	5,931千円
			一般財源	5,121千円

担当 健康福祉部 介護・高齢福祉課
森下
TEL 354-8170

(新)生活支援コーディネーター事業

1. 目的

介護保険制度改正に伴う「介護予防・日常生活支援総合事業」導入に当たり、「生活支援コーディネーター」が、地域組織、ボランティア、NPO法人など多様なサービスの担い手を発掘・育成することで、地域における介護予防・生活支援体制の整備を推進する。

2. 内容

(1) 生活支援コーディネーターの主な業務内容

地域での支え合い体制づくりに向けた地域住民・各種団体への啓発、働きかけ
担い手の発掘・育成のための講座の開催、助言等の支援
サービスの担い手間のネットワーク化

(2) 実施方法

地域福祉の推進を担う四日市市社会福祉協議会に事業を委託し、市内2カ所の拠点に配置

3. 予算額	14,144千円	(財源内訳)	国庫支出金	5,459千円
	(前年度 0千円)		県支出金	2,729千円
			その他特財	3,227千円
			一般財源	2,729千円

担当 健康福祉部 介護・高齢福祉課
小西
TEL 354 - 8170

障害者就労支援事業

1. 目的

就労を希望する障害者を対象に、庁内において、就労に向けた職場訓練を行う。このことにより、障害者の就労に対する意識の醸成と職業能力の開発を図り、もって企業等での障害者の就労訓練及び就労の促進に寄与する。

2. 内容

平成 24 年度から配置している就労支援コーディネーターが、就労を希望する障害者の適性等を考慮して、各所属から抽出した業務を行えるよう調整・支援する。

事業の実施にあたっては、「四日市障害者就業・生活支援センター（プラウ）」との連携が密に取れ、就労支援コーディネーターのバックアップ体制が整っている四日市市社会福祉協議会へ業務を委託する。

平成 27 年度より、市内企業等に対する障害者の就労の啓発と障害者就労訓練の機会の増加を図るため、就労支援コーディネーターを 1 名増員する。

（実績）

平成 24 年度 実習者実人数 18 人（実習者延べ人数 346 人）

平成 25 年度 実習者実人数 12 人（実習者延べ人数 350 人）

平成 26 年度（12 月末時点）

実習者実人数 11 人（実習者延べ人数 309 人）

実習後に一般就労へ至った者は、平成 24 年度、平成 25 年度ともに 1 名。

3. 予算額 10,678 千円 （財源内訳）一般財源 10,678 千円
（前年度 6,428 千円）

担当 健康福祉部 障害福祉課
山口
354 - 8171

(新) 子ども学習支援事業

1. 目的

平成27年4月より施行される生活困窮者自立支援法の任意事業のひとつとして位置付けられている学習支援事業を実施することで、生活保護受給世帯の生徒が将来生活困窮に陥らないよう貧困の連鎖の防止に取り組む。

2. 内容

貧困の連鎖を防止する観点から、子どもの学力をつけることで高校進学を促進し、将来の就職に結びつけ、自立した生活が送れるよう学習支援を実施する。

具体的には、学習塾などの法人に委託し、生活保護世帯の中学生のうち3年生を中心に希望者を募り、学習の場の提供、学習支援及び教育相談を行う。

3. 予算額 1,940千円 (財源内訳) 国庫支出金 970千円
 (前年度 0千円) 一般財源 970千円

担当 健康福祉部 保護課
佐藤

354 - 8165

自立相談支援事業

1. 目的

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対する支援を行うことを目的として成立した生活困窮者自立支援法が平成27年4月より施行される。法により福祉事務所設置自治体の必須事業とされている自立相談支援事業として、生活困窮者に対する相談支援等を行い、自立を促進する。

2. 内容

専任の相談支援員4名を配置し、失業者、住居喪失者、多重債務者などの生活困窮者に対し就労その他の自立に関する包括的な相談支援、課題解決のためのプラン作成等を行い、自立を支援する。

経済的自立が可能と考えられる相談者には、短期的・集中的な就労支援を実施し、早期に困窮状態からの脱却を図る。

3. 予算額 15,068千円 (財源内訳) 国庫支出金 11,301千円
(前年度 0千円) 一般財源 3,767千円

担当 健康福祉部 保護課

西村

354 - 8165

ヘルスアップ事業

1. 目的

生活習慣に起因する疾病の発生を未然に防止し、あるいは早期に発見し、適切な指導を行うことで重症化・長期化を防ぐことにより、健康寿命の延伸、ひいては医療費の適正化を図る。

2. 内容

レセプトや健康診査結果から導き出される健康課題を明確化し、被保険者の健康の保持増進、疾病予防、生活の質の向上等を目的とした保健事業を実施する。

糖尿病性腎症重症化予防

レセプト情報や健康診査結果から抽出された糖尿病性腎症に該当する被保険者に対し、人工透析への移行を防止するため、保健師による対象者の状態にあわせた食事療法や運動療法、服薬管理の見直し等の保健指導を6ヶ月間実施する。

(予定人員) 50人

重複・頻回受診者訪問指導

同じ疾患で複数の医療機関を受診する重複受診者及び同じ医療機関に月15日以上受診する頻回受診者をレセプト情報から抽出し、保健師や看護師による療養上の日常生活や、受診及び服薬に関する訪問指導を行う。

(予定人員) 125人

3. 予算額 12,533千円 (財源内訳) 国庫支出金 12,000千円
(前年度 0千円) その他特財 533千円

担当 健康福祉部 保険年金課
小松
354 - 8158

地域医療推進事業

1. 目的

急速な高齢化が進展する中、安心して療養し、最期を住み慣れた地域の中で迎えることができるよう、在宅医療の体制整備を推進する。

2. 内容

今後、在宅医療をより推進していくため、これまでの取り組みに加え、在宅患者を支える地域の医療関係者（医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・理学療法士等）と介護・福祉関係者（ケアマネジャー・ホームヘルパー等）が、その互いの専門性を活かしたスムーズな連携・役割分担を行うため、日常のかつ容易に情報を共有することが可能となる情報ネットワークの構築を図る。

1) 訪問看護支援事業（5,298千円）

訪問看護ステーションが、安定的にサービス提供できるようその基盤強化のため、下記事業を実施する。

- ・訪問看護師養成研修会、訪問看護師スキルアップ研修会の実施
- ・訪問看護に関する相談窓口の開設
- ・訪問看護ステーション間の連携への支援
- ・訪問看護についての啓発

2) 在宅医療支援病床確保事業（8,000千円）

在宅医が、患者に入院が必要と判断したときに、円滑な受け入れができるよう、協力医療機関を募り、協力医療機関が、在宅医からの紹介による入院を受け入れ、必要な医療の提供を行った場合、受け入れた医療機関に対して定額の補助を行う。

3) ICTを活用した情報共有システムの構築（10,689千円）

平成25年度に市内基幹3病院に導入された医療情報ネットワーク「ID Link」を活用し、地域の在宅医療に携わる関係者向け情報保存用のサーバーを設置し、ICTを活用した情報共有を開始する。

3. 予算額 25,759千円（財源内訳） 県支出金 5,344千円
（前年度 22,000千円） 一般財源 20,415千円

担当 健康福祉部 健康福祉課
岡本

354-8281

健康づくり啓発事業

1. 目的

食や運動に関する知識や実践方法を普及・啓発し、市民一人ひとりが自主的に健康づくりに取り組み、いきいきと生活できるよう支援する。

2. 内容

(1) 啓発

健康づくりについて、広報やC T Y , F Mよっかいちのほか、市や健康ボランティアが開催する各種教室や、地域での自主活動グループへ啓発を行う。

(2) 健康づくり教室の開催

ヘルスプラザにおいて、障害者や虚弱高齢者等を対象に、運動を中心とした健康づくりや介護予防教室を実施する。

また地域においても、生活習慣病予防の健康づくり教室を実施する。

【主な事業】

障害者の健康づくり教室「いきいきライフ教室」

虚弱高齢者の健康づくり教室「転ばぬ先の健康教室」

認知症予防教室「脳力リフレッシュ教室」

歩行機能維持のための健康づくり教室「足腰パワーアップ教室」

メタボ予防教室「おなかすっきり運動教室」

若い世代向けのメタボ予防教室「本気でシェイプアップ講座」

3. 予算額	7,898千円	(財源内訳)	県支出金	79千円
(前年度	860千円)		その他特財	200千円
			一般財源	7,619千円

担当 健康福祉部 健康づくり課
上原
354-8291

検診事業・がん検診推進事業

1. 目的

がんは、本市における死因の第1位であり、平成25年においては死因の約3割を占めている。がんを早期発見し適切な治療を行うため、がん検診を実施し、がんの死亡を減少させる。

2. 内容

がんを早期発見し治療に繋げるために、胃がん検診・大腸がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診・肺がん検診を実施する。

また、受診率の向上に向け、新たに肺がん検診を医療機関でも実施するとともに、一定の年齢の方に無料クーポンを配布し、市民が検診を受けやすい体制づくりに努める。

3. 予算額	458,422千円	(財源内訳)	国庫支出金	14,890千円
	(前年度 419,136千円)		県支出金	6,115千円
			その他特財	99,419千円
			一般財源	337,998千円

平成25・26年度がん検診受診者数

	対象者数 (人)	平成25年度実績		平成26年度見込	
		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)
胃がん検診	78,620	15,274	19.4	16,061	20.4
子宮頸がん検診	64,492	15,616	36.0	15,753	38.6
		クーポン (再掲)		3,293	
乳がん検診	50,236	8,478	25.5	10,314	26.9
		クーポン (再掲)		3,138	
大腸がん検診	78,620	18,365	23.4	20,001	25.4
		クーポン (再掲)		3,159	
肺がん検診	78,620	6,559	8.3	7,111	8.9

担当 健康福祉部 健康づくり課
勝田
354 - 8282

こころの健康づくり支援事業

1. 目的

こころの病気や精神障害等について、広く市民に啓発を行うとともに、こころの病気や精神障害のある人が安定した療養生活を送ることができるよう、より適切な医療受診や療養等の支援を行い、こころの健康づくりを推進する。

2. 内容

・こころの相談

精神科医師、保健師及び精神保健福祉士等による相談や思春期相談を実施し、早期又は継続して必要な支援を行う。

・こころの健康づくりに関する普及啓発

こころの健康づくり講演会やこころの健康講座、出前講座を実施するとともに、各種広報を通じて啓発に取り組む。

・自殺予防の連携体制づくり

相談機関や医療機関、消防署、薬剤師会等関係機関と情報共有や連携を図るとともに、自殺についての正しい知識の普及啓発や自殺予防等に関して理解を広めるメンタルパートナー研修を実施する。

3. 予算額 3,201千円 (財源内訳) 一般財源 3,201千円
(前年度 3,240千円)



(自殺対策連絡会議の様子)

担当 健康福祉部 保健予防課
松浦
352-0596

こども未来部

新年度予算における基本的な方針

少子化の進行や核家族化の進展など、子どもや子育てをめぐる環境が依然として厳しい状況の中、子ども・子育て関連3法の成立により、平成27年4月からはじまる子ども・子育て支援新制度に向けた準備が国と各地方自治体で進められている。

こうした中、本市にあっては、引き続き、妊娠から出産、乳幼児、青少年に至るまで、途切れのない施策の展開を図るとともに、子ども・子育て支援新制度のもと、「四日市市子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～31年度）」に基づき、就学前の教育・保育や地域の子ども・子育て支援事業の計画的な拡充を行うなど、子どもの健やかな成長と子育て家庭への支援のより一層の充実を図る。

1. 児童福祉について

就学前児童の保育については、低年齢児を中心に利用児童数が増加し、保護者の働き方に応じた多様な保育が求められているため、認可保育園の定員拡充などを図るとともに、延長保育の実施園数を公私立1園ずつ増やし、休日保育の実施園に対しては、職員を確保するための市独自の補助を実施するなど、各種の特別保育サービスの拡充に努めていく。

また、育児の不安や負担、孤立感を和らげ、保護者が安心して子育てができるよう、すべての子育て家庭を対象とした支援の充実を図る。

そのため、子育て支援センターにおいて育児相談や子育ての情報提供、保護者同士の交流の場の提供を行うとともに、子育てに関する必要な情報が必要な人に的確に伝わるよう、情報提供の充実を図る。また、育児の疲れや疾病などで一時的に子どもを養育することが困難になったとき、子どもの預かりや施設における養育を行うことにより、保護者の心身の負担の軽減に努める。

加えて、子ども医療費の助成においては、新たに中学生通院分までを助成範囲とし、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。

一方、心豊かでたくましく子どもが成長できるよう、放課後等に留守家庭となる小学生を対象に、遊びや生活の場を提供する地域の学童保育所について、有資格指導員の確保や適正規模など条例で定めた基準に適合するよう、一層の支援の充実を図るとともに、児童館においては、創作活動や戸外遊びを通して、子どもの社会性や創造性の育成を図る。

また、すべての家庭で一人ひとりの子どもが健やかに育つよう、子ども虐待防止については、虐待の予防及び早期発見、早期対応を目指し、地域や関係機関との連携を図りながら、養育の支援が必要な家庭の増加に対応するため訪問支援員を増員する。一方、ひとり親家庭及び寡婦が、疾病や勤務の都合により一時的に日常生活に支障が生じた場合、生活援助や保育を行う家庭生活支援員派遣事業を新たに実施する。

子どもの発達支援については、保健師、保育士、教員等が子どもの発達に関する保護者の相談に早期対応するとともに、保健・福祉・教育の関係機関と連携し、早期発見・早期療育に努め、途切れのない支援を行う。また、児童発達支援センターあけぼの学園においては、保育園や幼稚園等との連携を図りながら、専門的な療育が必要な子どもや保護者への支援を行う。

【主な事業】子ども医療費助成事業	735,200千円
不妊治療費助成事業	44,250千円
ひとり親家庭等日常生活支援事業	1,854千円
母子家庭等自立支援給付金事業	20,324千円
児童虐待防止対策事業	8,874千円
プロジェクトU-8事業	2,736千円
ファミリー・サポート・センター事業	11,502千円
子ども・子育て支援事業計画推進事業	479千円
父親の子育てマイスター事業	2,199千円
学童保育事業	285,767千円
障害児通所事業	388,813千円
児童手当	5,423,700千円
児童扶養手当	1,043,700千円
子育て世帯臨時特例給付金給付事業	123,900千円
児童発達支援センターあけぼの学園移転整備事業	7,700千円
旧東橋北小学校整備事業	45,100千円
（橋北幼稚園・橋北保育園	29,800千円）
（橋北児童館	15,300千円）
地域型保育事業	80,896千円
特別保育事業	99,302千円
（民間保育所乳児保育促進事業	20,300千円）
（民間保育所延長保育事業	36,278千円）
（民間保育所一時保育事業	18,300千円）
（民間保育所休日保育事業	6,000千円）
（病児・病後児保育事業	18,424千円）
民間保育所整備事業	5,346千円

地域子育て支援拠点事業費補助金	48,413千円
子育て支援ショートステイ事業	984千円
民間児童養護施設等整備事業	12,149千円
児童館自主事業	1,819千円

2. 母子保健事業について

母子保健事業については、妊娠期から出産・育児に至るまで、妊婦および子育て家庭の孤立感や育児不安の解消を図るための継続した支援を行う。

さらに、産前・産後における一層の支援充実を図るため、新たに国の補助事業を活用し、産前・産後サポート事業として、専門の保健師による継続的な訪問相談事業を開始する。

また、健診の実施方法や虐待のおそれのある子どもについての情報共有を目的とした四日市市乳幼児指導委員会を新設し、医療機関との連携を深めることで、乳幼児家庭の見守り強化を進める。

予防接種事業については、おたふくかぜワクチンの接種費用について一部補助を継続するとともに、定期予防接種とあわせて適切な接種の推進と啓発に努める。

【主な事業】妊産婦乳幼児健康診査事業	333,890千円
妊産婦乳幼児保健指導事業	3,985千円
こんにちは赤ちゃん訪問事業	9,068千円
乳幼児等予防接種事業	676,172千円
おたふくかぜワクチン接種助成事業	9,712千円

3. 就学前教育の充実について

人格形成の基礎を培う重要な就学前教育について、子どもたちの健やかな発達を促し、遊びを通して総合的な指導を行っていく一方、園児減少が続く公立幼稚園での一定集団の確保方策などの検討を進めていく。

また、子ども・子育て支援新制度により新たに創設された施設型給付を受けられる私立幼稚園に対して、良質な就学前教育を保証するために財政支援を行っていく。

幼稚園の保育料については、所得に応じた補助を実施し、多子世帯については、小学校3年生までの児童が2人いる世帯については半額、小学校6年生ま

での児童が3人以上いる世帯については無料とし、幼稚園就園家庭の保護者負担の軽減を図る。

なお、国の制度の見直しに伴い、低所得者に対して補助を拡充する。

【主な事業】幼稚園事務費事業費	21,776千円
私立幼稚園保育料補助金	374,000千円

4. 青少年の健全育成について

子どもの生活リズムや規範意識の向上、有害情報対策や非行防止活動等に取り組むとともに、子どもの安全安心の確保に向けて、保護者や地域住民、学校、関係機関との連携強化を図る。

少年自然の家については、施設の老朽化に対応し、必要な施設修繕等を行う。

【主な事業】親と子どもの豊かな育ち事業	3,073千円
子どもと若者の居場所づくり事業	3,635千円
少年自然の家施設管理運営費	72,428千円
少年自然の家施設整備事業	24,500千円

(決算議会等の指摘に対する主な見直し事業)

適正な集団規模に基づいた幼稚園教育について

本市における公立幼稚園の園児数減少に伴い、今後の本市の幼稚園・保育園のあり方を検討する組織を平成26年11月に設置。今後の適正な規模・配置等について、学識経験者や公私立の園運営関係者や保護者等による議論を重ね、平成27年度中に報告書としてまとめる。

子ども医療費助成事業

1. 目的

子育て世代の家庭に対して医療費を助成することによって、保護者の経済的負担の軽減を図り、子どもの疾病の早期発見と早期療養を促進する。

2. 内容

(1) 助成対象

小学生以下の入・通院分及び中学生入院分に加え、新たに中学生通院分を追加する。(平成27年9月受診分より)

(2) 助成見込み

	【継続分】	【新規分】	計
	・小学生以下(入・通院) ・中学生(入院)	中学生(通院)	
助成件数	412,205 件	25,415 件	437,620 件
助成額	686,072 千円	49,128 千円	735,200 千円

3. 予算額 735,200千円 (財源内訳) 県支出金 340,325千円
(前年度 702,500千円) 一般財源 394,875千円

担当 こども未来部 こども保健福祉課
市川
354-8083

学童保育事業

1. 目的

保護者の就労等により放課後等に留守家庭となる児童の健全育成と、その保護者の就労支援を目的として、遊びや生活の場として学童保育を行う地域の運営委員会に対して、条例で定めた設備及び運営に関する基準に適合するよう、支援を拡充する。

2. 内容（主なもの）

国・県の補助制度に基づくもの

- ・ 運営費（45箇所）・障害児受入推進費等の補助 226,136千円
44か所 45か所
- ・ 学童保育所の備品整備にかかる備品整備費補助 6,000千円

市独自で行うもの

- ・ 建築費補助[拡充] 27,000千円
補助率の引上げ（2/3 3/4） 上限額の引上げ（9,000千円 12,000千円）
- ・ 有資格常勤指導員配置推進に関する補助[拡充] 11,339千円
社会保険料補助、資格取得支援補助の創設
- ・ 就学援助家庭等利用補助[拡充] 9,000千円
上限額の引き上げ（4,000円/月 5,000円/月）
- ・ 学童保育所環境改善事業費補助[新規] 2,800千円
小規模修繕等補助の創設
- ・ A E D 整備費補助 3,218千円

3. 予算額 285,767千円 (財源内訳) 県支出金 143,477千円
(前年度 272,416千円) その他特財 1,498千円
一般財源 140,792千円

担当 こども未来部 こども未来課
鎌田
354 - 8069

**（新）旧東橋北小学校整備事業
（橋北児童館・橋北幼稚園・橋北保育園）**

1. 目的

学校統合により遊休化している旧東橋北小学校について、早期に有効活用を図るため、子育て支援の機能を中心とした複合施設としての改修を行う。

2. 内容

橋北児童館について、老朽化・スペース不足に対応するため、4階部分を活用し、また、子育て世代等交流の場を併設することで、子どもの居場所づくり、健全育成の推進、子育て家庭等の相談及び地域交流の場づくりを行う。

また、現在、橋北中学校を間借りしている橋北幼稚園、及び施設の老朽化が進む橋北保育園を旧東橋北小学校の1階・2階に移転させ、就学前の教育・保育を一貫して提供していく。そのため、その整備に向けた基本・実施設計を行う。

3. 予算額 45,100千円（財源内訳）一般財源 45,100千円
（前年度 0千円）

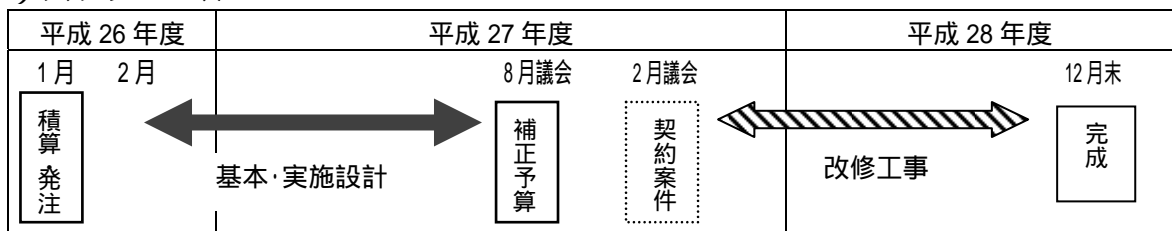
参考：施設全体の整備計画

（1）利活用内容

校舎：延床面積5,707㎡（平成4年竣工、RC造4階）

- 1階 幼稚園および保育園、地元の地域活動施設
- 2階 幼稚園および保育園
- 3階 貸館・貸しスペース
企業OBによる中小企業・ベンチャー企業への相談支援の場
- 4階 児童館、子育て世代等交流の場

（2）スケジュール



（3）基本・実施設計に関する予算額

整備する施設	担当課	予算額
幼稚園および保育園	保育幼稚園課	29,800千円
地元の地域活動施設、貸館・貸しスペース	市民生活課	15,700千円
企業OBによる相談支援の場	工業振興課	1,400千円
児童館、子育て世代等交流の場	こども未来課	15,300千円
合 計		62,200千円

担当	こども未来部	こども未来課
	柴田	354 - 8069
		保育幼稚園課
	大西	354 - 8173

(新)地域型保育事業

1. 目的

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、従来の認可保育所（定員20人以上）の枠組みに加え、新たに市の認可事業として少人数の単位で預かる事業類型（地域型保育事業）を設け、低年齢児（0～2歳児）の受入の拡充を図る。

2. 内容

地域型保育事業のうち、下記の事業を実施する事業者に対して、園児が保育を受けるために必要な費用を支給していく。

1) 小規模保育事業について

対象事業 小規模保育事業 B型
対象施設 6箇所

2) 事業所内保育事業について

対象事業 事業所内保育事業
対象施設 1箇所

3. 予算額 80,896千円 (財源内訳) 国庫支出金 34,808千円
(前年度 0千円) 県支出金 17,403千円
一般財源 28,685千円

担当 こども未来部 保育幼稚園課
大西
354 - 8173

商 工 農 水 部

新年度予算における基本的な方針

市内の景気の動向については、ハローワーク四日市管内の有効求人倍率は1.00を超える水準で推移する等、明るい兆しはあるものの、個人消費が消費増税前の水準に戻っていないとの声も聞かれるなど、中小企業をはじめとする市内企業の経営環境は依然として厳しい状況にある。

このような中、工業振興については、企業立地奨励制度等の見直しにより、臨海部工業用地の有効活用の促進、企業の高付加価値型産業への転換や研究開発機能の強化を促進するとともに、中小企業の新製品・新技術の開発や海外展開の支援、ミラノ国際博覧会三重県ウィーク（仮称）等における地元企業の出展・海外販路開拓支援などにより、本市産業の持続的な発展を図る。

商業振興については、買い物拠点の維持・再生や中心市街地の活性化に取り組むため、従来の支援を継続しつつ、中心市街地に総合的な市政情報を発信する設備を整備するなど、賑わいの創出に資する新たな事業に取り組む。

観光推進については、観光施策を総合的に推進するため、観光施策に関する条例の策定作業を進める。また、四日市市観光大使やマスコットキャラクターの「こにゅうどうくん」を活用し、東京のアンテナショップなどにおいて四日市の魅力を発信することで、本市のイメージアップを図る。

雇用対策については、上記の産業活性化策を通じた雇用の場の維持・創出に加え、障害者雇用奨励金や地域若者サポートステーションへの支援等により、障害者や就労困難な若年者等への就労支援を継続する。特に障害者雇用については、特例子会社の設立に関する支援制度を新設するとともに、事業所を対象としたセミナー等を開催し、障害者雇用のより一層の促進を図る。

農水畜産施策については、新規就農者の育成・確保、担い手農家の規模拡大や機械・施設整備等への支援を行い、安定した農業経営体を育成する。また、農地中間管理機構等を通じ、担い手農家への農地集積を図るとともに、荒廃農地の復元支援など、農地の保全・活用への取り組みを進めていく。

また、サル、イノシシなどの鳥獣被害対策については、捕獲ワナの効果的な設置を図り、捕獲実績の向上を図るとともに、電気柵の設置補助、追い払い体制の強化等を通じ、被害軽減に向けて取り組んでいく。

農業基盤の整備については、緊急性や重要性を考慮しながら、水利施設等農業用施設の改修を進めていく。

水産基盤の整備については、防災機能の回復・向上を図り、背後地の生命・財産を守るため、磯津漁港海岸保全施設の整備を進めていく。

1．高付加価値型産業構造への転換について

企業立地奨励金交付事業や民間研究所立地奨励金交付事業により、既存事業者

や新規立地企業の設備投資の誘発、並びに既存工場のマザー工場化の促進や研究開発機能の集積による新規事業分野への展開等の推進を図るとともに、産業の高度化を担う人材育成支援を行う。

【主な事業】	ものづくりエキスパート育成事業	10,000千円
	企業立地奨励金交付事業	794,000千円
	民間研究所立地奨励金交付事業	86,000千円

2. 中小企業支援について

中小企業による新製品・新技術開発、海外を含めた販路拡大及び企業の人材確保等を支援し、中小企業の活力を高めるとともに、国際競争力強化を図るため、中小企業海外展開セミナー等による海外展開支援を行う。さらに、ミラノ国際博覧会三重県ウィーク（平成27年7月1日（水）～4日（土））等において、地元企業のヨーロッパ等海外販路開拓支援を行うとともに、本市のシティープロモーションを実施し、市内産業の活性化及び本市のイメージアップを図る。

また、中小企業に対する融資制度による経営支援や、国の認定を受けた創業支援事業計画に基づき、商工会議所等との連携による創業支援に努める。

【主な事業】	中小企業新規産業創出事業	8,077千円
	産業高度化推進調査費（ミラノ万博出展分）	5,484千円
	ものづくりエキスパート育成事業（再掲）	10,000千円
	産学連携推進事業	3,300千円
	中小企業ものづくり活力創造事業	7,353千円
	中小企業海外販路開拓支援事業	4,300千円
	中小企業向け制度融資預託金	2,139,700千円
	中小企業向け制度融資保証料補給金	14,692千円

3. 買い物拠点の維持・再生、中心市街地等の活性化について

商店街等におけるイベントの実施や空き店舗への新規出店に対する補助など、従来の支援を継続しつつ、新たに、中心市街地にデジタルサイネージを設置し、市政・観光・防災・地域情報等の総合的な情報発信を行う。

【主な事業】	近鉄四日市駅西開発整備事業	45,710千円
	中心市街地活性化促進事業	21,700千円
	すわ公園交流館管理運営事業	18,673千円
	定期市活性化促進事業	3,000千円
	買い物拠点再生事業	15,900千円

4．雇用対策について

就労コーディネーターを中心に、ハローワーク、教育機関、健康福祉部などと連携し、就労困難者の早期就労を支援するとともに、地域若者サポートステーションへの支援や、資格取得を目指す求職者に対する助成を継続する。

また、障害者雇用のより一層の促進を図るため、企業訪問による啓発を継続する一方、市内に特例子会社を設立しようとする事業者への支援制度を新設するほか、事業所を対象に、先進企業の現場見学も含めたセミナーを開催する。

【主な事業】	就労コーディネーター事業	3,397千円
	雇用安定関係啓発事業（若年者就労支援他）	3,321千円
	障害者雇用促進事業（特例子会社設立支援他）	3,120千円
	障害者雇用奨励事業	3,000千円

5．観光推進について

本市の観光施策を推進していくためには、施策の方向性を示し、行政、市民、事業者など、それぞれの担う役割の明確化及びおもてなし意識の醸成が必要であることから、関連する条例を策定するなど、観光施策の推進を図る。

観光大使やマスコットキャラクターの「こにゅうどうくん」を活用するとともに、三重テラス等を利用したイベントを開催するなど、本市の魅力発信に取り組む。また既存の観光施設についても、魅力アップや利便性、安全性の向上を図る。

本市の代表的な行事である「大四日市まつり」、「四日市花火大会」、「四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル」を開催し、市民に楽しみを提供するとともに、本市への誘客のきっかけとしていく。

【主な事業】	観光対策推進事業	11,997千円
	大四日市まつり事業	21,500千円
	四日市花火大会事業	22,500千円
	四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル事業	18,500千円
	観光施設整備事業	21,200千円

6．地産地消・優良農地の保全と担い手の育成について

地産地消推進事業では、ホームページやパンフレットを活用した消費者への情報発信や食育活動を通じた農業者と消費者との交流を支援するとともに、学校給食での地元食材の利用割合、使用量の増加に取り組む。さらに、農産物のブランド化や6次産業化など、農産物の高付加価値化への取り組みも推進していく。

優良農地保全事業では、荒廃農地の復元支援や市民菜園の開設経費を助成するとともに、農地中間管理事業や農地バンク制度を定着させるなど農地集積を促進し、農地の保全・有効活用を図る。

担い手農家育成支援事業では、新規就農者に対する技術習得支援や初期投資補助、給付金制度を通じて、経営の早期安定化を図るとともに、人・農地プランに位置づけられた中心経営体等が取り組む機械・施設整備の支援を引き続き行う。加えて、農業に参入する企業の初期投資補助を行い、多様な担い手の育成を支援する。

【主な事業】	地産地消推進事業	4,460千円
	優良農地保全事業	2,800千円
	担い手農家育成支援事業	34,393千円

7. 鳥獣被害防止対策について

サル、イノシシ、シカなどの有害鳥獣による農作物への被害が深刻化していることから、地元自治会や猟友会等と連携した捕獲を推進するとともに、防護柵設置などへの経費助成と併せた総合的な被害防止対策を行う。特に被害発生区域の拡大が著しいサルについては、捕獲体制を強化し被害防止を図る。

【主な事業】	鳥獣被害防止対策事業	21,435千円
--------	------------	----------

8. 農業生産基盤の整備について

水利施設等老朽化した農業用施設の更新・補修を行い、機能保全、長寿命化を図るとともに、災害を未然に防止し、農産物の安定生産を図る。

【主な事業】	市単土地改良事業	46,500千円
	多面的機能支払交付金事業	65,854千円
	南・北排水機場維持管理事業	13,651千円

9. 漁業生産基盤の整備について

老朽化や浸食等により機能が低下している磯津漁港海岸保全施設の整備を行い、防災機能の回復・向上を図り、背後地の生命・財産を守る。また、漁港施設の適切な機能保全のための計画を策定する。

【主な事業】	海岸保全事業	170,000千円
	漁港施設保全整備事業	9,000千円

10. 食肉センター食肉市場について

消費者へ、より安全で高品質な食肉を安定供給するため、施設・設備の計画的な更新整備を実施するとともに、的確な施設維持・衛生管理を実施することにより、施設の安定稼働に努める。

また、市場流通の円滑化を図るため、卸売業者が実施する集荷・販売対策事業

を支援する。

【主な事業】	食肉センター食肉市場施設維持管理事業	148,942千円
	食肉センター食肉市場施設整備事業	112,500千円
	(うちアセットマネジメント)	26,200千円)
	市場機能強化対策事業	79,302千円

11. 競輪事業について

本場開催は、記念競輪を除いて、今年度も通年ナイターを実施するとともに、西日本カップ(昼)を初めて開催する。

包括民間業務委託の実施などによりファンサービスの充実と収益向上に努めるとともに、競輪事業特別会計から一般会計への繰出金を予定する。

施設整備については、メインスタンドの耐震補強を進めるとともに、管理棟空調設備の更新を行う。

事業継続については、四日市競輪の今後のあり方検討委員会が定める存続条件について、四日市競輪検証委員会が引き続きチェックする。

【主な内容】	施設整備事業(耐震化推進)	53,695千円
	施設整備事業(アセットマネジメント)	21,300千円
	一般会計繰出金	150,000千円

(決算議会等の指摘に対する主な見直し事業)

・観光対策推進事業

観光施策を総合的に推進するため、条例制定に向けた取組み等を行う。

企業立地奨励金交付事業

1. 目的

新規産業の誘致、既存企業の新規設備投資の誘発を図るため、企業の新たな設備投資に対して奨励措置を講じる。

本制度は平成26年度末をもって期限切れとなることから、見直しを図り、今後本市産業が競争力を確保し持続的な発展を促していく。

2. 内容

事業所などの新設・増設事業について、新たに投下された固定資産（土地、家屋、償却資産）に対する固定資産税・都市計画税等相当額の一定割合を奨励金として交付する。

(1件あたり交付総額上限10億円)

※平成27年4月以降指定の事業については改正後の制度に基づき奨励金の交付を行う。

【主な改正内容】

①交付期間の短縮

奨励金交付期間について、企業の設備投資の回収期間が短くなってきている実態に合わせて5年から3年に短縮するとともに、交付2年目及び3年目の補助率を2分の1から3分の2にかさ上げする。

②重点分野を創設して奨励金拡充

今後成長が見込まれる事業や高シェアを誇る製品を生産する事業、臨海部コンビナート地区における企業内空地を活用する事業等を「重点分野」として指定し、交付1年目の補助率を3分の2とする。

(参考) 奨励金交付率の推移について

交付年度 区分		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
		改正前	1/2	1/2	1/2	1/2
改正後	一般分	1/2	2/3	2/3	—	—
	重点分野	2/3	2/3	2/3	—	—

3. 予算額 794,000千円 (財源内訳) 一般財源 794,000千円
(前年度 392,000千円)

担当 商工農水部 工業振興課
服部、渡瀬
TEL 354-8178

民間研究所立地奨励金交付事業

1. 目的

国際競争力の高い先端技術産業の集積や次世代産業への展開を促進するため、市内における企業の新たな研究施設の整備を支援する。

本制度は平成26年度末で失効するが、一部見直しを行い、引き続き奨励を行うことにより、本市における研究開発機能の集積を図る。

2. 内容

(1) 研究施設奨励金

市内の既存事業所や新規立地企業が、先進的な研究開発を進めるために、新たな研究施設の新增設を行う際に奨励金を交付する。

- ・対象となる研究施設の取得価格の1%から10%を奨励金として交付
(上限3億円)

(2) 研究者集積奨励金

研究施設奨励金の交付対象事業への従事を目的として、新規雇用または市外からの異動により新たに研究者を増員する際に、奨励金を交付する。

- ・奨励金交付額:研究者1人につき50万円～100万円を交付(上限1億円)
- ※研究者集積奨励金は平成26年度までに認定された事業に限る

※平成27年4月以降認定の事業については改正後の制度に基づき奨励金の交付を行う。

【主な改正内容】

○拡充分の創設

研究施設奨励金について、事業継続力の高い国内拠点化等を促進するため、マザー機能の集積等につながる研究開発施設の新設・増設については、奨励割合を1.5～2倍に拡充する。

(参考) 奨励割合について

取得価格 区分	～2億円	2億円～20億円	20億円～
一般分	10%	5%	1%
拡充分	15%	8%	2%

3. 予算額 86,000千円 (財源内訳) 一般財源 86,000千円
(前年度 115,500千円)

担当 商工農水部 工業振興課
服部、渡瀬
TEL 354-8178

中小企業ものづくり活力創造事業

1. 目的

本市のものづくりを支える中小製造事業者の活力を創造するため、ものづくり技術を支える人材の確保や、産学又は産業間の連携による研究開発を促進するセミナー開催を支援することにより、地域産業の競争力強化及び活性化を図る。併せて、海外需要の獲得による市内製造事業者の成長を促進するため、海外展開に向けた支援を行う。

2. 内容

- (1) 企業人材確保支援事業 480千円
留学生企業訪問事業 380千円

グローバルな人材の確保を支援するため、近隣大学の留学生を対象として、市内のオンリーワン、ナンバーワン技術等を有する中小製造事業者の技術力や魅力を伝える企業訪問バスツアーを実施する。

工業高校生徒の企業訪問支援事業補助金 100千円

四日市商工会議所が市内の工業高校等の生徒を対象として実施する中小製造事業者訪問バスツアーに対して、その経費の一部を補助する。

- (2) 研究開発マッチングセミナー支援事業補助金 100千円

大学等研究機関、各種商工団体又は産学連携の推進を目的とする組織がその機能を活かして実施する、企業のニーズと大学等研究機関が有するシーズとのマッチングを目的としたセミナーについて、その経費の一部を補助する。

- (3) ビジネスインキュベータ関係事業補助金 4,008千円

本市産業の集積を活用し創業を目指す事業者を、じばさん三重3階に整備したベンチャー支援施設である「ビジネスインキュベータ」において支援する。

(入居状況 H26末見込4社)

- (4)(新) 海外展開支援事業 2,765千円

海外展開における課題や支援制度などをテーマにした中小企業海外展開セミナーを開催する。また、参加者の投資意欲の高い国やテーマを選定の上、海外視察ミッションの派遣を行う。

3. 予算額 7,353千円 (財源内訳) その他特財 2,765千円
(前年度 4,820千円) 一般財源 4,588千円

担当 商工農水部 工業振興課
服部、山下、久徳
354-8178

(新)旧東橋北小学校整備事業
(地域産業支援)

1. 目的

学校統合により遊休化している旧東橋北小学校について、早期に有効活用を図るため、子育て支援の機能を中心に、市民活動の場などの貸館・貸しスペース、地元の地域活動施設、企業OBによる中小企業等への相談支援を行う場といった複合施設としての改修を行う。

2. 内容

3階の一部を企業OBによる中小企業・ベンチャー企業への相談支援の場として整備するため、基本設計及び実施設計を行う。

3. 予算額 1,400千円 (財源内訳) 一般財源 1,400千円
(前年度 0千円)

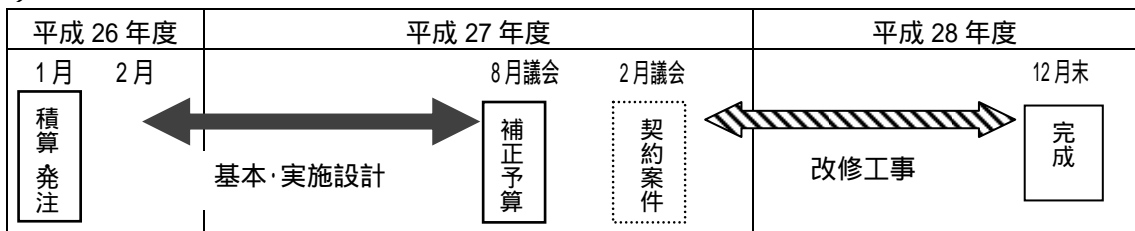
参考：施設全体の整備計画

(1) 利活用内容

校舎：延床面積5,707㎡(平成4年竣工、RC造4階)

- 1階 幼稚園および保育園、地元の地域活動施設
- 2階 幼稚園および保育園
- 3階 貸館・貸しスペース
企業OBによる中小企業・ベンチャー企業への相談支援の場
- 4階 児童館、子育て世代等交流の場

(2) スケジュール



(3) 基本・実施設計に関する予算額

整備する施設	担当課	予算額
幼稚園および保育園	保育幼稚園課	29,800千円
地元の地域活動施設、貸館・貸しスペース	市民生活課	15,700千円
企業OBによる相談支援の場	工業振興課	1,400千円
児童館、子育て世代等交流の場	こども未来課	15,300千円
合 計		62,200千円

担当 商工農水部 工業振興課
服部
354-8178

中心市街地活性化促進事業

1. 目的

中心市街地の活性化を図るため、市道西町線の一部を歩行者天国とし、来街者の駅東地区への誘導を図るとともに、回遊性の創出、にぎわいの再生を目指す。また、イルミネーション事業に支援を行うことによって、冬期来街者の増加を図る。

さらに、中心市街地において、災害発生等の緊急時に広く市民及び来街者に対して迅速に情報を伝えるとともに、平常時には市政・観光・防災・地域情報等の総合的な情報発信を行うことにより、本市の情報発信機能を強化し、中心市街地の活性化を図る。

2. 内容

市道西町線歩行者天国事業 3,600千円

市道西町線および平成25年度に改装したふれあいモール一帯を歩行者天国として、大道芸人によるパフォーマンスや、物販スペース、オープンカフェ等の設置を行うことで、市民に憩いの場を提供するとともに、中心市街地の賑わいを創出する。

イルミネーション事業 2,000千円

冬期において、近鉄四日市駅東口周辺で行われるイルミネーション事業に対し補助金を交付する。

(新) デジタルサイネージ設置・運営事業 16,100千円

多くの人への情報発信に関して最も効果の高い場所に、民間の広告手法を活かした効果的かつ効率的な情報発信設備(デジタルサイネージ)を設置する。なお、設置場所、設置機器の仕様、設置後の維持管理、運用方法などについては、民間事業者から提案を公募し、一括して委託する。(平成28年度以降は、設備の維持管理及び情報発信業務を委託する。)

3. 予算額 21,700千円 (財源内訳) その他特財 6,131千円
(前年度 5,600千円) 一般財源 15,569千円

4. 債務負担行為

デジタルサイネージ設置・運営事業

限度額 24,400千円 (総事業費) 40,500千円

期間 平成27年度から平成31年度

担当 商工農水部 商業勤労課
上野、坂口
354-8175

(新) 障害者雇用促進事業

1. 目的

障害者の雇用に効果の高い特例子会社を市内に設立する事業所に対し、設立経費の一部を支援することで、雇用の一層の推進を図る。

また、障害者雇用に不安を抱える事業所等に対し、雇用に関する研修や先進企業の取り組みを見学する機会を提供することで、事業所における障害者雇用の理解を深める。

2. 内容

四日市市特例子会社設立補助金 3,000千円

市内に特例子会社を設立する事業所に対し、設立にかかる経費の一部を補助することで、障害者雇用の一層の推進を図る。

【補助金額】補助対象経費の1/4以内 上限額1,500千円

【補助対象経費】施設整備に係る工事請負費、委託料、事務機器等リース料、
広報費 等

<参考>三重県の補助制度 補助対象経費の1/2以内(上限額3,000千円)

特例子会社について

事業主が障害者の雇用に特別の配慮をした子会社を設立し、一定の要件を満たす場合には、特例としてその子会社の労働者を親会社に雇用されているものとみなして、障害者の実雇用率を算定できることとしている。

特例子会社認定要件

- ・親会社が子会社の意思決定権限を有する
- ・子会社が雇用する障害者が5人以上で従業員数の20%以上 など

○障害者定着企業支援事業 120千円

障害者雇用の意向はあるものの受入体制等に不安を抱える事業所や、既に雇用している障害者の早期離職の防止を図るため、雇用に際して配慮すべき点や、各種支援制度等を体系的に学ぶ研修、及び先進企業の取り組みを現場見学する機会を提供し、事業所における障害者雇用への理解を深める。

【対象者】 市内事業所の経営者層や人事担当、現場の責任者等

【研修概要】3日程度の研修を実施

障害者雇用の現状と課題分析、障害特性に関する理解の促進、障害福祉施策に関する説明、各種助成制度の説明、先進事業所見学 等

3. 予算額 3,120千円 (財源内訳) 一般財源 3,120千円
(前年度 0千円)

担当 商工農水部 商業勤労課
坂口、東内
354-8175

観光推進事業

1. 目的

いきいきと働ける集いと交流のある街づくりに向けて、本市の魅力的な観光素材を観光資源として磨き上げるとともに、積極的な情報発信・PR活動を行うことにより、観光を通じた本市のイメージアップと交流人口の増大を図っていく。

2. 内容

- ・(新)観光施策の推進に関する条例等策定事業 5,391千円
本市の観光施策を推進していくために、施策の方向性を示し、行政、市民、事業者等のそれぞれの担う役割の明確化及びおもてなし意識の醸成等が必要であることから、関連する条例の策定などを行う。
- ・東海道観光魅力アップ事業 3,000千円
旧東海道の通る本市として、その街道の魅力を再発見し、観光資源として活用していくため、沿線の各地区と協議・連携しながら、情報発信やイベント実施など東海道の魅力アップに取り組む。
- ・四日市市観光大使等活用事業 2,370千円
観光大使として、市等が主催するイベントに参加いただくなど、観光大使の知名度を本市のPRに活用していく。
また本市の公式マスコットキャラクターである「こにゅうどうくん」を活用し、イベントを盛り上げるとともに本市の魅力発信に取り組む。
- ・観光PR事業 2,436千円
三重県のアンテナショップ「三重テラス」や「三重の観光営業拠点運営協議会」が運営する名古屋の「桜通りカフェ」を利用したイベント開催などを通じて、本市の魅力発信に取り組む。

3. 予算額 13,197千円 (財源内訳) 一般財源 13,197千円
(前年度 7,100千円)



(桜通りカフェイベント)

担当 商工農水部 商業勤労課
観光推進室 牧野
354 - 8176

観光施設整備事業

1. 目的

本市の魅力的な観光資源について、今後も継続的に活用し、集客力アップに結び付けていくために、利便性の向上、魅力の増進、安全性の向上を図っていく。

2. 内容

- ・水沢もみじ谷周辺整備事業 14,900千円
もみじまつりや星の広場でのイベントに対応できるよう、もみじ谷周辺の迂回路等の道路整備を行う。
- ・伊坂ダムサイクルパーク休憩施設整備事業 6,300千円
休憩施設においてシャワー等を整備し、伊坂ダムサイクルパークへの来訪者への利便性向上を図る。

3. 予算額 21,200千円 (財源内訳) 一般財源 21,200千円
(前年度 3,000千円)



(もみじ谷周辺迂回路整備)



(伊坂ダム休憩施設)

担当	商工農水部	商業勤労課
	観光推進室	牧野
TEL	354-8176	

地産地消の推進、優良農地の保全、担い手農家の育成

1. 目的

T P P 交渉の行方が不透明なことに加え、農業者の高齢化による担い手不足や遊休農地の増加、さらに農産物価格の低迷など、農業を取り巻く状況が非常に厳しい中、農業経営の安定化を図り、持続可能な経営体を育成するため、地産地消のほか農産物のブランド化、6次産業化などを推進し、販路の開拓・確保を支援する。また、農業生産基盤の維持・確保のため、荒廃農地の復元や担い手への農地集積を促進し、農地の保全・活用を図る。一方、新規就農者に対しては、技術指導から経営指導、農地斡旋、初期投資への支援のほか、経営が軌道に乗るまで助成を行い、担い手となるまで一貫した就農支援を行っていく。

2. 内容

(1) 地産地消推進事業

4,460千円

地産地消を推進し、本市で生産される魅力的な産品を紹介する場を設けることで、生産者の顔の見える安全・安心な食材を求める市民のニーズに応えていくとともに、農産物のブランド化や6次産業化を進め、農産物の高付加価値化に取り組んでいく。

また、学校給食への地元食材の利用割合を拡大し、新たな販路の確保を図るとともに、生産者と児童の交流を通じた食育を推進する。

地産地消ふるさとの食推進事業 学校給食等地産地消推進事業
アグリビジネス推進事業



調理・農産加工実習指導の出前講座



給食を通じた生産者と児童との交流会

(2) 優良農地保全事業

2,800千円

農地の保全・活用を進め、食料生産の場としての機能だけでなく、防災、環境保全、景観形成、憩いの場などの多面的機能の発揮を図る。

そのため、荒廃農地の復元支援や、農地中間管理事業、農地バンク制度などを活用して担い手農家への農地の集積を進めるとともに、市民、NPO等による市民菜園の開設など、多様な担い手による農地の有効活用を図る。

優良農地復元化事業 市民菜園整備事業 農地集積支援事業



地域の担い手が荒廃農地（水田）を再生

(3)担い手農家育成支援事業

34,393千円

新規就農者や農業参入する企業の初期投資を支援し、新たな担い手を育成するとともに、人・農地プランに位置づけられた中心経営体が行う機械・施設整備等を支援し、経営の強化・安定化を図る。これらの対策を通じて農地・農業の担い手を育成・確保し、農地の保全を図る。

経営体育成支援事業 青年就農給付金事業
 新規就農技術支援事業 新規就農者支援事業 企業等農業参入支援事業



経営体育成支援事業で整備された機械
 (左:色彩選別機 右:計量機)



新規就農者支援事業で整備された施設
 (パセリのビニールハウス)

3. 予算額	41,653千円	(財源内訳)	県支出金	31,680千円
	(前年度 40,880千円)		その他特財	1,803千円
			一般財源	8,170千円

担当 商工農水部 農水振興課
 渋谷、堀田、北川
 354-8180

鳥獣被害防止対策事業

1. 目的

サル、イノシシ、シカ等の野生鳥獣の出没域がより拡大し、農作物等への被害が深刻な状況となっていることから、捕獲活動の実施、電気柵等の進入防御柵の設置補助、農業者、住民、猟友会が連携した追い払いの支援を行うことにより、被害防止対策を推進する。

2. 内容

- (1) サル、イノシシ、シカ等の有害鳥獣の銃器、捕獲オリやサル大量捕獲囲いワナによる捕獲を推進する。

有害鳥獣捕獲事業業務委託 6,760千円

- (2) 有害鳥獣による農作物等の被害を軽減するため、地域が一体となって被害を軽減するための取り組みを推進する。

防除施設等整備補助金 5,000千円

追い払い物品支給等 4,880千円

- (3) サルに取り付けられた発信機からの電波を受信し、サルの群れの位置を調査するとともに周辺住民等へ情報を伝え、追い払いや捕獲活動に活用し、被害防止に努める。

野生ザル行動調査・監視業務委託 2,500千円

- (4) サル大量捕獲囲いワナやシカ・イノシシの捕獲オリの導入など、四日市市鳥獣被害防止総合対策事業推進協議会が行う鳥獣被害防止総合対策事業に対して負担金を支出し、捕獲を推進する。

鳥獣被害防止総合対策事業推進協議会 2,295千円



サル大量捕獲囲いワナ（桜町）
寸法：10m×20m×2.7m

3. 予算額 21,435千円 (財源内訳) 一般財源 21,435千円
(前年度 13,952千円)

担当 商工農水部 農水振興課
宮本、日置
354-8181

食肉センター食肉市場施設整備事業（アセットマネジメント）

1. 目的

四日市市アセットマネジメント基本方針に基づき、第2次推進計画に位置づけた食肉センター食肉市場施設について、老朽化が進んでいる屋根及び外壁について計画的な整備や修繕を行い、施設の機能や安全性の保持、長寿命化を図ることにより、長期的な経費の削減及び財政負担の平準化を実施する。

2. 内容

市場棟屋根外壁改修工事

老朽化が進んでいる市場棟の屋根及び外壁を改修する。

3. 予算額 26,200千円 (財源内訳) 一般財源 26,200千円
(前年度 13,700千円)



市場棟屋根



市場棟外壁

担当 商工農水部 食肉センター
北上、奥山
353-0209

競輪場施設整備事業（耐震化推進）

1. 目的

四日市競輪場メインスタンドの耐震診断調査を受けて、耐震補強実施設計を進めるとともに、メインスタンド改修工事に向けて車券発売機移設等を行う。

2. 内容

(1) メインスタンド耐震補強実施設計業務委託、第三者判定 15,895千円

- ・メインスタンドの耐震補強計画及び実施設計の作成
- ・委託期間 平成27年1月から7月まで

メインスタンド改修工事スケジュール案

平成26年度												平成27年度												平成28年度				
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	~	2月	3月		
耐震診断業務						耐震補強実施設計						メインスタンド特別観覧席改修工事 (耐震補強工事、 吊天井崩落対策工事含む)																
						・第三者判定						・第三者判定																
						緊急耐震補強工事																						
・6月議会補正予算(耐震診断)						・11月議会補正予算(耐震補強実施設計)						・8月議会補正予算(改修工事)						・11月議会契約議案(改修工事)										

(2) 車券発売機移設等業務委託 37,800千円

メインスタンド改修工事の前に、同建物内の車券発売機や払戻機を北投票所等に移設し、車券の発売・払戻業務を継続できる体制を整える。

3. 予算額 53,695千円 (財源内訳) その他特財 53,695千円
(前年度 0千円)

担当 商工農水部 けいりん事業課
大倉、松井、山中
331-3480

競輪場施設整備事業（アセットマネジメント）

1. 目的

四日市市アセットマネジメント基本方針に基づき、第2次推進計画に位置づけた競輪場施設について、維持管理費の軽減や省エネルギー化を図りつつ、計画的な予防保全による長寿命化を進めることにより、長期的な経費の削減及び財政負担の平準化を実施する。

2. 内容

- (1) 管理棟空調設備更新に係る設計業務委託及び工事 19,500千円
選手管理棟のチラーユニット、ファンコイルユニットの更新
- (2) メインスタンド空調設備更新に係る設計業務委託 1,800千円
メインスタンドの冷温水機、冷却塔等空調設備全般の更新

3. 予算額 21,300千円 (財源内訳) その他特財 21,300千円
(前年度 168,300千円)



(1) 管理棟



(2) メインスタンド

担当 商工農水部 けいりん事業課
大倉、松井、山中
331 - 3480

環 境 部

新年度予算における基本的な方針

市民や市民活動団体・事業者などあらゆる主体が協働して、「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」「快適生活環境社会」の実現に向けた環境先進都市を目指す。

温室効果ガスの排出を抑制するため、省エネルギー設備への更新や新エネルギー設備等の導入を促進するよう支援する。

また、ごみ処理基本計画に基づき、廃棄物の減量化及び資源化のさらなる推進を図るとともに、新総合ごみ処理施設の整備と南部埋立処分場の施設整備を進め、安定的にごみを処理するための施設の整備を進める。

3月21日に開館する「四日市公害と環境未来館」では、環境学習等を実施するとともに本市の環境改善の成果について、国内外に適切に発信するよう努める。

1．環境計画及び地球温暖化対策の推進について

環境先進都市を実現するため、市民や市民活動団体・事業者などあらゆる主体と協働し、環境計画に基づく施策を実施する。

また、温室効果ガス排出量の削減を促進するため、従来 of 制度を見直したうえで、引き続き中小企業等が行う省エネルギー設備への更新等に対する支援を行うとともに、家庭や中小企業向けに新エネルギー設備等の導入の促進を図る。

【主な事業】	環境計画推進事業	699千円
	新エネルギー等導入奨励金	11,100千円
	中小企業省エネルギー設備更新等事業費補助金	43,000千円

2．環境人材育成及び自然環境保全について

市民の環境保全意識の高揚と環境保全活動の促進を図るため、各種環境啓発事業を展開するとともに、本市と中国天津市並びに米国ロングビーチ市の次代を担う高校生を対象に環境学習・交流を行う。また、市民との協働による自然海岸の環境保全活動や外来生物の分布調査、特定外来生物の捕獲事業

を実施する。

【主な事業】	次世代環境人材育成事業	3,482千円
	自然環境保全推進事業	3,100千円
	環境計画推進事業（再掲）	699千円

3. 四日市公害と環境未来館事業について

来館者を対象とした公害・環境に関するワークショップやイベント、講座等を実施するとともに、環境啓発の一環として自然をテーマとした特別展を博物館4階特別展示室で開催する。

また、市民等との協働による環境学習、環境活動の充実を図るため、エコパートナーシップ推進事業を実施する。

【主な事業】	環境学習推進事業	37,452千円
	エコパートナーシップ推進事業	8,067千円
	展示管理運営費	15,027千円
	四日市公害と環境未来館一般管理費	25,283千円

4. 公害防止対策の推進について

大気、水質、騒音・振動及び悪臭等の監視・測定を行うとともに、ホームページ等により情報提供を行う。また、公害関係諸法令及び公害防止協定等に基づき、事業所に対する立入調査を実施することにより、規制基準適合状況を把握し、必要に応じて指導を行う。

さらに、本市の公害防止や環境保全に関する経験及び技術を他の国に移転するなどの国際環境協力を推進していく。

【主な事業】	大気汚染対策事業	59,569千円
	騒音・振動対策事業	1,703千円
	水質汚濁対策事業	4,690千円
	悪臭監視測定事業	1,209千円
	国際環境協力推進事業	8,400千円

5. 公害健康被害者対策について

公害健康被害者に対して、障害補償費、医療費等の給付を行うとともに、転地療養、家庭療養指導等の公害保健福祉事業を実施する。

【主な事業】	公害健康被害補償等事業	639,463千円
	公害保健福祉事業	2,090千円

6. 環境保健対策について

健康被害予防事業として、1歳6カ月児、3歳児を対象としたアレルギー健診及び3歳児、6歳児を対象とした呼吸器系疾患の調査を実施するとともに、ぜん息を持つ児童を対象としたぜん息児デイキャンプ事業を実施する。

【主な事業】	環境保健予防事業	2,584千円
	環境保健健康診査事業	1,475千円
	環境保健調査事業	1,834千円

7. ごみの減量化・資源化の推進について

リサイクルを推進するため、紙、布、金属、びん、飲料缶、ペットボトル等の資源物の収集及び資源化を行うとともに、出前講座等の啓発及び生ごみ処理機購入費の補助を通じて、3R（排出抑制、再使用、再生利用）を推進する。

また、資源集団回収及びエコステーションを実施する団体の活動を奨励するなど、市民、事業者、行政が協働で資源循環型のまちづくりを進める。

【主な事業】	資源物処理事業	379,553千円
	集団回収活動奨励費交付事業	18,000千円
	エコステーション設置促進事業費交付事業	1,600千円
	生ごみ処理機購入費補助事業	750千円

8. ごみ収集及び適正処理について

円滑なごみ収集を行うため、もやさないごみ収集業務の一部を外部委託するとともに、ごみ収集車両（小型11台）の更新を行う。集積場で回収できない粗大ごみを対象とする戸別有料収集を行う。また、新総合ごみ処理施設稼働に伴う分別区分変更を見据えたごみ集積場改修の支援を行う。

【主な事業】	ごみ処理一般管理経費	223,579千円
	ごみ収集車両整備事業	76,777千円
	粗大ごみ戸別収集事業	21,495千円

9. 廃棄物等適正処理対策について

廃棄物の不法投棄を防止するため、関係機関と連携して不法投棄パトロールの実施、カメラによる監視、行為者に対する指導を行う。また、三重県と連携して、産業廃棄物の不適正処理事案の早期解決に取り組むとともに、一般廃棄物収集運搬事業者、自動車リサイクル法関連事業者の許認可、指導を行い、事業者の育成に努める。

【主な事業】	廃棄物対策事業	27,002千円
--------	---------	----------

10. し尿処理について

衛生環境に資するため、し尿の収集を行うとともに、中継貯留槽等の施設管理及びし尿の衛生処理を行う。

【主な事業】	し尿処理施設管理運営事業	39,444千円
	し尿収集運搬事業	237,875千円
	し尿処理事業	27,100千円
	朝明広域衛生組合負担金	269,710千円

11. 清掃工場について

(1) 北部清掃工場の管理運営について

北部清掃工場におけるもやすごみの焼却処理が行えるよう計画的な修繕を行い、安定的な管理運営を行う。

また、焼却灰の資源化委託を行い、埋立物の減量及び資源化率の向上を図る。

【主な事業】	清掃工場管理運営費	708,044千円
	管理運営	273,028千円
	焼却灰資源化委託	362,016千円
	施設修繕	73,000千円

(2) 新総合ごみ処理施設の建設について

北部清掃工場に替わる新たな焼却施設を平成28年度の稼働を目標に整備する。平成27年度は、施設の建設工事を完了する。また、周辺環境整備事業として、道路・水路整備等を実施する。

【主な事業】	新総合ごみ処理施設整備事業	11,665,123千円
	ごみ処理施設環境整備事業	135,000千円

12. 埋立処分場について

(1) 南部埋立処分場の管理運営について

南部埋立処分場の安定的な運営及び延命を図るため、新総合ごみ処理施設が稼動するまでの間、もやさないごみに含まれるプラスチック類の選別、資源化委託を行い、引き続き埋立処分量の削減と資源化率の向上に取り組む。

【主な事業】	埋立処分場管理運営費	152,621千円
	埋立処分場延命化事業	205,000千円

(2) 南部埋立処分場の整備について

南部埋立処分場の安定的な維持管理を行うため、老朽化した污水处理施設の改修及び機能向上を行うとともに、埋立が終了した第1区画の覆土排水工事を行う。また、周辺環境整備事業として、道路整備を実施する。

【主な事業】	埋立処分場整備事業	532,334千円
	環境整備事業	38,000千円

13. 斎場・墓地の管理運営について

北大谷斎場の適正な運営に努めるとともに、機能を維持するため計画的に修繕を行う。また、市営墓地の適正な管理運営に努める。

【主な事業】	北大谷斎場管理運営費	184,711千円
	墓地管理運営費	19,397千円

(決算議会等の指摘に対する主な見直し事業)

自然環境保全推進事業

市内で増えつつある特定外来生物のアライグマに関し対応が必要であるとの指摘を受け、防除実施計画を策定しアライグマ等を計画的に駆除するための経費を計上した。

地球温暖化対策事業

1. 目的

地球温暖化の原因となっている二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を抑制するため、中小企業等が行う省エネルギー設備への更新等を促進するとともに、個人や中小企業等が行う新エネルギー設備等の導入を促進する。

2. 内容

(1) 新エネルギー等導入奨励金 11,100千円

市内で新エネルギー設備等を導入する場合に奨励金を交付する。

対象者：個人又は中小企業

対象設備：太陽光発電設備（出力10kW未満）、燃料電池設備

補助額：1件3万円

(2) 中小企業省エネルギー設備更新等事業費補助金 43,000千円

市内で事業を営む中小企業等が、省エネルギー設備への更新等を実施する場合に補助を行う。

補助対象：省エネルギー診断等

：省エネルギー設備への更新（照明・給湯・空調・ボイラー）

：省エネルギー等設備の導入（LED照明・ガスエンジン給湯器）

補助額：経費の3分の1以内、上限300万円

3. 予算額 54,100千円（財源内訳） 一般財源 54,100千円
（前年度 109,000千円）

担当 環境部環境保全課

渥美

354-8188

(新) 四日市公害と環境未来館事業

1. 目的

本市で発生したような公害が二度と繰り返されないことがないよう、当時の被害や裁判の記録並びに、改善に向けた市民、企業、行政の取り組みを紹介するとともに、後世に確実に継承する。

また、環境改善のまちづくりの中で得た知識や経験、技術を広く内外に情報発信することにより、都市イメージの向上や公害防止・環境学習につなげ、環境先進都市を目指す本市のシンボリックな施設としていく。

2. 内容

- (1) 環境学習推進事業 37,452千円
来館者を対象とした公害・環境に関するワークショップやイベント、講座等を実施する。
- (2) エコパートナーシップ推進事業 8,067千円
市民等との協働による環境学習、環境活動の充実を図るため、エコパートナーシップ推進事業を実施する。
- (3) 展示管理運営費 15,027千円
常設展示、特別展示の維持管理、運営に要する経費。
平成27年度は夏休みにあわせ、環境啓発の一環として自然をテーマとした特別展を博物館4階特別展示室で実施する。
- (4) 四日市公害と環境未来館一般管理費 25,283千円
「四日市公害と環境未来館」に関する常設展示、環境学習、活動室の運営に伴う維持管理、保守点検などを実施する。

3. 予算額	85,829千円	(財源内訳)	その他特財	6,486千円
(前年度	0千円)		一般財源	79,343千円

担当 環境部環境保全課
樋口
354-8065

環境監視推進事業

1. 目的

大気汚染防止法に基づく大気環境監視に必要な機器の更新を行う。

2. 内容

(1) 更新

窒素酸化物・浮遊粒子状物質測定機	1局 (西朝明中学校局)
炭化水素測定機	2局 (磯津局、四日市商業高校局)
風向風速測定機	3局 (三浜局、楠局、北消防署局)

(2) リース機器の買取

微小粒子状物質 (PM2.5) 測定機 2局 (納屋局、北消防署局)

平成27年3月31日で環境省のPM2.5モニタリング試行事業の終了に伴い、現在測定中の機器をリース会社より買い取る。

3. 予算額	12,900千円 (財源内訳)	県支出金	6,000千円
(前年度)	13,200千円)	一般財源	6,900千円



担当 環境部環境保全課
赤堀、中山
354 - 8189

新総合ごみ処理施設整備事業

1. 目的

北部清掃工場に替わる新たな焼却施設や、不燃ごみ・粗大ごみの破碎・選別処理を行う破碎処理施設等を備えた「新総合ごみ処理施設」を平成28年4月の稼働を目標に整備する。

「新総合ごみ処理施設」の整備により、安定したごみ処理を行うとともに、ごみの焼却により発生する熱エネルギーを発電へ有効利用する等により資源循環型システムの構築に資する。

2. 内容

平成27年度は、昨年度に引き続き焼却施設棟及び破碎施設棟の建築地上躯体工事・プラント工事を進め、試運転を行った後に竣工する予定。また、案内看板設置等の附帯工事を実施する。

3. 予算額	11,665,123千円	(財源内訳)	国庫支出金	4,518,630千円
(前年度	3,451,250千円)		市債	5,525,000千円
			その他特財	1,621,493千円

【施設完成イメージ】



【新総合ごみ処理施設建設工事年度割】

年 度	金 額
平成24年度	0千円
平成25年度	108,150千円
平成26年度	3,384,150千円
平成27年度	11,432,743千円
合 計	14,925,043千円

担当 環境部新ごみ処理施設整備課
大澤、出口
354 - 8333

埋立処分場整備事業

1 目的

南部埋立処分場の安定的な運営を図るため、引き続き老朽化した浸出水処理施設の改修を行うとともに、埋立が終了した区画の覆土排水整備を行う。

2 内容

(1) 浸出水処理施設整備工事

浸出水処理施設の老朽化に対応するとともに、新たな放流水質の管理目標値に対応するために施設の更新及び機能強化を行う。

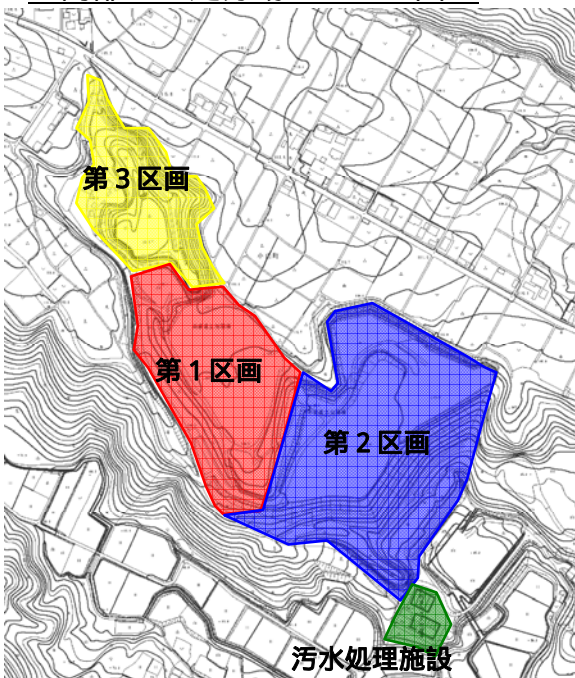
(2) 覆土排水施設整備工事

浸出水処理施設の負荷を軽減するために必要となる埋立区画内の雨水浸透抑制のため、埋立が終了した区画(第1区画)の最終覆土・排水施設整備を行う。

また、埋立中の区画(第2区画)の土堰堤部における排水施設整備工事を実施する。

3 予算額 532,334千円 (財源内訳)市 債 343,200千円
 (前年度 501,700千円) 一般財源 189,134千円

南部埋立処分場 エリア図



【南部埋立処分場整備事業工程表】

事業内訳	平成25年度	平成26年度	平成27年度
浸出水処理施設整備工事		156,737千円	363,780千円
覆土排水施設整備工事		168,388千円	168,554千円

担当 環境部生活環境課
 川合、伊藤(直)
 354 - 8333

都市整備部

新年度予算における基本的な方針

総合計画の基本目標「都市と環境が調和するまち」「誰もが自由に移動しやすい安全に暮らせるまち」の実現に向けた事業の実施を図る。

市域の公共交通に関しては、社会実験を取り入れるなど積極的に検討を進め、特に内部・八王子線に関しては、公有民営方式による第三種鉄道事業者としての初年度であることから、車両の更新、施設修繕や維持管理を確実に行うとともに、利用促進策を地域や利用者等との協働により推進する。

また、継続的に快適な市民生活、安心安全のまちづくりを実現する観点から、長寿命化計画に基づく橋梁をはじめとする施設の更新や維持管理を進めるとともに、その他の道路施設についても道路施設修繕計画を策定し、計画的な維持管理を推進する。

さらに、施設管理の実施にあたっては、例えば、地域の高齢化を踏まえて公園に健康遊具を設置するなど、施設の利用実態やニーズの変化への対応に努める。

また、住み替えの促進など空き家対策を行うとともに、老朽化した危険家屋に対するの取り組みを行うなど、地域の活性化や安心安全なまちづくりを進める。

1. 均衡のとれた土地利用について

住宅施策や都市農地のあり方、地域防災計画と整合を図り、都市機能と自然環境が調和した適正な土地利用を誘導する「都市計画マスタープラン」の見直しに着手する。

また、市民主体のまちづくり活動を促進するため、地区まちづくり構想等の策定を支援するとともに、提案された構想を基に都市計画マスタープラン地域・地区別構想の策定を進める。

【主な事業】	都市計画マスタープラン策定事業	6,300千円
	都市計画策定費	12,584千円
	まちづくり活動支援事業	5,360千円

2. 持続可能な交通体系の構築について

四日市市都市総合交通戦略や四日市市地域公共交通網形成計画において目標とする人口減少・高齢社会に対応した持続可能な総合交通体系の構築に向け、まちづくりと連携するなかで、市民や公共交通事業者等と協働して様々な施策

を推進していく。

特に、内部・八王子線については、公有民営方式への転換により、市は第三種鉄道事業者として、鉄道事業再構築実施計画に基づき、鉄道施設及び車両の計画的な整備を行い安全かつ安定した運行の維持に努めるとともに、利用促進策を推進する。

また、引き続き、鉄道事業者に対し、駅の耐震化など鉄道施設の更新に対する支援を行うことで、鉄道を安心・安全に利用しやすい環境整備を推進するほか、中心市街地における鉄道やバスなどの乗り継ぎ環境の改善を図るため、近鉄四日市駅西口広場等整備に関する基本設計を実施する。

コミュニティバス支援事業については、支援制度の拡充を図るとともに、公共交通の不便地域や空白地域において地域が主体となった新たな交通手段の導入を促進するために、対象地域において社会実験を実施し、実現可能性について検証を行う。

【主な事業】	近鉄四日市駅西口広場等整備事業	11,000千円
	バス利用環境改善整備事業	46,500千円
	コミュニティバス支援事業	9,980千円
	都市鉄道維持・活性化事業	17,000千円
	内部・八王子線運行事業	720,630千円
	近鉄四日市駅等耐震化促進事業	181,366千円
	近鉄川原町駅付近連続立体交差事業負担金	139,000千円

3. 建築基準法、都市計画法等に基づく業務について

建築基準法等に基づき確認申請の審査及び検査等を適正に実施し、違反建築物の防止に努め、建築物の安全性向上に努める。

また、都市計画法等に基づき、開発許可申請及び建築許可申請等において適正な許可処分を行い、良好な住環境を確保する。

【主な事業】	建築指導関係事務費	6,713千円
	開発審査関係事務費	2,557千円

4. 道路整備について

快適な暮らしと産業活動を支える道路整備については、次の6事業を柱として実施する。

(1) 幹線道路の整備

市民が快適に暮らせ、円滑に移動できるよう幹線道路を整備し、国県道とともに道路ネットワークを形成することで、市内の渋滞緩和を図る。

【主な事業】	社会資本整備総合交付金事業（道路）	221,600千円
	<小杉新町2号線、下野保々線、泊小古曾線 他>	
	防災・安全社会資本整備交付金事業（道路）	6,000千円
	<曾井尾平線>	
	道路改良単独事業	41,600千円
	<富田富田一色線、石原南五味塚線>	
	街路整備事業	23,000千円
	<四日市中央線、西浦安島1号線外2線>	

(2) 橋梁の整備

大規模地震に対する備えとして、橋梁の耐震対策を実施するとともに、橋梁長寿命化修繕を行っていく。

【主な事業】	防災・安全社会資本整備交付金事業（橋梁長寿命化関係）	358,200千円
	<塩浜跨線橋、三郎橋跨線橋、新大正橋 他>	

(3) 安心して通れる歩行空間づくり

歩行者・自転車利用者の視点に立った道路の改良を行うとともに、高齢者や障害者にも配慮した段差の解消や、防護柵・カーブミラーなどの交通安全施設の整備・維持を行うほか、通学路について合同点検に基づき交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組を推進する。

また、交通安全教育指導員により幼稚園・小中学校等で交通安全教育を実施する。

【主な事業】	防災・安全社会資本整備交付金事業（交安）	67,500千円
	<霞ヶ浦羽津山線、金場新正線、富田21号線>	
	防災・安全社会資本整備交付金事業（通学路交通安全対策）	22,500千円
	<山分広永線、羽津27号線、東阿倉川13号線 他>	
	自転車道整備事業	8,000千円
	交通安全施設整備単独事業	103,200千円
	交通安全教育事業補助金	4,800千円

(4) 生活に身近な道路整備

地域ニーズの高い生活道路を整備するため、地域が主体となって事業個所

を選定することにより、地域との協働によるまちづくりの推進を図る。

【主な事業】 生活に身近な道路整備事業 492,000千円

(5) 狭あい道路対策

良好な市街地形成、生活環境の改善を図るため、狭あい道路に面している建物の建替え等に合わせて道路後退用地の整備を行う。

【主な事業】 狭あい道路対策事業 141,769千円

(6) 道路の維持・再生

道路が安全・円滑・快適に通行できるよう適切な維持補修を図る。

また、道路ストックの点検結果により、計画的かつ効果的な修繕を実施するための修繕計画を策定するとともに、特に交通量が多く舗装面の損傷等が頻発している路線については、現状の交通利用に合わせた舗装に見直し、大規模な再舗装を行うことで、耐用年数の延伸化と機能維持を図る。

【主な事業】 道路維持修繕事業 302,020千円
防災・安全社会資本整備交付金事業（道路ストック関連）
44,100千円
産業支援・生活拠点道路再生事業 105,600千円
< 午起末永線 他 >

5. 土地区画整理事業について

施行中の事業の早期完了に努める。

(1) 末永・本郷地区(公共施行)

平成27年夏頃に換地処分を行い、清算金の徴収・交付に着手する。

【主な事業】 末永・本郷土地区画整理事業 135,613千円

(2) 午起地区(組合施行)

係争中の境界確定の早期解決に努めるとともに、換地計画の策定に着手する。

【主な事業】 午起土地区画整理事業 5,500千円

6. 公園・緑化事業について

都市の貴重な緑の空間の保全・創出を図るため、適正な維持管理と必要な整備を

進める。

(1) 公園・緑地の維持管理

公園・緑地・街路樹の管理委託等により、安全で快適な施設管理に努めるとともに、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の更新を進める。

また、市民ボランティア団体が行う公園・緑地の美化活動や里山保全等を支援し、市民と協働で緑の保全・創出に取り組む。

【主な事業】	公園施設管理費	385,994千円
	公園施設長寿命化整備事業	50,000千円
	市民に親しまれる公園ボランティア支援事業	4,000千円
	里山保全事業	4,100千円
	花と緑いっぱい事業	9,419千円

(2) 公園・緑地の整備

垂坂公園・羽津山緑地の整備を引き続き進めるとともに、平成33年のみえ国体開催に向けて中央緑地の施設整備に必要な測量・設計を行う。

【主な事業】	垂坂公園・羽津山緑地整備事業	90,000千円
	公園緑地整備単独事業	19,800千円

7. 河川事業について

集中豪雨等による浸水被害を防ぐため、準用河川等の改修を引き続き実施すること、河川・調整池・水路の適切な維持管理を行うことと合わせて、雨水流出抑制のための雨水貯留タンクの設置を促進するなど、総合的な治水対策事業を進める。

【主な事業】	準用河川改修事業	295,000千円
	<米洗川中流、朝明新川、源の堀川>	
	平津川河川改良事業	30,000千円
	普通河川三鈴川河川改良事業	20,000千円
	治水度ジャンプアップ事業	5,000千円
	雨水貯留タンク設置補助金	2,000千円

8. 道路等の管理業務について

市民生活に直結した道路等（法定外公共物（里道、水路）を含む）行政財産の適正な管理を行う。

【主な事業】	道路等の財産管理事業費	111,850千円
	境界査定業務費	10,939千円

9. 公共建築物等の整備について

公共建築物等の整備にあたり、維持経費を含む総費用の縮減、ユニバーサルデザインへの配慮、環境負荷の低減、施設の長寿命化の実現などを図り、整備を行う。

【主な事業】	営繕事務費	2,917千円
--------	-------	---------

10. 市営住宅整備事業について

長寿命化計画に基づき、老朽化している市営住宅の計画的な改修、高齢者・障害者向けの改良など適切な維持管理を行い、既存施設の有効活用を図る。また、住宅使用料の滞納整理を含め適切な入居管理を行う。

施設の整備では、前年度に引き続き曙町市営住宅第2期建設工事を行う。

【主な事業】	高齢者・障害者向け改良事業	20,000千円
	曙町市営住宅建設事業	612,705千円
	市営住宅整備事業	198,600千円

11. 住宅施策推進事業について

四日市市住生活基本計画に基づき、郊外住宅団地の再生や、空き家等の適正管理の促進など、誰もが暮らし続けられる環境づくりを進め、定住促進を図る。

【主な事業】	郊外住宅団地（モデル団地）子育て世帯住み替え支援事業	10,120千円
	子育て世帯住み替え支援PR事業	700千円
	空き家等適正管理関連事務費	484千円

（決算議会等の指摘に対する主な見直し・反映事業）

・道路維持修繕事業

道路側溝の損傷や舗装の剥離等により、重大事故を招くおそれのある突発的事象に対して、維持管理経費を確保し、迅速な対応ができるよう配慮した。

道路新設改良事業

1. 目的

既存の都市機能を活用しつつ、商工業などの経済活動の活性化や円滑な都市機能の強化を促進するため、国、県道の広域道路ネットワークと連携した市内の道路整備を行う。

2. 内容

市民の移動を安全で円滑にするため、東西道路の強化として小杉新町2号線、曾井尾平線、南北道路の強化として泊小古曾線、渋滞緩和として下野保々線の整備を推進する。

・小杉新町2号線	道路改良工	L = 110 m
・曾井尾平線	道路改良工	L = 70 m
・泊小古曾線	用地補償	1式
・下野保々線	橋梁下部工	1基

3. 予算額	182,000千円	(財源内訳)	国庫支出金	100,100千円
(前年度	230,600千円)		市債	73,700千円
			一般財源	8,200千円



担当 都市整備部 道路整備課
山口、北川
354 - 8212

防災・安全社会資本整備交付金事業（道路ストック関連）

1. 目的

安全で快適な市民生活ならびに円滑な産業活動を支えるには、道路施設の健全な機能保持が重要であり、計画的な施設の更新や修繕が必要である。このため、道路ストック総点検により得られた点検結果をもとに、道路施設修繕計画を策定し、緊急性や地域特性を踏まえた計画的かつ効率的な修繕を実施するとともに、現状の交通利用に合わせた舗装構成に見直すことで、耐用年数の延伸を図る。

2. 内容

道路ストック点検を実施した主要道路の舗装や道路構造物のほか、市内全域の歩道橋・道路照明灯・大型標識等を対象に修繕計画を策定する。また、点検の結果、路面の損傷が著しい箇所について再舗装工事を実施する。

・ 市内一円	道路施設修繕計画	1 式
・ 中村垂坂線外 1 路線	再舗装工	L = 5 0 m
・ あさけが丘中央通り線	再舗装工	L = 1 6 0 m
・ 阿倉川西富田線	再舗装工	L = 9 0 m
・ 下野保々線	再舗装工	L = 1 4 0 m

3. 予算額	44,100千円	(財源内訳)	国庫支出金	24,255千円
(前年度	125,000千円)		一般財源	19,845千円



担当 都市整備部 道路整備課
山口、北川
354 - 8212

防災・安全社会資本整備交付金事業（橋梁長寿命化関係）

1. 目的

近い将来発生が危惧される東海地震、東南海・南海地震等の災害で橋梁が落下した場合、利用者に多大な影響を及ぼし甚大な被害が想定されるため、耐震対策として橋脚補強及び落橋防止の整備を推進する。

また、橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、予防的保全を行うなど、適切な修繕を図り、安全で安心な道路環境を確保する。

2. 内容

耐震対策として、鉄道を跨ぐ塩浜跨線橋・小生跨線橋・三郎橋跨線橋、河川を跨ぐ新大正橋の整備を行うとともに、慈善橋の設計に着手する。

また、長寿命化として、鉄道を跨ぐ日永跨線橋、河川を跨ぐ生桑橋ほかの修繕を行う。

・塩浜跨線橋	橋脚補強及び落橋防止工事	4 橋脚
・新大正橋	橋脚補強及び落橋防止工事	2 橋脚
・日永跨線橋	長寿命化修繕 橋面舗装	3,000 m ²
・慈善橋	橋脚補強及び落橋防止設計	
・三郎橋跨線橋	橋脚補強及び落橋防止工事	2 橋脚
・生桑橋	長寿命化修繕 護岸工事	1 式
・小生跨線橋	橋脚補強及び落橋防止工事	1 橋脚

3. 予算額	358,200千円	（財源内訳）	国庫支出金	197,010千円
（前年度	104,000千円）		市 債	145,000千円
			一般財源	16,190千円

塩浜跨線橋



新大正橋



担当 都市整備部 道路整備課
山口

354 - 8213

準用河川改修事業

1. 目的

市民の生命、財産を守るため、特に改修が必要な準用河川について、自然環境の保全に留意しながら河川改修を行い、治水安全度の向上を図る。

2. 内容

前年度に引き続き事業進捗を図るもので、米洗川中流及び朝明新川においては、護岸改修工事を行う。源の堀川では、今後の改修整備に向けた測量調査及び用地買収を行う。

米洗川中流	築堤護岸工	L = 120m(左右岸)
朝明新川	築堤護岸工	L = 120m(右岸)
源の堀川	測量調査・用地買収	1式

3. 予算額	295,000千円	(財源内訳)	国庫支出金	98,333千円
(前年度)	316,000千円)		市債	177,000千円
			一般財源	19,667千円



米洗川中流



朝明新川

担当 都市整備部 河川排水課
谷口
354 - 8216

(新) 優良建築物等整備事業

1. 目的

当事業の実施区域を含む中心市街地は、これまで市において都心居住を図るため、敷地の共同化を促進してきた地域であり、商業の連続性を担保するような優良な建築物整備をしてきたところである。当該事業においても、都心居住の促進、中心市街地の活性化を図るため、中心市街地における優良建築物の整備に対して補助を行う。

2. 内容

事業名：優良建築物等整備事業(中心市街地(サンシ前火災跡地)再開発促進事業)

場所：諏訪栄町地内(地区面積1,080㎡)

整備内容：延べ面積 約2,410㎡(鉄骨造6階建 耐火建築物)

主な用途 サービス付高齢者向け住宅 等

住宅戸数 1K：35戸、2K：3戸 等

補助対象：調査設計費、土地整備費、共同施設整備費

補助割合：補助対象経費の2/3(国1/3・市1/3)

事業期間：平成27年度～28年度(H27調査設計、H28解体、施設建築工事)

3. 予算額 28,200千円 (財源内訳) 国庫支出金 14,100千円
(前年度 0千円) 一般財源 14,100千円



イメージ断面パース



イメージ模型

担当 都市整備部 都市計画課
伊藤、磯部

354-8214

コミュニティバス支援事業

1. 目的

公共交通の不便地域や空白地域における地域主体のコミュニティバスの導入を促し、高齢者や学生等交通弱者を初めとした市民の移動の利便性を図るとともに、持続可能なまちづくりに取り組む。

2. 内容

- (1) 市民主体のコミュニティバスに対する支援制度の拡充 4,980千円
NPO等が運営する市民自主運行バスに対する制度を改正する。

現 行	改 正 案
運行経費から運賃収入を減じた額の1/2 (限度額35万円/月)	運行経費の1/2 (限度額50万円/月)

- (2) 新たな交通手段導入のための社会実験運行経費 5,000千円

地域が主体となって路線やダイヤ等を決定し、既存の公共交通網を補完する新たな交通手段導入のための社会実験を行い、実現可能性の検証・推進を行う。

また、平成26年度に実施した水沢・桜地区における社会実験の結果を踏まえ、新規路線実現のための検討を継続する。

3. 予算額 9,980千円 (財源内訳) 一般財源 9,980千円
(前年度 6,200千円)



担当 都市整備部 都市計画課
公共交通推進室 秦、大原
354-8095

三岐鉄道三岐線都市鉄道維持・活性化事業

1. 目的

三岐鉄道三岐線における鉄道の運行サービスの向上及び安全性の強化を図るため、鉄道事業者が行うレールの重軌条化、駅構内の分岐器の改良及び橋りょう等の老朽化対策に対し、国、県、沿線市町とともに協調補助を行い、路線の維持を図る。

重軌条化とは軌道を強化するためにさらに重いレールに交換すること。重いレールの方が強度が大きく、軌道狂いや列車の振動も少なく、レール自身の寿命も伸びる。

2. 内容

三岐鉄道三岐線保々駅及び伊勢治田駅におけるレール・分岐器の重軌条化、曲線改良、富田第三架道橋など7橋梁の沓座補修や橋梁塗装などについて、鉄道事業者が行う鉄道施設の更新に対して国、県、沿線市町（2市1町）とともに協調補助を行う。

保々駅及び伊勢治田駅

全体事業費 180,000千円（四日市市負担分 うち15,000千円）

富田第三架道橋など7橋梁

全体事業費 24,000千円（四日市市負担分 うち 2,000千円）

事業費負担割合：国1/3、事業者1/3、県1/6、沿線市町1/6

四日市市負担分：事業費の1/12

3. 予算額 17,000千円 （財源内訳）一般財源 17,000千円
（前年度 15,000千円）



保々駅の重軌条化予定箇所



富田第三架道橋橋梁補修予定箇所

担当 都市整備部 都市計画課
公共交通推進室 秦、蟹江
354 - 8095

(新) 内部・八王子線運行事業

1. 目的

平成27年度から公有民営方式に移行する内部・八王子線について、本市が鉄道施設や車両を所有する第三種鉄道事業者となる。

そのため、第三種鉄道事業者としての日々の線路・電路・車両の維持管理等を行うとともに、国の補助スキームに基づく老朽化した車両の更新やA T S改良、変電所の新設、そのほか、マクラギ等の計画的な更新を実施することで引き続き鉄道の安全運行を図るものである。

上記の実施に必要な経費については、国・県からの補助金や一般財源のほか、内部・八王子線基金を活用する。

2. 内容

項目	事業内容	事業費(単位:千円)
鉄道施設や車両の新設・改良工事	車両新造1両、改造2両、A T S改良、変電所の新設など	537,812
鉄道施設や車両の維持・補修工事	マクラギ交換、車両の定期検査等	33,486
第三種鉄道事業者としての保線等に係る費用	線路・電路・車両の維持管理に係る委託料等	85,846
あすなろう鉄道(株)への補助金	初年度の定期券駆け込み購入による減収分への補填	63,486

3. 予算額 (前年度	720,630千円 0千円)	(財源内訳)	国庫支出金	189,719千円
			県支出金	94,859千円
			その他特財	265,000千円
			一般財源	171,052千円



新造車両のデザイン(イメージ)



新造車両の内装(イメージ)

担当	都市整備部	都市計画課
	公共交通推進室	秦、蟹江
	354-8095	

街路整備事業

1. 目的

近鉄四日市駅周辺において、既存の道路空間を有効に維持・活用していくため、歩行者や自転車利用者の安全に配慮するとともに、障害者や高齢者に配慮した歩道整備を行う。

2. 内容

四日市中央線や西浦安島2号線ほか（市民公園周辺歩道）歩道面が経年劣化により損傷等が著しいため、歩道舗装の改修を行う。

- ・四日市中央線 歩道改修工 L = 30 m A = 280 m²
- ・西浦安島2号線ほか 歩道改修工 L = 90 m A = 210 m²

3. 予算額 23,000千円（財源内訳） 市 債 17,200千円
（前年度 35,000千円） 一般財源 5,800千円

四日市中央線（北側歩道）



西浦安島2号線ほか



担当 都市整備部 道路整備課
山口
354 - 8213

公園施設管理費

1. 目的

都市の美観の向上や道路環境の保全等を目的とする街路樹や、市民の憩いの場、遊びの場としての公園・緑地を適正に管理する。

2. 内容

市内に473箇所の公園・緑地がある中、総合公園などの主要な公園における清掃、除草等の常駐管理や市内一円の街区公園の除草作業を年間委託するとともに、遊具や公園灯などの施設修繕、芝生の管理などを適宜実施することで、公園の美観維持と利用者の安全を確保する。

また、市の管理する約1万本の街路樹がある中、中央通りなどの植樹帯の清掃、除草や市内一円の街路樹の剪定作業を委託することで、都市の美観向上や道路環境の保全に努めるとともに、車両や歩行者の安全を確保する。

3. 予算額 385,994千円 (財源内訳) その他特財 10,567千円
(前年度 359,132千円) 一般財源 375,427千円



南部丘陵公園

担当 都市整備部 市街地整備・公園課
出口
354-8197

会 計 管 理 室

新年度予算における基本的な方針

各所属において、法令・規則等に基づいた適正な会計事務の執行や市民の貴重な財産である公金、金券、備品等の適正管理の徹底がなされるよう、各種研修や会計実務にかかる情報提供、実地検査などを行う。

また、公金の管理については、「四日市市資金管理運用方針」に沿って、収支計画の精度向上と金融動向の把握に留意し、安全性を第一に考慮し、流動性を確保したうえでより効率的な資金運用を行う。

1. 会計管理事業について

支出にかかる審査事務や歳入金の収納事務を適正かつ効率的に行うとともに、各所属に対しては、出納員や実務担当者を対象とした会計事務研修を実施し、職員のさらなる会計処理能力の向上と厳正で迅速な会計事務の執行を推進する。また、関係部局とともに所属長を対象とした研修を実施し、適正な会計処理と法令遵守の徹底を図る。

さらに、各所属の会計事務の執行や現金・金券・物品等の管理が適正に行われているかの確認及び実務担当者への会計事務に関する相談・支援のため、実地検査を行う。

公金の管理については、収支計画の精度向上により運用可能な資金の状況をより精緻に把握するとともに、厳しい金融環境のもと安全性を最も重視し、支払いに支障をきたさぬよう資金の流動性を確保しつつ、運用収益の確保に努める。

【主な事業】 会計管理経費 予算額 27,741千円

議 会 事 務 局

新年度予算における基本的な方針

平成 27 年度は四日市市議会基本条例が施行されて 5 年目となり、議員任期の 4 年が終了し、選挙を経て新体制へと変わる初年度に当たる。議会は、新体制のもと議会基本条例の見直し等検討を行い、これまで行ってきた取組の一層の充実を図ることに加え、議会基本条例の基本方針である、市民との情報共有を図ること、市民参加を推進すること、議員間討議を活性化して政策立案・政策提言を行うこと、の三本柱に沿った議会改革をさらに推進する。議会事務局は、この改革の実現に向けてサポートを行う。

1．議会改革の推進について

議会は、議会基本条例に規定した取組である通年議会、文書質問等を積極的に活用し、議論の活発化を図ることに努めている。平成 26 年度には議長の諮問機関として設置された「議会活性化検討会」において議会の活性化策について議論されたが、平成 27 年度は同検討会から示された答申を踏襲しつつ、さらに議会改革を推進していく方針であり、議会事務局はこうした取組に対しサポートを行う。

【主な事業】	会議録作製関係経費	8,016 千円
	参考人等関係諸経費	332 千円

2．市民への議会情報の提供及び議会への市民参加の取組について

議会は、議会基本条例の基本方針の三本柱として掲げた「市民との情報共有」、「市民参加の推進」を図るため、議会活動について積極的に情報発信に努めている。平成 26 年度は、各定例月議会における議案のうち、市民サービスに大きな変化をもたらすような条例や事業に関するものについて、委員会で審査される前に市民から意見募集を行い、出された意見を全議員で共有し審査の参考とする取組を開始した。平成 27 年度もさらに「議会の見える化」を進める方針であり、議会事務局はこうした取組を通して、市民に開かれた議会の実現のためのサポートを行う。

【主な事業】	市議会中継関係経費	10,583 千円
	議会報等作製関係経費	9,435 千円
	インターネット配信関係経費	992 千円

3 . 議会の政策形成機能の充実について

議会は、議会基本条例の基本方針の三本柱の一つである「議員間討議の活性化」を進めるため、議員間討議により集約された意見から政策立案・政策提言を行うことを目指しており、平成 26 年度には議員提案により、市民自治の実現を実効性あるものにするため、市民協働の促進を図るしくみを定める「四日市市市民協働促進条例」を制定した。議会事務局は、こうした議会の政策形成機能を充実するための取組についてサポートを行う。

【主な事業】	政務活動費	27,720千円
	行政視察関係経費	13,540千円
	議員パソコン・インターネット経費	6,708千円
	調査法制関係諸経費	2,000千円

監 査 事 務 局

新年度予算における基本的な方針

地方自治法に定められている「住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げる。また、常にその組織及び運営の合理化に努めその規模の適正化を図る。」との規定の趣旨にのっとり、監査委員が実施する監査事務の補助を行う。

1．定期監査について

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が、最少の経費で最大の効果を上げているかに着目し、予算の執行及び財産の管理などが適法、適正かつ効率的に行われているかについて行政機構別に監査を実施する。

2．行政監査について

本市の事務の執行に関し、事務組織その他の執行体制、事務処理の手続き方法、事務の執行状況、施設の管理運営及びその他の行政運営全般について、公正で効率的かつ効果的に行われているかについて監査を実施する。

テーマを定めた行政監査及び定期監査に併行して行う行政監査を実施する。

3．その他の監査、検査、審査について

出資団体監査、財政援助団体監査、公の施設の指定管理者監査、工事監査や例月現金出納検査、決算審査、基金運用状況審査、財政・経営健全化審査等を実施する。

【主な事業】 監査事務一般経費 当初予算額 2 , 4 3 6 千円

教 育 委 員 会

新年度予算における基本的な方針

平成27年4月に改正地教行法が施行されることにより、市長と教育委員会からなる「総合教育会議」において、本市の教育の目標や施策の根本的な方針となる「教育大綱」策定についての協議・調整を行う。さらに、「四日市市学力向上アクションプラン」を策定し、本市独自の教育施策の展開につなげていく。

平成27年度は、現行の「第2次四日市市学校教育ビジョン」の最終年度となるため、各施策別に設定した取組指標の目標値達成に向けた取組を強化するとともに、教育委員会の点検・評価の充実を図る。

具体的には、本市が目指す子どもの姿「輝く よっかいちの子ども」の実現に向け、学校教育分野において「段差のない教育」と「途切れのない支援」、「家庭・地域との協働」の3つの視点に立った各種施策の充実に努める。

また、適正な教育環境の確保に資するため、平成26年度に行った、地域の教育環境課題等の整理に基づき、課題解決に向けた方策の絞り込みを行う。

さらに、統合後の小学校における、児童の登下校時の安全を確保するため、通学路の安全対策に努める。

文化財・埋蔵文化財については、引き続き国指定史跡久留倍官衙遺跡の整備を実施するなど、文化財の保存・活用に努める。

図書館、博物館等社会教育施設においては、学校との連携の充実に努めるとともに、それぞれの特性を生かした学習機会・情報の提供及び学習活動の支援に取り組む。

スポーツの振興については、学校体育や地域スポーツおよび競技スポーツの充実に取り組むとともに、スポーツ施設整備計画に基づき、平成33年度に開催されるみえ国体を見据えたスポーツ施設整備に着手する。

1. 問題解決能力の向上について

「小1プロブレム」「中1ギャップ」の解消や基礎学力の定着及び学校生活への適応に向けて、小中学校において、みえ少人数学級編制を継続するとともに、市独自施策として小中学校1年生における30人以下学級編制が行えるよう教員を配置する。

また、基礎学力の向上、外国人児童・生徒の学校不適應などの教育諸課題の解決を図るため、非常勤講師を配置し、少人数指導を行う。

市内全中学校区で取り組む「学びの一体化」では、就学前と小中学校の連携を強化した一貫性・系統性のある教育を一層推進する一方、新たな教育課題に対応するため、2中学校校区を教育実践研究推進校区に指定し、教育委員会との協働のもと実践研究を推進する。

英語指導については、外国人英語指導員を全小中学校へ派遣し、日本人教員とのチームティーチングによる指導を推進する。特に、小学校においては、外国語活動推進校を指定して低学年からの指導を充実させ、早期からの英語教育を推進する。

児童・生徒の理科や科学等への学習意欲の向上を目指し、企業との連携による理科等に

関する体験や実験を取り入れた授業や、JAXA（宇宙航空研究開発機構）との連携による「宇宙」を素材にした授業を行う。また、「四日市こども科学セミナー」を実施し、本市の産業立地の特徴を生かした様々な体験活動を通して、子どもたちの科学への知的好奇心・探求心を高める。

教育の情報化においては、ICT（情報通信技術）を活用したよりわかりやすい授業づくりの推進のために、情報環境の整備と運用支援等を行う。

さらに、社会人になっても通用する問題解決能力の育成を目指して、その基礎となる確かな学力の向上に向けた本市独自の教育施策を検討するため、学識経験者をはじめとした多方面からの委員により構成する会議を設置し、その検討結果を反映した「四日市市学力向上アクションプラン」を策定する。

【主な事業】	少人数学級拡充事業	239,474千円
	（うち小一・中一30人学級分	96,431千円）
	（うち非常勤講師配置分	143,043千円）
	学びの一体化推進事業	33,014千円
	学校英語教育充実事業	76,765千円
	大学及び企業等との連携による教師力向上事業	1,783千円
	（うち企業等との連携事業分	644千円）
	四日市こども科学セミナー事業	3,185千円
	学校教育IT推進事業	40,463千円
	教育情報通信システム運営事業	211,162千円
	学力向上アクションプラン検討事業	306千円

2. 豊かな人間性の育成について

生徒指導については、いじめや不登校等の未然防止、早期発見、早期対応につなげるため、教職員の指導・相談体制等の充実を図るとともに、学級満足度調査等の結果を効果的に活用していく。併せて、保護者や地域との連携強化等に努める。

各学校の相談体制については、国・県によるスクールカウンセラー（臨床心理士等）の配置に加え、市独自での配置を行うことにより、すべての小中学校にスクールカウンセラーを配置するほか、学校からの要請に応じてハートサポーター（臨床心理士等）を派遣することで、学校のカウンセリング機能の充実を図る。

併せて、新たに、スクールソーシャルワーカー（社会福祉士等）を派遣して、児童生徒が抱える家庭に起因する福祉的な課題の改善及び解決を図る。

また、学校の人権教育については、引き続き、教職員自らの人権感覚を磨くための研修を充実するとともに、発達段階に応じたカリキュラムの整備に努める。各中学校区においては、子ども人権フォーラムを通して、一貫して子どもたちに人権尊重の精神を養い、差別をなくす実践力を育てる。

教育上配慮を必要とする地域及び周辺地域においては、引き続き、人権学習、仲間づくりや体験学習などを通して、基本的人権を尊重する精神と行動力をもった子どもを育成するための事業を実施する。さらに、学習環境の厳しい子どもたちの学習習慣の定着と基礎学力の向上を目指して、学校・家庭・地域が連携して、教員OBなど指導経験者や地域の

方の支援を得て、学力・進路保障の取組の充実を図る。

読書活動の推進及び学校図書館の活性化については、全小中学校に司書を派遣し、各校の年間計画に基づき、図書館担当教員への助言及び読書活動への支援、ブックトーク（テーマを設定した読み聞かせ）の実施や図書館を活用した授業支援等を行う。そして、読書活動推進校に6校を指定し、1分間スピーチを取り入れた学習活動等の充実を図り、実践事例の公開や発表を行う。また、市立図書館にある学校団体貸出図書「なのはな文庫」の活用や蔵書の貸出など、市立図書館との連携を進める。また、自然体験活動の一環として自然教室を実施し、自然に触れる楽しさを味わい、集団生活を通じた人間的なふれあいを深める。

【主な事業】	途切れのない指導・支援事業	183,822千円
	（うち生徒指導・教育相談事業分	30,461千円）
	いじめ等対策事業	4,186千円
	学校人権教育推進事業	1,700千円
	子ども人権文化創造事業	4,131千円
	自己実現支援事業	2,464千円
	地域による学力向上支援事業	1,000千円
	学校図書館いきいき推進事業	38,702千円
	自然教室事業	26,479千円

3. 健康や体力をはぐくむ教育の充実について

子どもの運動能力や体力向上のため、小中学校における子どもの運動のあり方や教員の指導方法などについて検討する。小学校においては、体力向上推進のプログラム（5分間運動Part2）を作成することで、体力向上につながる運動を紹介し、各校での共通理解のもと実践につなげる。

また、食育を推進し中学生の健やかな成長につなげるため、デリバリー方式による給食を家庭弁当と併用して実施する。給食アンケート結果や中学生から募集したレシピを参考にするなど、今後も継続して給食内容の充実を図るとともに、平成27年度には「四日市市中学校給食検討会」を開催し、今後の中学校給食のあり方について検討する。

【主な事業】	学校づくりビジョン推進事業	31,561千円
	（うち体力向上事業分	54千円）
	中学校給食事業	232,651千円

4. 特別支援教育の充実について

不登校や発達障害など課題のある幼児・児童・生徒に対して、一人一人の教育的ニーズに応じて専門家を派遣したり、適応指導教室や関係機関との連携を図ったりすることで、乳幼児期から中学校卒業後を見通した一貫した相談支援体制の充実を図る。

こども未来部と連携を図り、発達障害等の幼児・小学校低学年児童（4歳～8歳）とその保護者への早期支援（U-8事業）を充実させ、幼児期からの途切れのない支援を行う。

幼児・児童・生徒の進級や進学、関係機関との連携の際には、「相談支援ファイル」を有効に活用する。また、保健所及び医療機関と連携した支援体制（YESnet等）により、精神

疾患のある児童生徒への早期支援に努める。

また、障害等のある子どもに対して、一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援に資するため、各学校の特別支援教育体制の推進に指導・助言・連絡調整を行う「地域特別支援教育コーディネーター」のほか、特別支援学級に介助員を配置するとともに、通常の学級において発達障害等で支援を要する児童・生徒に特別支援教育支援員を拡充して配置する。

また、今後の特別支援教育を推進していく中心的な役割を担う人材を育成するため、専門的な知識・経験を備えた指導者養成研修を、平成26年度～平成28年度の3年計画で引き続き実施していく。

【主な事業】	途切れのない指導・支援事業	183,822千円
	(うち特別支援教育・相談事業分)	7,408千円)
	(うち就学支援委員報酬分)	322千円)
	(うち適応指導教室事業等分)	7,164千円)
	(うち特別支援教育介助員分)	125,559千円)
	(うち特別支援教育支援員分)	12,908千円)
	特別支援教育推進事業	2,279千円

5. 時代の変化に対応する教育の推進について

各学校の「学校づくりビジョン」の実現に向け、創意工夫ある教育活動や職場体験活動、地域や家庭との協働による活動や土曜日等を活用した教育活動等を推進できるよう継続的に支援する。また、新たに、「四日市公害と環境未来館」を訪問して取り組む環境学習を実施する。

各校の学力面を中心にした状況を把握し、指導改善を一層進めるため、学力の到達度検査を全校で実施するとともに、全国学力・学習状況調査問題の授業等での活用を推進する。

外国人幼児・児童・生徒の教育については、日本語指導や学校生活への適応指導、学力補充、教育相談、進路保障等の充実を図るため、在籍校・園に適応指導員の配置を進める。短期間で集中的な日本語の初期指導等を行うとともに、定住化により日本の公立高等学校への進学希望者が増加していることに伴う進路保障に対応するため、教科の授業における日本語指導の充実をめざした研究を行う。また、小学校6年生と中学生及びその保護者を対象に、外国人生徒の進学支援を目的とした「高校進学ガイダンス(学校へ行こう)」を開催する。

【主な事業】	学校づくりビジョン推進事業	31,561千円
	外国人幼児児童生徒教育事業	60,539千円

6. 家庭・地域との協働の推進について

地域に開かれた信頼される学校づくりのために、各学校に設置した「学校づくり協力者会議」において、地域住民・保護者と学校が「学校づくりビジョン」の実現や学校運営の改善に向け、意見交換や学校評価を行う。併せて、保護者及び地域住民等が学校運営へ参画し、教育活動の充実のために協働するシステムを有する学校を「四日市版コミュニティスクール」として指定し、その拡大と取組の充実を図る。

【主な事業】 四日市版コミュニティスクール推進事業

2,740千円

7. 教職員の資質・能力の向上について

本市作成の「問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック」を基にした授業研究に取り組み、その実践例を小中学校へ示すことにより授業改善を進める。また、ライフステージに応じた研修講座を実施し教職員の資質・能力の向上を図る。なかでも若手教員研修では、学級運営や学習指導を中心に指導力の向上を目指す。

経験の浅い教員等への指導・助言にあたっては、教育アドバイザーを派遣し、指導力の一層のレベルアップと資質の向上を目指す。また、教師力の向上に向けて、大学や企業と連携し、専門的な立場からの高い知識と豊かな経験等を教員の研修等に活用する。

さらに、人権教育については、学校における指導内容の充実を図るとともに、人権教育の目的や目標の実現に向けた人権学習プログラムを策定するため、小中学校におけるリーダー養成を目指した実践的な研修会を行い、深い知識と実践力を備えた指導者を養成してその活用を図る。

【主な事業】 教職員研修事業	2,138千円
少人数学級拡充事業	239,474千円
(うち教育アドバイザー分)	5,725千円)
大学及び企業等との連携による教師力向上事業	1,783千円
(うち大学との連携事業分)	1,139千円)
学校人権教育リーダー育成事業	449千円

8. 学校施設・設備等の整備について

校舎の改築整備については、笹川中学校の改築工事に着手する。また、良好な学習環境の確保と長寿命化を図る大規模改修については、水沢小学校及び塩浜中学校の校舎、神前小学校の屋内運動場の工事を行うとともに、富洲原小学校及び大池中学校の校舎の設計を行う。

学習環境を改善するための空調設備については、小中学校の視聴覚室50室(小学校34室、中学校16室)と音楽室3室への整備を行う。

小学校における衛生管理強化のための給食室改修については、大矢知興譲小学校の工事及び笹川東小学校の設計を行う。

次に、災害対策として、災害時仮設トイレの便槽整備については、桜小学校の公共下水道接続工事にあわせ、不要となる浄化槽を便槽とするための整備を行う。

学校施設の安全確保を図るため、地震により割れたガラスの飛散による危険を回避するための窓ガラスの飛散防止対策を小学校の特別教室において実施するとともに、小中学校の屋内運動場等の吊天井崩落対策工事を行う。

自然災害を未然に防止し、児童の安全を確保するため、四郷小学校の裏山法面の改修工事及び内部東小学校の裏山法面の復旧工事を行う。

児童生徒の通学時の安全確保に向けては、通学路における交通安全施設の整備を引き続き推進する。

【主な事業】 笹川中学校改築整備事業

203,200千円

小・中学校大規模改修事業	319,300千円
空調設備整備事業	207,300千円
給食室改修事業	54,500千円
災害用汚水槽整備事業	11,700千円
窓ガラス飛散防止事業	36,900千円
屋内運動場等吊天井崩落対策事業	111,800千円
四郷小学校裏山法面改修工事	69,000千円
内部東小学校裏山法面復旧工事	16,200千円
通学路交通安全施設整備事業	24,200千円

9. 文化財の保存・活用・整備について

国指定史跡久留倍官衙遺跡整備事業を進めるため、ガイダンス施設の展示造作を実施するとともに、正殿跡の遺構立体表示工事等の整備等を行う。国指定天然記念物御池沼沢植物群落については、引き続き環境改善に取り組む。市指定有形文化財（建造物）の旧四日市市役所四郷出張所については、法面改良工事を行う。また、文化財説明板や案内板の設置、指定文化財修理に対する補助等を行う。

一般国道1号北勢バイパス建設にかかる埋蔵文化財発掘調査を国土交通省中部地方整備局から受託する。

【主な事業】	久留倍遺跡保存活用事業	103,191千円
	天然記念物保存事業	3,144千円
	旧四郷出張所維持管理事業	8,341千円
	文化財維持管理事業	1,065千円
	指定文化財保存事業費補助金	3,590千円
	埋蔵文化財発掘調査受託事業	41,663千円

10. 生涯学習機会の提供について

図書館においては、利用者のニーズを把握しながら図書を選書し、乳幼児から高齢者までに対応した資料を収集し、読書環境の向上に努める。また、郷土作家コーナーおよび地域資料室に関係した情報収集にも努め、資料を収集する。

博物館においては、「リニューアル - 再発見」を年間の事業コンセプトとし、日本の美、郷土の先人などを再発見する展覧会を開催する。また、プラネタリウムでは、新しくなった設備機器の高い機能を生かして、地球環境や天文現象を取り上げた独自の番組などを放映し、市民の宇宙への興味・関心を高めていく。

【主な事業】	図書資料整備費	28,100千円
	博物館特別展等開催費	35,099千円
	プラネタリウム投映事業	17,788千円

11. スポーツの振興について

運動施設の整備については、平成33年度のみえ国体開催に向け、四日市市スポーツ施設整備計画に基づき、霞ヶ浦緑地公園運動施設と中央緑地公園運動施設に整備予定である

スポーツ施設（体育館、サッカー場、テニスコート等）の設計を行う。また、霞ヶ浦第1野球場の長寿命化を図るため屋根（観覧席）改修工事を行い、市民が安全に施設を利用できるようにするとともに、照明塔塗装工事を行い、老朽化が著しい部分の改修を行う。四日市ドームでは、施設を快適に利用できるように、遮光ロールスクリーン等各種設備の改修を行う。

四日市市運動施設及び四日市ドームの管理運営については、指定管理者制度によって利用者サービスの向上を図る。また、引き続き地区運動広場の整備を行っていく。

スポーツの振興については、市民がスポーツに関心を持ち、スポーツに親しむ機会を設けるため、トップアスリートによるスポーツイベントやプロ野球ウエスタンリーグ公式戦を実施する。加えて、市民がスポーツを通して「元気な四日市」を実感できるように、四日市シティロードレース大会やウォーキング大会を開催する。また、競技力向上や各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上を図るため、スポーツ指導者の資格取得費用の助成を行う。

【主な事業】	霞ヶ浦緑地運動施設整備事業（国体関係）	21,600千円
	霞ヶ浦緑地運動施設整備事業	19,900千円
	（うち霞ヶ浦第1野球場夜間照明塔塗装工事分	10,000千円）
	霞ヶ浦緑地運動施設整備事業（アセットマネジメント）	
		34,900千円
	中央緑地運動施設整備事業（国体関係）	45,400千円
	四日市ドーム整備事業	11,100千円
	四日市市運動施設指定管理者指定管理料	223,097千円
	四日市ドーム指定管理者指定管理料	65,972千円
	スポーツイベント実施事業	5,500千円
	スポーツ指導者資格取得助成金	100千円

（決算議会等の指摘に対する主な見直し事業）

・途切れのない指導・支援事業（うち生徒指導・教育相談事業）

新規事業として、児童生徒が抱える家庭に起因する福祉的な課題について、学校内外のケース検討会議等の充実とともに学校や行政、地域や家庭との連携・仲介・調整を行いつつ、問題行動等の未然防止・改善・解決を図るため、社会福祉士等をスクールソーシャルワーカーとして派遣する。

・中学校給食事業

平成25～26年度に学校関係者や保護者を交えて開催した「中学校給食に関する懇談会」を発展させ、今後の四日市の中学校給食のあり方について提言をまとめる「四日市市中学校給食検討会」を平成27年度に開催する。

・体育館トイレの洋式化

小・中学校の体育館トイレの洋式化を計画的に進めることとし、平成27年度は小学校（13校）について整備する。

・スポーツ指導者資格取得助成金

平成33年度のみえ国体開催に向け、各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上並びに市民のスポーツ振興と競技力向上を目的に新たにスポーツ指導者の資格を取得する際に要した費用の一部を助成する。

空調設備整備事業

1. 目的

良好な学習環境整備のため、すべての児童生徒が利用できる特別教室（視聴覚室等 53 室）に空調設備を整備する。

2. 内容

小・中学校の視聴覚室等への空調設備整備工事

- ・ 視聴覚室 50 室（小学校 34 室、中学校 16 室）に空調設備を設置する。
- ・ 音楽室 平成 28 年度に工事を予定している音楽室のうち、3 室について前倒して空調設備を設置する。

理由 平成 26 年度からの継続事業であることが文部科学省の補助対象事業としての要件であることから、既に、視聴覚室に空調設備が整備されている学校については、前倒して音楽室に空調設備を整備する。

3. 予算額 207,300 千円 (財源内訳) 国庫支出金 41,828 千円
 (前年度 162,900 千円) 一般財源 165,472 千円

平成 27 年度 工事工程

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公告日	●											
入札期間		←……→										
工事期間			←————→									

担当 教育委員会 教育施設課
 広瀬
 354 - 8245

笹川中学校改築整備事業

1. 目的

笹川中学校の校舎の一部については、屋内廊下がなく、ベランダを廊下として使用しているベランダ形式校舎であり、教室間の段差によるバリアフリーの問題や便所の配置等、機能面におけるさまざまな課題がある。改築によらなければこれら課題を解消できないことから、改築整備を行い、学習環境の充実・改善を図る。

2. 内容

笹川中学校改築整備

・改築工事（平成27～29年度）

校舎改築 鉄筋コンクリート造4階建て 5,031 m²

普通教室15室、特別支援教室、少人数指導室3室、図書室、美術室、パソコン室、音楽室、理科室、多目的室、校長室、職員室、保健室、会議室等

技術教室改築 鉄骨造平屋建て 288 m²

グラウンド整備

全体事業費：1,641,800千円（平成27～29年度）

3. 予算額	203,200千円	（財源内訳）	国庫支出金	18,236千円
（前年度	47,700千円）		市債	125,000千円
			一般財源	59,964千円

4. 債務負担行為

笹川中学校改築整備事業

限度額 1,408,500千円（総事業費）1,607,000千円

期間 平成27年度から平成29年度

笹川中学校改築整備工事監理業務委託

限度額 30,100千円（総事業費）34,800千円

期間 平成27年度から平成29年度

担当 教育委員会 教育施設課
広瀬
354-8245

スポーツイベント実施事業

1. 目的

市内でトップアスリートを講師に招いたスポーツイベント等を実施して、スポーツに親しむ機会を提供するとともに、競技力向上に努める。

さらに、幅広い目的をもった参加者を対象とした四日市シティロードレース大会等を開催し、スポーツ振興や競技力の向上、参加者間の交流を図る。

2. 内容

(1) トップアスリートによるイベント等開催

トップアスリートによるスポーツ教室(2回程度)やプロ野球ウエスタンリーグ公式戦等の開催

(2) 市内でのスポーツイベント開催

シティロードレース大会、ウォーキング大会を行う

3. 予算額 5,500千円 (財源内訳) その他特財 5,500千円
(前年度 5,500千円)



担当 教育委員会 スポーツ課
上田

354 - 8429

中央緑地運動施設整備事業（国体関係）

1. 目的

平成 30 年度のインターハイ・平成 33 年度のみえ国体開催に向け、中央緑地公園運動施設に整備予定であるスポーツ施設（体育館、サッカー場）の設計を行う。

2. 内容

- ・中央緑地公園運動施設設計業務委託

中央緑地公園運動施設内の現在の野球場に体育館等を、水泳競技場周辺にサッカー場を整備するための設計を行う。

全体事業費： 192,000 千円（平成 27～28 年度）

3. 予算額 45,400 千円 （財源内訳）その他特財 11,300 千円
（前年度 0 千円） 一般財源 34,100 千円

4. 債務負担行為

中央緑地公園運動施設設計業務委託

限度額 140,200 千円 （総事業費）192,000 千円

期間 平成 27 年度から平成 28 年度

< 整備計画図 >



（中央緑地）

担当 教育委員会 スポーツ課
大本

354 - 8429

霞ヶ浦緑地運動施設整備事業（国体関係）

1. 目的

平成 30 年度のインターハイ・平成 33 年度のみえ国体開催に向け、霞ヶ浦緑地公園運動施設に整備予定であるスポーツ施設（テニスコート）の設計及び測量を行う。

2. 内容

- ・霞ヶ浦緑地公園運動施設測量業務委託及び設計業務委託

霞ヶ浦緑地公園運動施設内のオーストラリア記念館の跡地にテニスコートを整備するための測量及び設計を行う。

全体事業費：測量業務委託 9,000 千円（平成 26～27 年度）

設計業務委託 47,100 千円（平成 27～28 年度）

3. 予算額 21,600 千円（財源内訳）その他特財 5,400 千円
（前年度 0 千円） 一般財源 16,200 千円

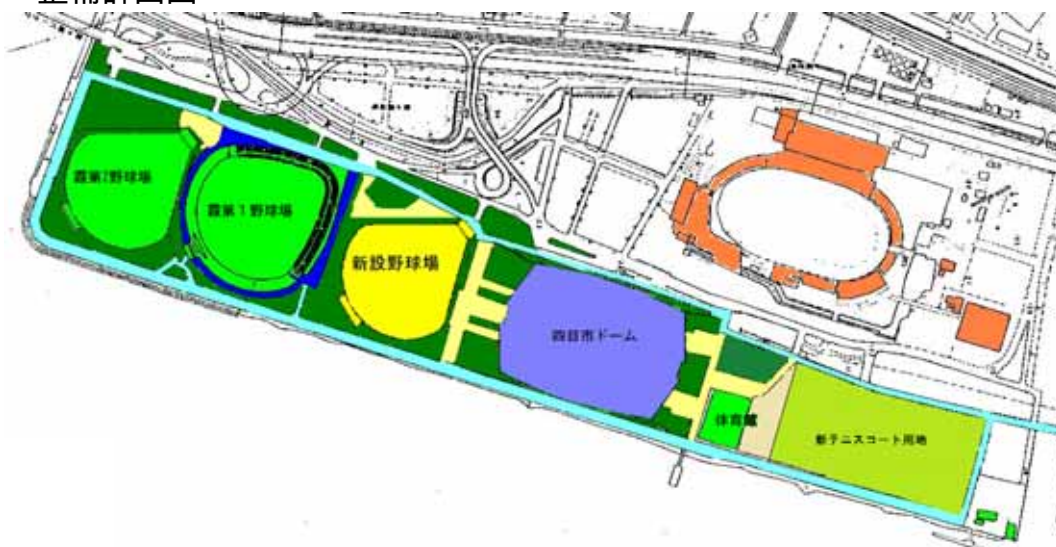
4. 債務負担行為

霞ヶ浦緑地公園運動施設設計業務委託

限度額 34,500 千円（総事業費）47,100 千円

期間 平成 27 年度から平成 28 年度

< 整備計画図 >



（霞ヶ浦緑地）

担当 教育委員会 スポーツ課
大本

354 - 8429

霞ヶ浦緑地運動施設整備事業(アセットマネジメント)

1. 目的

四日市市アセットマネジメント基本方針に基づき、第2次推進計画に位置づけた運動施設について、維持管理費の軽減や省エネルギー化を図りつつ、計画的な予防保全による長寿命化を進めることにより、長期的な経費の削減及び財政負担の平準化を図る。

2. 内容

長寿命化工事

霞ヶ浦第1野球場屋根(観覧席)改修工事

観覧席部分全面の防水改修

- ・超速硬化ウレタン防水処理 約1,723㎡
- ・既設ベンチ一時撤去及び復旧

3. 予算額 34,900千円 (財源内訳)一般財源 34,900千円
(前年度 0千円)

< 霞ヶ浦第1野球場観覧席 >



担当 教育委員会 スポーツ課
尾関

354 - 8428

スポーツ指導者資格取得助成金

1. 目的

平成30年のインターハイ・平成33年のみえ国体に向け、各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上並びに市民のスポーツ振興と競技力向上を目的に新たにスポーツ指導者の資格を取得する際に要する費用の一部を助成する。

2. 内容

公益財団法人日本体育協会及び公益財団法人日本障害者スポーツ協会が認定するスポーツ指導者の資格を取得するための受講料及び資料代の1/2（上限額1万円）を助成する。

3. 予算額 100千円 （財源内訳） 一般財源 100千円
（前年度 0千円）



担当 教育委員会 スポーツ課
上田

354 - 8429

生徒指導・教育相談事業
～ 途切れのない指導・支援事業～

1. 目的

不登校、いじめや暴力行為などへの対応の充実及びこれらの未然防止や早期発見・解決に向けた学校の教育相談機能・体制の充実を図るため、専門的な知識・経験を有する臨床心理士等の配置や派遣を行う。また、児童生徒が抱える家庭に起因する福祉的な課題について、学校や行政、地域や家庭と連携・仲介・調整を行いつつ解決を図るための社会福祉士等の派遣を行う。

2. 内容

(1) スクールカウンセラーの配置

スクールカウンセラー：臨床心理士等の専門的な立場からの児童生徒及び保護者へのカウンセリング、教職員への助言、専門機関との連携を図る。

市費の配置校：小学校 27 校（国・県費の配置校：小学校 11 校、中学校 22 校）

(2) ハートサポーターの派遣

ハートサポーター：小中学校から要請のある相談に、臨床心理士等を家庭や学校へ派遣して、児童生徒及び保護者に直接面接してカウンセリングを行う。

全小中学校を対象に年間 70 回派遣

(3) 【新】スクールソーシャルワーカーの派遣

スクールソーシャルワーカー：社会福祉士や精神保健福祉士等の福祉に関する専門的な資格を有する者を、家庭や学校、各関係機関に派遣し、学校や行政、地域や家庭と連携・仲介・調整を行いつつ解決を図る。

平成 27 年度から、全小中学校を対象に年間 20 回派遣

(4) 生徒指導上の対策支援

いじめや不登校等の未然防止、早期発見、早期対応のために、学級満足度調査を行う。また、児童虐待や緊急扶助、専門機関等からの助言等が必要な児童生徒がいる学校への支援を行う。

3. 予算額 30,461 千円 (財源内訳) 一般財源 30,461 千円
(前年度 30,320 千円)

担当 教育委員会 指導課
加藤

354 - 8256

特別支援教育・相談事業

～ 途切れのない指導・支援事業～

1. 目的

障害のある子どもや発達上課題のある子ども及び不登校等の子どもとその保護者や教職員への相談支援を行う。

また、特別な教育的支援が必要な子どもの就学相談、特別支援教育の体制整備や教職員研修を行い、乳幼児期から中学校卒業後までを見通した途切れのない支援の充実を図る。

2. 内容

(1) 不登校や障害等発達上課題のある子どもに対しては、教育・福祉・保健・医療等の関係機関と連携しながら教育相談を進める。

来所相談者への、相談員・臨床心理士によるカウンセリングや遊戯療法等の実施
臨床心理士及びスーパーバイザーによる巡回教育相談の実施

保健所、医療機関と連携した、こころの病気等への早期支援(YESnet等)の実施
「相談支援ファイル」の活用などによる、途切れのない指導・支援の推進

(2) 教育相談や特別支援教育の体制整備を図るとともに、教職員研修等を計画的に実施する。

特別支援教育推進に関する協議を行う特別支援教育推進協議会、就学に関する審議や協議を行う四日市市就学支援委員会、四日市市就学相談の在り方検討委員会の開催

地域特別支援教育コーディネーターや通級指導教室担当者等、特別支援教育推進の中心的役割を担う、専門的な知識・経験をもった指導者を育成するための研修の実施

3. 予算額 7,408千円 (財源内訳) 一般財源 7,408千円

(前年度 8,689千円)

担当 教育委員会 教育支援課

大原

354-8285

博物館特別展等開催費

1. 目的

平成 27 年度は「リニューアル - 再発見」をテーマに、日本の美や、郷土の先人、私たちの暮らしなど、世界的に有名なものから身近なものまでを取り上げ、より深く楽しめる内容の展覧会を開催して、新しい見方や知識と出会う場とする。

2. 内容

北斎とリヴィエール～富士山とエッフェル塔～（4/18～5/31：39 日間）

鎌井松石と本草学の世界（9/19～10/25：33 日間）

丹羽文雄の美術品～没後十年記念～（11/3～12/13：36 日間）

昭和の暮らし～北原照久コレクション～（1/5～2/28：48 日間）



北斎とリヴィエール



鎌井松石と本草学の世界



丹羽文雄の美術品



昭和の暮らし

展覧会の名称はすべて仮称

3. 予算額 35,099 千円
(前年度 10,351 千円)

(財源内訳) その他特財 12,980 千円
一般財源 22,119 千円

担当 教育委員会 博物館
廣瀬

355 - 2702

プラネタリウム投映事業

1. 目的

世界最多の1億4千万個の星、約9,500個の星の色を再現、8Kプロジェクターによる高画質映像など、リニューアルで導入した世界最高水準の技術により再現される宇宙空間を体感し、宇宙への興味・関心を高めていけるよう、地球環境や天文現象を取り上げた独自の番組などを投映する。

2. 内容

(1) 季節番組

一般番組

4～6月 「アース・メッセージ」オープニング番組

6～9月 「コズミックフロント」配給番組

9～12月 「スペースデブリ(仮)」自主制作番組

12～3月 「日食ツアー!(仮)」自主制作番組

3～6月 「赤い惑星 火星が接近!(仮)」自主制作番組

ファミリー番組

4～6月 「ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検2」配給番組

6～9月 「奇跡の地球のふしぎな森」配給番組

9～12月 「ポケットモンスターXY 宇宙の破片」配給番組

12～3月 「おじゃる丸 銀河がマロを呼んでいる」配給番組

3～6月 「ちびまる子ちゃん 星に願いを」配給番組

星空番組

通年 「スペース・ミュージアム(仮)」自主制作番組(5本)

学習番組

夏休み期間 「山崎直子宇宙飛行士のスペース・アカデミー」配給番組

(2) 学習投映・・・保育園、幼稚園、小学校、中学校などの団体向け投映

(3) 特別番組・・・宇宙塾(3回) ライブコンサート(1回) CDコンサート(1回)

3. 予算額 17,788千円 (財源内訳) その他特財 15,460千円
(前年度 3,308千円) 一般財源 2,328千円



担当 教育委員会 博物館
伊藤

355-2703

消 防 本 部

新年度予算における基本的な方針

安全で安心なまちづくりに向け、消防力の強化・消防救急体制の充実をはじめ、総合的な災害対応力の強化を図る。

このことから、災害時における初動体制の強化や消防救急体制の充実に向け、消防救急無線のデジタル化や新消防指令センターの整備を推進するとともに、本市の南部及び北部地域に新たな消防分署を設置するための整備や老朽化した消防車両の更新を行う。

また、救命率の向上を目指して、市立四日市病院に設置した救急ワークステーションでの研修を充実させるとともに、計画的な救急救命士の養成を行うなど、救急業務の高度化を推進する。

さらに、火災予防対策の強化や地域防災力の充実を図るため、石油コンビナート事業所等への立入検査や防火安全指導を強化するとともに、地域防災活動の中核となる消防団の施設、装備の充実や耐震性貯水槽の整備を行う。

1. 消防救急無線デジタル化及び新消防指令センターの整備について

平成 28 年 4 月の運用開始に向け、消防救急無線をデジタル化する。平成 26 年度に整備した共通波(全国の消防車と通信可能)に加え、平成 27 年度は活動波(各消防本部の専用波)の整備を行うとともに、中消防署中央分署に四日市市、桑名市及び菰野町の 3 消防本部による共同の新消防指令センターを設置する。

【主な事業】	消防救急無線共通波負担金	5,494千円
	新消防指令センター整備事業	1,286,642千円

2. 新消防分署の整備について

消防車及び救急車の現場到着時間の短縮を図るため、本市の南部及び北部地域に新消防分署を設置するため、平成 27 年度は(仮称)南部消防分署の用地取得、造成及び設計に取り組むとともに、北部地域における候補地選定等の基本調査を行う。

【主な事業】	新消防分署整備事業	142,554千円
--------	-----------	-----------

3. 消防団の施設、装備の充実について

地域防災活動における中核的な役割を果たす消防団員の安全を確保するため、「消防団の装備の基準」の改正に伴い、全消防団員に防塵メガネを配備するとともに、難燃性能を有した新基準の活動服に更新する。また、消防団の活

動拠点を整備するため、老朽化した消防分団車庫の改築等を行う。

- ・羽津分団車庫（設計、改築工事） ・神前分団車庫（設計、改築工事）
- ・日永分団車庫（設計）

【主な事業】	消防団員貸与被服費	17,000千円
	分団等整備事業	59,500千円

4. 庁舎整備事業(アセットマネジメント)について

四日市市アセットマネジメント基本方針に基づき、消防庁舎の計画的な予防保全による長寿命化及び長期的な経費の削減に取り組む。

(消防本部・中消防署、北消防署)

【主な事業】	庁舎整備事業(アセットマネジメント)	112,100千円
--------	--------------------	-----------

5. 消防車両の整備について

老朽化した消防車両(7台)を、更新計画に基づき最新型の消防車両に更新する。

- ・水槽付消防ポンプ自動車【北消防署】 ・消防ポンプ自動車【中消防署】
- ・高規格救急車【南消防署、中央分署】 ・広報車【北消防署】
- ・軽トラック【中消防署、南消防署】

【主な事業】	消防車両更新事業	119,654千円
--------	----------	-----------

6. 救急業務の高度化について

平成26年4月から市立四日市病院において本格稼働している救急ワークステーションでの研修を充実させるとともに、全ての救急車に救急救命士が1名以上乗車する体制を確立するため、4名の救急救命士を養成する。

【主な事業】	救急ワークステーション事業	708千円
	救急高度化事業(救急救命士養成事業)	10,371千円

7. 火災予防対策について

火災予防対策の強化に向け、コンビナート事業所や防火対象物等への立入検査や防火安全指導を強化するとともに、市民の防火意識の高揚を図るため、火災予防運動などの啓発活動を実施する。

【主な事業】	火災予防関係事業活動費	1,733千円
--------	-------------	---------

8. 耐震性貯水槽の整備について

大規模災害時における消防水利を確保するため、地下式耐震性貯水槽(容量60トン)を2箇所(生桑町、ときわ五丁目)整備する。

【主な事業】	耐震性貯水槽整備事業	22,950千円
--------	------------	----------

消防救急無線デジタル化及び新消防指令センター整備事業

1. 目的

平成 28 年 4 月の運用開始を目指して、消防救急無線をアナログ方式からデジタル方式へ切り替えるための整備を行うとともに、併せて四日市市、桑名市及び菰野町の 3 消防本部による新消防指令センターの整備を行う。



(四日市・桑名消防指令センター)

2. 内容

(1) 新消防指令センター（活動波基地局及び指令システム）整備【共同整備】

消防救急無線デジタル活動波基地局、新消防指令システム及び消防情報支援システムを整備する。(平成 26～27 年度継続事業)

新消防指令センター（活動波基地局及び指令システム）整備工事

1,047,600 千円 (総事業費: 1,047,600 千円)

平成 26 年度: 0 千円、平成 27 年度: 1,047,600 千円

工事監理業務委託

6,300 千円 (総事業費: 8,100 千円)

平成 26 年度: 1,800 千円、平成 27 年度: 6,300 千円

(2) 新消防指令センター（中央分署改修）整備【共同整備】

新消防指令システムの整備に併せ、中消防署中央分署の 3 階部分を新消防指令センターとして整備するため、改修工事、備品購入等を行う。

72,400 千円

(3) 活動波移動局整備【単独整備】

新消防救急無線のデジタル化における活動波整備として、移動局となる車載無線機及び携帯無線機等の整備を行う。

160,342 千円

【整備スケジュール】

事業区分	H26 年度	H27 年度	H28 年度
(1) 活動波基地局及び指令システム整備		10月～ 本体工事、工事監理	本運用
(2) 中央分署改修等の整備		5月～ 改修工事、備品購入	
(3) 活動波移動局整備		6月～ 備品購入	
既存システム			撤去

3. 予算額

1,286,642 千円	(財源内訳) 市債	550,700 千円
(前年度 2,200 千円)	その他特財	710,647 千円
	一般財源	25,295 千円

担当	消防本部 総務課
行方	
TEL	356-2002

新消防分署整備事業

1. 目的

消防車及び救急車の現場到着時間の短縮に向け、本市の南部及び北部地域に新消防分署を設置する。

2. 内容

(1) 事業概要

(仮称)南部消防分署の用地取得、造成工事及び庁舎等の実施設計を行うとともに、北部地域における候補地等の基本調査を行う。

(2) 整備スケジュール

施設	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
(仮称)南部消防分署	基本調査 候補地選定	用地取得 造成工事・設計	建築工事	開署	
(仮称)北部消防分署		基本調査 候補地選定	用地取得 造成工事・設計	建築工事	開署

(3)(仮称)南部消防分署について

ア 整備場所 四日市市大字泊村字西奥 4 1 8 4 番地の一部

イ 敷地面積 約 1,700 m²



(仮称)南部消防分署の概要

- ・ 建物構造：鉄骨造 2 階建
- ・ 建物面積：延べ約 500 m²
- ・ 建物用途：事務所、会議室、仮眠室、車庫など
- ・ 配置車両：消防車 1 台
救急車 1 台

ウ 事業費

土地購入費 (約 1,700 m ²)	76,500 千円
土地造成設計業務委託及び造成工事費等	44,254 千円
庁舎等実施設計業務委託費	19,800 千円

(4)(仮称)北部消防分署について

ア 候補地選定等の基本調査費 2,000 千円

3. 予算額 142,554 千円 (財源内訳) 市債 103,900 千円
一般財源 38,654 千円
 (前年度 2,000 千円)

担当	消防本部 総務課
行方	
TEL	356-2002

分団等整備事業

1. 目的

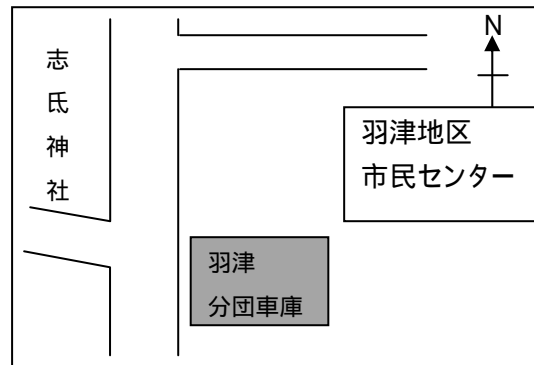
地域の消防防災活動拠点である消防分団車庫のうち、経年により老朽化の著しい消防分団車庫について整備を行う。

2. 内容

(1) 新築・改良工事

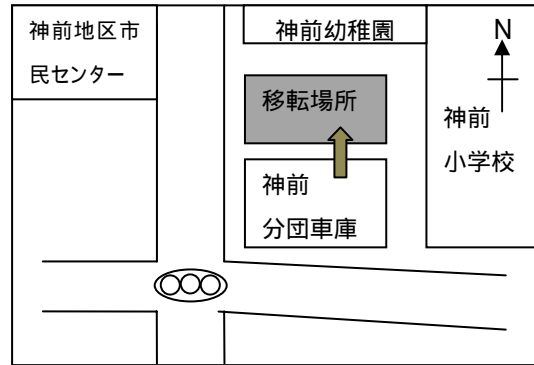
羽津分団車庫

昭和 53 年度に建築、築後 36 年が経過し、老朽化が進んでいることから、現在の車庫を解体撤去し、同場所において改築工事を行う。



神前分団車庫

昭和 54 年度に建築、築後 35 年が経過し、老朽化が進むとともに、隣接する交差点の安全対策のため、現在の車庫の北側に移転し、改築工事を行う。



(2) 設計業務委託

日永分団車庫

昭和 54 年度に建築、築後 35 年が経過し、老朽化が進んでいることから、改修等に向けた設計を行う。

3. 予算額 59,500 千円
(前年度 11,400 千円)

(財源内訳) 一般財源 59,500 千円

担当 消防本部 総務課
江 藤
356 - 2003

庁舎整備事業（アセットマネジメント）

1. 目的

四日市市アセットマネジメント基本方針に基づき、第2次推進計画に位置づけた消防庁舎について、維持管理費の軽減や省エネルギー化を図りつつ、計画的な予防保全による長寿命化を進めることにより、長期的な経費の削減及び財政負担の平準化を実施する。

2. 内容

長寿命化工事

工事名	工事(設備更新)内容	事業費 (単位：千円)
消防本部・中消防署 空調設備及び換気設備更新工事	<ul style="list-style-type: none"> ・エアハンドリングユニット （大型空気調和機） ・ファンコイルユニット （空気調和機） ・全熱交換機 	49,100
北消防署 空調設備更新工事	<ul style="list-style-type: none"> ・冷温水発生機 ・ファンコイルユニット （空気調和機） ・全熱交換機 	63,000



消防本部・中消防署エアハンドリングユニット



北消防署冷温水発生機

3. 予算額

(前年度

112,100千円
23,400千円)

(財源内訳) 一般財源 112,100千円

担当 消防本部 総務課
江 藤

356-2003

消防車両整備事業

1. 目的

「安全で安心なまちづくり」に向けて、火災・救助・救急等の各種災害に迅速かつ的確に対応できるよう車両更新計画に基づき、車両更新を行う。

2. 内容

水槽付消防ポンプ自動車【北消防署】

平成 15 年度に配備し 12 年目を迎え、老朽化により更新する。

水槽（容量 2,000 リットル）及び消火泡圧縮吐出装置（C A F S 装置）を装備し、消火能力の向上を図る。



水槽付消防ポンプ自動車

消防ポンプ自動車【中消防署】

平成 15 年度に配備し 12 年目を迎え、老朽化により更新する。

小型水槽（容量 700 リットル程度）を装備し、機動力の向上を図る。



消防ポンプ自動車

高規格救急自動車【南消防署】【中央分署】

平成 20 年度に配備し 7 年目を迎え、老朽化により更新する。

高度救命用資機材を積載し、救命率の向上を図る。



高規格救急自動車

広報車【北消防署】

平成 11 年度に配備し 16 年目を迎え、老朽化により更新する。



広報車

軽トラック【中消防署、南消防署】

平成 13 年度に配備し 14 年目を迎え、老朽化により更新する。

3. 予算額	119,654千円	(財源内訳)	県支出金	86,200千円
(前年度)	71,200千円)		一般財源	33,454千円

担当 消防本部 総務課
江 藤
TEL 356-2003

上 下 水 道 局

新年度予算における基本的な方針

水道及び下水道は、市民生活に直結する重要なライフラインであり、市民に信頼される上下水道事業を目指し、計画的に施設整備・更新等を進めるとともに適正な維持管理に努める。

水道事業は、節水型社会への移行による影響等から水需要の減少が見込まれる状況の中、経営の一層の効率化を図りながら、「安全・安定給水」をより確実なものにするため、第2期水道施設整備計画に基づき事業を進めるとともに、鉛給水管の解消等に努める。

生活排水対策事業では、「水洗化による生活環境の向上」及び「川や海などの公共水域の水質保全」を全市的に進めるため、四日市市生活排水処理施設整備計画に基づき、公共下水道污水対策事業及び農業集落排水事業の推進とそれぞれの施設の適正な維持管理に努めるとともに、合併処理浄化槽の普及と適正維持管理の促進を図る。

さらに、「雨に強いまちづくり」を進めるため、総合的な治水対策の一環として、公共下水道雨水対策事業を行う。

水 道 事 業

1．安全・安定給水について

将来にわたって安全安心な良質の水道水を安定して供給していくため、第2期水道施設整備計画に基づき、基幹管路や配水池等基幹施設の耐震化事業や経年管及び施設の更新事業を推進する。

【主な事業】	第2期水道施設整備事業	1,799,268千円
	高度浄水処理施設整備事業	
	基幹施設耐震化事業	
	(導送水管・配水本管布設替、配水池更新)	
	経年管布設替事業	
	経年施設更新事業	

2．鉛管対策について

水質の一層の安全性を確保するため、鉛給水管の取替工事を進め平成27年度に事業完了を図る。

【主な事業】	鉛給水管布設替事業	110,000千円
--------	-----------	-----------

下水道事業

1. 汚水対策事業について

日永浄化センター第4系統の建設を進め、平成27年度中に供用開始するとともに、四日市市生活排水処理施設整備計画に基づき事業を進める。

【主な事業】	公共下水道事業	2,994,000 千円
	日永浄化センター第4系統建設工事	
	小古曾汚水1号幹線管渠布設工事	

2. 雨水対策事業について

浸水区域の解消を図るため、都市型水害対策を推進する。

【主な事業】	公共下水道事業	2,692,000 千円
	新南五味塚ポンプ場下部土木工事（躯体工）放流渠工事	
	吉崎ポンプ場下部土木工事（躯体工）放流渠工事	
	朝日町ポンプ場・新富洲原ポンプ場設備更新工事	
	都市下水路事業	65,000 千円
	朝明ポンプ場ポンプ設備更新工事	

3. 下水道施設の維持管理について

浄化センター、ポンプ場については、適切な維持管理を行い、機能を最大限に発揮させてより効率的な運転に努めるとともに、施設の耐震対策にも取り組む。

管路施設については、計画的な管路調査や清掃を適宜実施するとともに、重要幹線の耐震対策にも取り組む。

農業集落排水事業

農村集落の生活環境向上と公共用水域の水質保全を図るため、水沢東部地区及び和無田地区で平成27年度中に供用開始するとともに、施設の適切な維持管理を行う。

【主な事業】	和無田地区処理場内施設整備工事	20,000 千円
	施設維持管理（供用12地区）	144,112 千円

コミュニティ・プラント事業

生活環境向上と公共用水域の水質保全を図るため、施設の適切な維持管理を行う。

【主な事業】 施設維持管理（供用2地区） 51,607 千円

合併処理浄化槽事業

公共下水道等が整備されていない地域での生活排水対策として、個人が合併処理浄化槽を設置した場合に補助金を交付する。また、合併処理浄化槽を適正に管理し、法定検査に合格した場合に補助金を交付する。

【主な事業】 合併浄化槽整備促進事業 82,530 千円
合併浄化槽水質浄化促進事業 52,100 千円

(新)高度浄水処理施設整備事業

1. 目的

朝明水源系の水源の確保及びより一層安全で安心な水道水の供給を行うため、朝明水源地に除マンガン処理施設を導入する。

2. 内容

平成30年度の施設稼働を目指し、除マンガン処理施設の設計業務委託を行う。

(効果)

朝明水源系についてはマンガンの含有率が高いため、処理施設導入により将来に向けて安定的な水源の確保を図るとともに、現在休止している朝明4号井からの取水が可能となる。

内 容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
朝明水源地 除マンガン処理施設築造	詳細設計	(築造工事)		稼働
	→			

3. 予算額 31,000千円 (財源内訳) 企業債 9,000千円
 (前年度 0千円) 自己財源 22,000千円



参考 萩市 除マンガン処理施設

担当 上下水道局経営企画課
川島
354 - 8369

水道基幹施設耐震化事業

1. 目的

大規模地震に備え、断水等の被害を最小限に抑えて非常時における市民生活への影響を低減するため、主要施設の耐震化を図る。

2. 内容

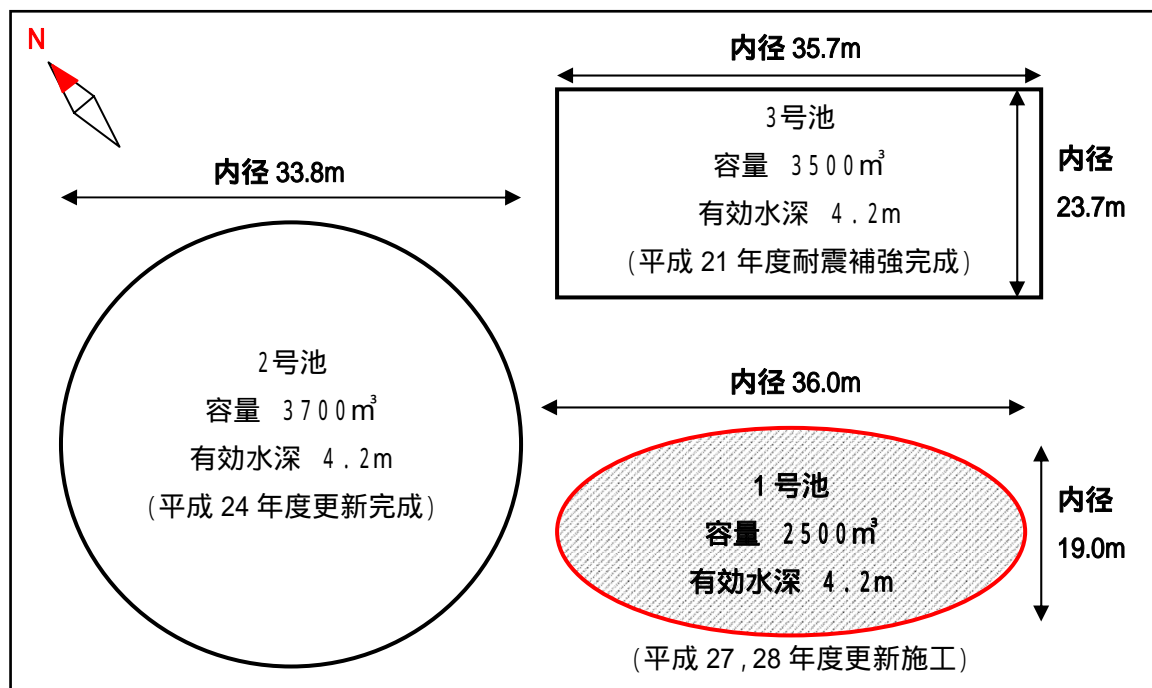
基幹管路及び基幹施設の耐震化工事を行う。

基幹管路耐震化工事 300～600 L=3,300m

配水池更新工事 山ノ手配水池（1号池）

3. 予算額 657,000千円（財源内訳）企業債 197,000千円
（前年度 430,000千円） 自己財源 460,000千円

山ノ手配水池 施設配置図



担当 上下水道局経営企画課
川島
354 - 8369

公共下水道汚水対策事業

1. 目的

生活環境の向上及び川や海などの公共用水域の水質保全を図るために、公共下水道（汚水）施設を計画的に整備する。

2. 内容

管渠整備 小古曾汚水1号幹線の幹線管渠整備を進めるとともに、各地区において管渠整備（面整備）を進める。

処理場 日永浄化センター第4系統建設工事を進める。

（平成27年度中供用開始）

日永浄化センター第4系統（第1期） 諸元表

処理方式	凝集剤併用型ステップ流入式多段硝化脱窒法 + 急速ろ過法
処理能力	15,000 m ³ /日 （第4系統全体計画 60,000 m ³ /日）
計画処理人口	26,600人 （第4系統全体計画 109,590人）
計画放流水質	BOD 15 mg/ , 窒素 10 mg/ , リン 1.0 mg/

3. 予算額 2,994,000千円（財源内訳） 国庫補助金 731,353千円
（前年度 5,165,000千円） 企業債 1,991,100千円
自己財源 271,547千円



（第1期）

日永浄化センター第4系統（全体完成予定）

イメージ鳥瞰図

担当 上下水道局経営企画課
川島
354 - 8369

公共下水道雨水対策事業

1. 目的

市街化区域の浸水被害の防除を図り雨に強いまちづくりを進める。

2. 内容

- ・新南五味塚ポンプ場 下部土木工事（躯体工）放流きょ工事
- ・吉崎ポンプ場 下部土木工事（躯体工）放流きょ工事
- ・朝日町ポンプ場 設備更新工事
- ・新富洲原ポンプ場 設備更新工事 等

3. 予算額	2,692,000千円（財源内訳）	国庫補助金	1,182,877千円
	（前年度 2,643,000千円）	企業債	1,360,800千円
		自己財源	148,323千円



吉崎ポンプ場完成イメージ鳥瞰図



新南五味塚ポンプ場完成イメージ鳥瞰図

担当 上下水道局経営企画課

川島

354 - 8369

市立四日市病院

新年度予算における基本的な方針

急性期医療を担う北勢地域の中核病院として、市民、患者に信頼される病院であり続けるため「第二次市立四日市病院中期経営計画」(平成25～29年度)に基づき、診療機能の充実と安定的な経営体制の確立を図りながら、良質な医療の提供や地域医療を推進していく。

当院は、平成25年度に新病棟の増築・既設改修工事を終え、昨年末に電子カルテをはじめとする総合医療情報システムの更新も終えた。さらに新年度においては、今後増加が予想されるがん治療について、最新医療水準に見合う集学的治療が可能となる高精度放射線治療棟の増築工事に着手するとともに、患者に安全、安心で高度な医療を提供するため、循環器対応バイプレーンシステムなどの更新を含めた整備を行い、さらなる医療機能の向上を図る。

また、引き続き医師、看護師、薬剤師等の医療従事者確保に努めるとともに、チーム医療の推進、地域の医療機関との連携強化を行うなど、診療機能の充実と良質な医療の提供に重点的に取り組む。

1. 高精度放射線治療棟整備事業について

がん治療における放射線治療の近年著しい治療技術の進歩に対応した高精度放射線治療装置の導入を図るため、高精度放射線治療棟を整備するとともに救急医療の充実、強化のため、2階部分に救急病棟の整備を実施する。

【主な事業】 高精度放射線治療棟整備事業 予算額 515,275 千円

(内訳) 増築工事 500,000 千円
 監理委託料 15,000 千円
 各種申請手数料 275 千円

2. 医療機器等整備事業について

患者に安全、安心で高度な医療を提供するため、既存機器の更新を含め、循環器対応バイプレーンシステムや手術用顕微鏡、ミニCアームX線診断装置など医療機器等の整備を図る。

【主な事業】 循環器対応バイプレーンシステム、手術用顕微鏡、ミニCアームX線診断装置ほか購入

予算額 500,000 千円

高精度放射線治療棟整備事業

1. 目的

がん治療の大きな柱である放射線治療については、近年の著しい治療技術の進歩に対応した放射線治療装置の導入が望まれており、日本でも放射線治療と化学療法との比率が高まることが予測されるため、高精度放射線治療棟を整備する。

また、救命救急センターの機能の充実、強化をはかるため、2階部分に救急病棟を整備する。

平成 26 年度に実施設計、27 年度に工事着手、28 年度には高精度放射線治療機器を導入し、完了する。

2. 内容

高精度放射線治療棟増築、治療機器の導入

3. 予算額 515,275千円 (財源内訳) 企業債 500,000千円
(前年度 30,000千円) 自己財源 15,275千円

整備予定位置図

予定位置



1階平面計画の概要



2階平面計画の概要



担当 市立四日市病院施設課
小林
354-1111

平成27年度防災・減災事業（地震分）について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	27年度 予算額	事業概要
一般会計	総務費	総務管理費	危機管理室	自主防災組織活性化事業	28,900	自主防災組織の結成及び防災活動に対する補助
				防災減災人材養成事業	11,107	防災大学(女性向け含む)や防災大学修了生向け、家族向け講座の開催による人材育成等
				総合防災拠点整備事業	12,700	災害対策本部との連携や救援物資の受入れ、受援の拠点、応急仮設住宅用地として長期間占有可能な総合防災拠点の整備に向けた調査・測量等
				防災倉庫整備事業	51,300	災害時に指定避難所へ迅速に救援物資を配送するための拠点となる防災倉庫の整備
				避難施設等整備事業	36,800	磯津公会所を津波避難施設として活用とするための附帯施設を整備 長期の避難所生活に備える防災井戸の整備やマンホールトイレの配備
				防災システム整備事業	231,753	防災行政無線(固定系)の整備や危機管理センター防災システムの改修
				住宅等耐震化促進事業	127,996	木造住宅の耐震診断、補強計画策定及び耐震補強工事等に対する補助 耐震シェルター設置に対する補助
				防災倉庫管理事業	10,319	指定避難所併設の防災倉庫における食料等の備蓄
			管財課	非常用電源等対策事業	244,130	津波被害を避けるため、市庁舎及び総合会館の非常用電源等について移設・増設を実施
				市庁舎等整備事業	35,200	総合会館ビロティの吊天井崩落対策工事及び市庁舎の吊天井崩落対策工事(設計)
			文化振興課	文化会館等施設整備事業	17,600	文化会館第1ホールの吊天井崩落対策工事基本設計
	土木費	道路橋梁費	道路整備課	防災・安全社会資本整備交付金事業 (橋梁長寿命化関係)	358,200	塩浜跨線橋耐震工事、三郎橋跨線橋耐震工事、新大正橋耐震工事等
		都市計画費	都市計画課	近鉄四日市駅等耐震化促進事業	181,366	鉄道事業者が行う駅等の耐震化事業に対し、国・県とともに協調補助を実施 近鉄四日市駅 101柱 近鉄名古屋線高架橋 13本
住宅費		市営住宅課	曙町市営住宅建設事業	612,705	建替えによる市営住宅の耐震化	
消防費	消防費	消防救急課	消防水利整備事業	22,950	耐震性貯水槽の整備(2ヶ所)	

平成27年度防災・減災事業（地震分）について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	27年度 予算額	事業概要
一般会計	教育費	小学校費	教育施設課	窓ガラス飛散防止事業	36,900	窓ガラス飛散防止フィルム貼り工事
				屋内運動場等吊天井崩落対策事業	47,600	屋内運動場等の吊天井崩落対策工事
				災害用汚水槽整備事業	11,100	公共下水道接続工事に伴い、不要となる浄化槽を災害時に使用できる便槽として整備
		中学校費		屋内運動場等吊天井崩落対策事業	64,200	屋内運動場等の吊天井崩落対策工事
				災害用汚水槽整備事業	600	公共下水道接続工事に伴い、不要となる浄化槽を災害時に使用できる便槽として整備
		社会教育費		社会教育課	埋蔵文化財保護事業	7,300
一般会計小計					2,150,726	
競輪事業特別会計	総務費	総務管理費	けいりん事業課	競輪場施設整備事業	15,895	四日市競輪場のメインスタンドの耐震化工事に向けて補強計画及び実施設計を作成
特別会計小計					15,895	
企業会計			上下水道局	水道基幹施設耐震化事業	657,000	基幹水道施設(配水管、配水池等)の耐震化
				下水道施設地震災害対策事業	442,000	雨水幹線、汚水管渠、ポンプ場、処理場の耐震化
			市立四日市病院	医療消耗備品費	34,679	入院患者用ベットサイドテーブル(ストッパー付)購入 (494台)
企業会計小計					1,133,679	
合計					3,300,300	

平成27年度 防災・減災事業（地震以外分）について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	27年度 予算	事業概要
一般会計	総務費	総務管理費	危機管理室	防災会議委員報酬	64	防災会議の委員報酬
				国民保護協議会委員報酬	32	国民保護協議会の委員報酬
				防災システム事業	30,630	防災機器の維持管理、災害情報の提供等
				防災対策事業	9,117	防災啓発、防災訓練等
				地域防災計画推進事業	135	地域防災計画の推進に係る委員報酬
			市民生活課	楠防災会館管理運営費	849	楠防災会館の管理運営
				楠避難会館管理運営費	835	楠避難会館の管理運営
	農林水産業費	農地費	農水振興課	土地改良施設維持管理適正化事業	4,535	機能診断に基づき、楠町内南・北排水機場の修繕整備を実施
				井堰、樋門維持管理費	382	井堰、樋門の維持管理を地元の施設利用者へ委託
				南・北排水機場維持管理事業	13,651	楠町内南・北排水機場の維持管理
		水産業費		海岸保全事業	170,000	老朽化等により機能低下している磯津漁港の海岸堤防の防災機能の向上を図る
	土木費	河川費	河川排水課	準用河川改修事業	295,000	米洗川、朝明新川、源の堀川の3河川に事業を集中し、効果的に治水安全度の向上を図る
				治水度ジャンプアップ事業	5,000	溜池への洪水調整機能の付加増強により、大矢知新川流域の治水安全度の向上を図る
				普通河川三鈴川河川改良事業	20,000	三鈴川の護岸を改良し、治水安全度の向上を図る
				平津川河川改良事業	30,000	平津川の河川断面の拡大整備により、流下能力の向上をさせ、治水安全度の向上を図る

平成27年度 防災・減災事業（地震以外分）について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	27年度 予算	事業概要
一般会計	土木費	河川費	河川排水課	河川等改良事業	170,000	河川改良事業、排水路改良事業
	消防費	消防費	総務課(消防)	分団等整備事業	59,500	消防分団車庫の老朽化に伴う改修等
				新消防分署整備事業	142,554	(仮称)南部消防分署の用地購入及び造成工事等、北部地域の基本調査
				消防車両購入費	119,654	水槽付消防ポンプ自動車、消防ポンプ自動車、高規格救急自動車2台、広報車、軽トラック2台の整備
				消防活動用機器整備費	5,393	消防用ホース、化学防護服、水難救助資機材等の整備
			危機管理室	水防事業	1,532	既設水防倉庫の維持管理等
一般会計小計					1,078,863	
企業会計			上下水道局	公共下水道雨水対策事業	2,430,333	ポンプ場建設等
企業会計小計					2,430,333	
合計					3,509,196	

平成27年度 子育て関係事業について

一般事業

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	27年度 予算	事業概要	
一般会計	民生費	社会福祉費	こども 保健福祉課	子ども医療費	735,200	通院分の医療費助成の範囲を小学生から中学生までに拡充(27年9月診療より)	
				一人親家庭等医療費	122,100	ひとり親家庭等の保護者及び18歳以後最初の3月31日までの児童に対する医療費助成	
				不妊治療費	44,250	不妊治療に係る医療費の一部補助	
				不育症治療費	500	不育症治療に係る保険適用外医療費の全部または一部補助	
				ひとり親家庭等日常生活支援事業	1,854	ひとり親及び寡婦家庭が、一時的に日常生活に支障が生じている場合に、生活支援を行うために家庭生活支援員を派遣	
				母子家庭自立支援給付金事業	20,324	母子家庭の母及び父子家庭の父が適職に就くために必要な技能や資格を取得するための教育訓練講座費用の一部補助	
		児童福祉費	こども 未来課	こども 保健福祉課	病児・病後児保育事業	18,424	病気療養中または回復期の児童を預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援
					ファミリー・サポート・センター事業	11,502	子育てを地域で支援するため、育児の援助を受けたい者と提供できる者からなる相互援助活動
					子ども・子育て支援事業計画推進事業	479	子ども・子育て関連法に基づく「四日市市子ども・子育て支援事業計画(H27～H31)」の推進
					子育て支援センター管理運営費	11,351	橋北・塩浜子育て支援センターの管理運営
					子育て支援センター事業	1,371	公立子育て支援センターでの育児相談や子育て講座など、子育て支援事業の実施
					父親の子育てマイスター事業	2,199	子育て世代の男性を対象に講座を開催し、修了者を「父親の子育てマイスター」に認定するとともに、父親の子育て相談事業等を実施し、男性の子育て参画を促進
					学童保育事業	285,767	運営委員会が設置・運営する学童保育所の運営等に対する補助等
	地域子育て支援拠点事業費補助金				48,413	民間の子育て支援センターで行う子育て支援事業に対する補助金	
	児童館管理運営費				10,878	市内4か所の児童館の管理運営	
	児童館自主事業				1,819	児童館の主催事業や移動児童館などの実施	
	こども 保健福祉課		こども 保健福祉課	児童発達相談経費	3,402	発達に課題のある児童の支援業務に伴う経費	
				児童虐待防止対策事業	2,040	児童虐待の早期発見、早期対応、未然防止に向けて虐待防止ネットワーク事業を実施。また、養育支援が必要な家庭に対する家庭訪問支援の実施	

平成27年度 子育て関係事業について

一般事業

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	27年度 予算	事業概要		
一般会計	民生費	児童福祉費	こども 保健福祉課	プロジェクトU-8事業	2,736	発達障害等の幼児・小学校低学年児童(4歳～8歳)とその保護者への早期支援体制を構築し、幼児期からの途切れのない支援を実施		
				園巡回発達相談事業	2,277	保育園・幼稚園等に巡回支援員を派遣し、障害のある子どもや、発達上の課題のある子どもとその保護者・担任・関係各課等との相談や、指導、助言等を実施		
				母子・父子福祉センター管理運営費	4,696	ひとり親家庭及び寡婦の生活の安定と自立を促進する施設である母子・父子福祉センターの管理運営		
				障害児通所事業	388,813	通所利用の障害児へ、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応、生活能力の向上のための訓練等を実施する事業所に対し、その費用を支弁		
				児童手当	5,423,700	中学校終了までの児童を養育している保護者に対する手当の支給		
				児童扶養手当	1,043,700	母子・父子家庭等の18歳以後最初の3月31日までの児童を対象に支給		
				子育て世帯臨時特例給付金給付事業	123,900	平成27年6月分の児童手当受給者に対する臨時特例的な給付。(特例給付受給者は対象外)		
				母子生活支援施設事業	32,600	母子の自立促進を図るため、配偶者のない女子及びその児童を母子生活支援施設に措置し、その費用を支弁		
				子育て支援ショートステイ事業	984	保護者が疾病や出産などで児童の養育が困難になった場合に、一時的に児童養護施設や母子生活支援施設などで必要な保護を実施		
				第二種助産施設事務費事業費	4,300	入院・助産を必要とする妊産婦を経済的理由により助産施設に措置し、その費用を支弁		
			保育 幼稚園課	子育て支援事業補助金	1,080	地域住民が実施する未就園児の子育て支援事業に対する補助金(下野、富洲原地区)		
				幼稚園事務費事業費	21,776	新制度に移行した私立幼稚園へ、園児が教育を受けるために必要な費用を支給		
				私立幼稚園就園奨励費補助金	335,300	世帯の所得状況に応じて行う、私立幼稚園児の保護者に対する補助金		
				私立幼稚園第3子以降保育料補助金	14,200	小学校6年生から数えて、第3子以降に該当する私立幼稚園児の保護者に対する補助金		
				私立幼稚園保育料補助金	24,500	私立幼稚園児の保護者に対する補助金(年額8,700円)		
				私立幼稚園一時預かり事業費補助金	1,342	新制度に移行した私立保育園が実施する在園児の一時預かり事業に対する補助金		
			衛生費	保健衛生費	こども 保健福祉課	妊産婦乳幼児健康診査事業	333,890	疾病等を早期に発見し、適切な支援につなげるため、妊婦及び4か月、10か月、1歳半、3歳児を対象に健康診査を実施
						妊産婦乳幼児保健指導事業	3,985	育児学級、育児相談、訪問指導等を実施することにより、乳幼児の健全な発育を支援

平成27年度 子育て関係事業について

一般事業

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	27年度 予算	事業概要	
一般会計	衛生費	保健衛生費	こども 保健福祉課	こんにちは赤ちゃん訪問事業	9,068	子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行うため、生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問	
	土木費	住宅費	都市計画課	郊外住宅団地(モデル団地)子育て世帯 住み替え支援事業	10,820	子どもを持つ市外在住者が、郊外住宅団地の中古住宅(空き家)を購入する際のリフォーム補助、あるいは、借家する際の家賃補助を実施	
	教育費	教育総務費	保育 幼稚園課	園づくり支援事業	3,628	公立幼稚園の園づくりの推進及び、未就園児対象の園開放や保護者への子育て相談等を実施	
			教育支援課	特別支援教育・相談事業	7,408	障害のある子どもや発達上の課題のある子ども及び不登校の子どもとその保護者や教師への教育相談を実施。また、就学相談を巡回教育相談に位置づけて実施	
				適応指導教室事業	6,710	適応指導教室に通う不登校児童・生徒の集団生活への適応等のための支援並びに相談を行い、児童・生徒の学校復帰や社会的自立を支援	
				不登校児童生徒支援ボランティア事業	454	不登校児童生徒に対し、大学生のボランティア等が家庭訪問等を実施	
	教育費	社会教育課	社会教育課	子どもの読書活動推進事業	16	絵本に触れ合える環境をつくる機会として「本のあるまち」において、「絵本の読み聞かせ会」等を開催	
			図書館	子どもの読書活動推進事業	101	子どもにとって本が身近となるための環境整備の推進	
		社会教育費	青少年 育成室	親と子どもの豊かな育ち事業	3,073	子どもの生活リズムの向上を目指した取組、有害情報等から子どもを守る取組、「家庭の日」の啓発活動を推進し、家庭教育を支援	
				青少年相談員研修	312	青少年相談員の相談活動が充実するための研修会を開催	
				青年リーダー研修	449	子ども会活動・地域活動にかかわる中高生リーダーの養成講習会を開催	
				子ども広場整備費補助金	4,187	自治会等が設置・管理する子ども広場の整備に対する補助金	
	子どもと若者の居場所づくり事業	3,635	青少年健全育成と非行防止を更に進めるために、主に中高生を対象とした居場所づくり事業を推進				
	一般会計小計					9,135,513	
	国民健康保険特別会計	保険給付費	出産育児諸費	保険年金課	出産育児一時金	136,920	被保険者が出産した際の、出産前後の諸費用と家計負担の軽減のための補助金
特別会計小計					136,920		
合計					9,272,433		

平成 2 7 年 度 子 育 て 関 係 事 業 に つ い て

保育所関係事業

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	27年度 予算	事業概要
一般会計	民生費	児童福祉費	保育 幼稚園課	保育所事務費事業費(児童一般分)	2,626,000	民間保育所へ園児が保育を受けるために必要な費用を支給
				保育所事務費事業費(市単民間施設加算)	164,385	3歳未満児の保育機能強化のため、児童数に応じて必要な費用を加算して支給
				地域型保育事業	80,896	0～2歳児を対象とした小規模保育を実施する事業者へ、園児が保育を受けるために必要な費用を支給
				民間保育所運営費補助金	44,000	正規職員の給与改善及び研修経費に対する補助金
				民間保育所園児健康診断料等補助金	12,878	園児の健康診断費用に対する補助金
				民間保育所障害児保育事業補助金	1,956	特別支援保育の担当保育士の配置等に対する補助金
				民間保育所乳児保育促進事業費補助金	20,300	年度内の乳児数の変動に対応するため、乳児担当保育士を確保するための補助金
				民間保育所延長保育事業費補助金	36,278	開所時間を超え、延長して保育を実施する民間保育所に対する補助金 実施園 私立 23園
				民間保育所一時保育事業費補助金	18,300	保護者のパート就労や疾病等に対応するため、一時保育を実施する民間保育所に対する補助金 実施園 私立 13園
				民間保育所休日保育事業費補助金	6,000	日曜、祝日に働く保護者のために保育を実施する民間保育所に対する補助金 実施園 私立 2園
				家庭支援推進保育事業費補助金	2,442	家庭環境に特に配慮が必要な児童に関与する担当保育士の配置等に関する補助金
				民間保育所地域活動事業費補助金	4,200	地域の実情に応じた保育事業に対する補助金
				認可外保育所受入支援事業費補助金	1,132	待機児童の受入れや夜間保育を実施している認可外保育施設及び利用者に対する補助金
				認可外保育施設職員健康診断料補助金	205	認可外保育施設の職員の健康診断費用に対する補助金
一般会計小計				3,018,972		
総計				12,291,405		

平成27年度 環境関連施策について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	27年度 予算	事業概要
一般会計	総務費	総務管理費	管財課	LED化推進事業	36,200	市庁舎に設置している照明器具のLED化(1階～5階)
			市民生活課	防犯外灯LED新設補助金	49,736	自治会が管理する防犯外灯のLED灯設置に対する補助金
	衛生費	保健衛生費	環境保全課	環境学習推進事業	37,452	子ども及び一般を対象とした公害・環境に関するワークショップやイベント、講座等を実施
				エコパートナーシップ推進事業	8,067	市民等との協働による環境学習、環境活動の充実を図るため、エコパートナーシップ推進事業を実施
				四日市公害と環境未来館展示管理運営費	15,027	常設展示、特別展示の維持管理、運営に要する経費
				環境計画推進事業	699	環境計画に基づき、地球温暖化防止の啓発のためのグリーンカーテン事業やエコドライブ講習会等を実施
				自然環境保全推進事業	3,100	自然海岸の環境保全活動や外来生物の調査、特定外来生物の捕獲等を実施
				新エネルギー等導入奨励金	11,100	市内の個人又は中小企業等による新エネルギー等設備の導入に対する奨励金
				中小企業省エネルギー設備更新等事業費補助金	43,000	市内で事業を営む中小企業等による省エネルギー設備への更新等に対する補助金
	衛生費	清掃費	生活環境課	生ごみ処理機購入費補助金	750	市民の生ごみ処理機購入に対する補助金
				集団回収活動奨励費交付金	18,000	住民団体が行う再生資源の集団回収活動に対する交付金
				エコステーション設置促進事業費交付金	1,600	NPOや自治会等が市内小売店舗駐車場等において行う資源ごみの拠点回収に対する交付金
				廃棄物対策事業	27,002	不法投棄・野外焼却・空地雑草等の監視・指導、不適正処理事案対応
	農林水産業費	農業費	農水振興課	農地の守り手づくり事業	1,800	優良農地の復元や市民菜園の整備を支援することで、荒廃農地の解消を促し、農地の多面的機能の発揮や農地の有効活用を図るとともに、自然とのふれあい、憩いの場としての市民のニーズに応える
		農地費		環境保全型農業直接支払事業	2,920	有機農業など環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援
				多面的機能支払交付金事業	65,854	農業の多面的機能の維持・発揮のための取り組みを行う地域団体を支援
	土木費	都市計画費	都市計画課	里山保全事業	4,100	里山など身近な民有緑地を地域住民が市民緑地として整備し、市民へ開放
	教育費	教育総務費	指導課	教育振興一般経費 (環境教育の充実)	1,706	市内小学校第3学年児童に社会科副読本「のびゆく四日市」を改訂・配布し、四日市の環境の歴史を学び将来への展望を持てるような「環境学習」を推進
学校づくりビジョン推進事業費 (環境教育の充実)				6,600	市内小学校第5学年児童を中心として、「四日市公害と環境未来館」を訪問し、四日市の環境の歴史を学び将来への展望を持てるような「環境学習」を推進	
市税	軽自動車税	市民税課	電気自動車に対する税の減免		電気自動車(電気のみを動力とする軽自動車税対象車両)について、環境負荷軽減に寄与するものとして、軽自動車税を減免	
合 計					334,713	

平成 27 年度 産業活性化関係事業について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	27年度 予算	事業概要
一般会計	商工費	商工費	工業振興課	中小企業新規産業創出事業	8,077	市内中小製造業者が行う新商品・新技術の研究開発にかかる経費の一部を支援
				ものづくりエキスパート育成事業	10,000	三重県、三重県産業支援センター等との連携のもと、ものづくり分野における人材育成事業や、中小企業の課題解決・販路開拓支援等を実施
				産学連携事業推進費	3,300	企業と大学との連携を推進する機関の活動を支援し、産学連携を促進することで、市内中小製造業者の競争力を強化
				産業展出版促進事業	3,300	市内企業の販路拡大・新規需要開拓を支援するため、見本市へ出展する際の出展費用の一部を補助
				企業立地奨励金交付事業	794,000	市内立地企業の新規設備投資の促進や、新規産業を誘致するため、企業の新たな設備投資に対して奨励金を交付
				民間研究所立地奨励金交付事業	86,000	市内立地企業が実施する研究開発機能の充実やマザー機能の集積を支援し、地域産業の競争力を強化
				中小企業ものづくり活力創造事業	7,353	中小製造業者のものづくり技術等を支える人材確保や海外展開の支援、創業を目指す個人又は創業後間もない事業者を支援するビジネスインキュベータ事業を推進
				中小企業海外販路開拓支援事業	4,300	市内中小製造業者等の経営基盤の強化・活性化を図るため、海外で開催される見本市等への出展費用の一部を補助
				日本貿易振興機構負担金	2,000	企業の海外でのビジネス展開を専門的に支援する団体の活動に対する負担金
	土木費	道路橋梁費	道路整備課	産業支援・生活拠点道路再生事業	105,600	自動車交通及び地域住環境への影響が顕著化している路線(特に産業支援に特化した路線)の再舗装工事(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業9,000千円を含む)
合 計					1,023,930	

平成27年度 文化・観光・スポーツ事業について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	27年度 予算	事業概要
一般会計	総務費	総務管理費	文化振興課	市美術展覧会開催費	4,101	四日市市美術展覧会の開催
				市民文化祭等開催費	6,570	四日市市民芸術文化祭(郷土が誇る芸能大会を含む)の開催
				文化の駅推進事業	6,300	中心市街地における文化活動の発表や体験、交流ができる拠点の創出
				四日市音楽コンクール開催事業	6,500	「家族」と「絆」をテーマに、音楽ジャンルを問わない全国公募の音楽コンクールの開催
				文化功労者表彰経費	254	四日市市文化功労者および四日市市民文化奨励賞の表彰
				文化団体運営費補助金	1,498	四日市市文化協会が行う事業への補助
				文化振興事業支援補助金	3,446	文化振興基金活用事業(全市的事业・地区事業) 民間文化施設活用事業、文化部活動全国大会等参加費補助金
				地域の文化遺産の保存・継承支援事業	2,900	地域の文化遺産の保存・継承の支援 「鳥出神社の鯨船行事」について、ユネスコ無形文化遺産への登録推進への取り組み
				芸術文化活動の場づくり事業	49,600	旧三浜小学校を活用した芸術文化活動・生涯学習の場などの施設整備にかかる基本設計・実施設計
				文化会館等管理運営費	251,846	文化会館及び茶室泗翠庵の指定管理料
				文化会館等施設整備事業	24,600	文化会館の老朽化する設備等の更新工事を実施
				文化会館等施設整備事業 (アセットマネジメント)	77,300	文化会館の施設の長寿命化を進める更新工事等を実施
	商工費	商工費	商業勤労課	観光対策推進事業	11,997	四日市観光戦略に基づき、観光大使などを活用して、四日市市の観光を推進
				宮妻峡周辺環境整備事業	2,003	宮妻峡周辺の環境整備(遊歩道・登山道の整備、公衆便所の管理など)
				大四日市まつり事業費補助金	21,500	大四日市まつりの実施
				四日市花火大会事業費補助金	22,500	四日市花火大会の実施
				四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル事業	18,500	四日市サイクル・スポーツ・フェスティバルの実施
				なんでも四日の市事業	800	なんでも四日の市の実施
				レジャー施設事業	64,493	伊坂ダムサイクルパーク、四日市スポーツランドの運営及び維持管理
				四日市観光協会事業	17,511	四日市観光協会へ観光案内所の運営を委託

平成27年度 文化・観光・スポーツ事業について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	27年度 予算	事業概要
一般会計	商工費	商工費	商業勤労課	さくらまつり等事業費補助金	2,100	地域が自ら主催する、さくらまつりなどの花をテーマにしたイベントを支援
				産業観光事業	191	工場夜景サミットへの参加旅費及び負担金
				コンベンション機能推進事業	7,023	「四日市・観光コンベンション協議会」へ負担金及び、コンベンション補助金を活用し、本市でのコンベンション開催に対するインセンティブを確保する取組みを実施
				宮妻峡ヒュッテ管理運営費	5,961	宮妻峡ヒュッテの管理運営
				観光施設整備事業	21,200	もみじ谷周辺道路整備及び伊坂ダムサイクルパーク休憩施設整備
				三重県観光連盟負担金	1,771	三重県観光連盟への負担金
				北伊勢広域観光推進協議会負担金	350	北伊勢広域観光推進協議会への負担金
				三重の観光営業拠点運営協議会負担金	1,200	三重の観光営業拠点運営協議会への負担金
	土木費	都市計画費	市街地整備・公園課	公園緑地整備単独事業	19,800	国体開催に向けた、中央緑地スポーツ施設整備にかかる測量業務及び設計業務委託
	教育費	保健体育費	スポーツ課	地域スポーツ活動振興事業	3,448	各種スポーツの大会・教室・講習会の実施
				四日市市民スポーツフェスタ開催事業	1,408	幅広い市民が参加できる四日市市民スポーツフェスタの実施
				スポーツ指導者資格取得助成金	100	スポーツ指導者の資格取得費用を助成
				全国大会等出場選手激励金	5,500	国際大会・全国的な大会に出場する選手及び引率者に対する激励金
				スポーツイベント実施事業	5,500	四日市シティロードレース大会、四日市ウォーキング大会等の実施
				霞ヶ浦緑地運動施設整備事業(国体関係)	21,600	三重国体に向けて、運動施設(テニスコート、野球場)の整備に係る設計
				霞ヶ浦緑地運動施設整備事業	19,900	霞ヶ浦第1野球場照明塔塗装工事・霞ヶ浦第1野球場トイレ改修工事等
				霞ヶ浦緑地運動施設整備事業(アセットマネジメント)	34,900	霞ヶ浦第1野球場屋根改修工事
				中央緑地運動施設整備事業(国体関係)	45,400	三重国体に向けて、運動施設(体育館、サッカー場)の整備に係る設計
				四日市ドーム整備事業	11,100	四日市ドーム電動ロールスクリーン修理工事(南北)、四日市ドーム発電機修繕工事等
	合 計					802,671